ISSN 0912-8182

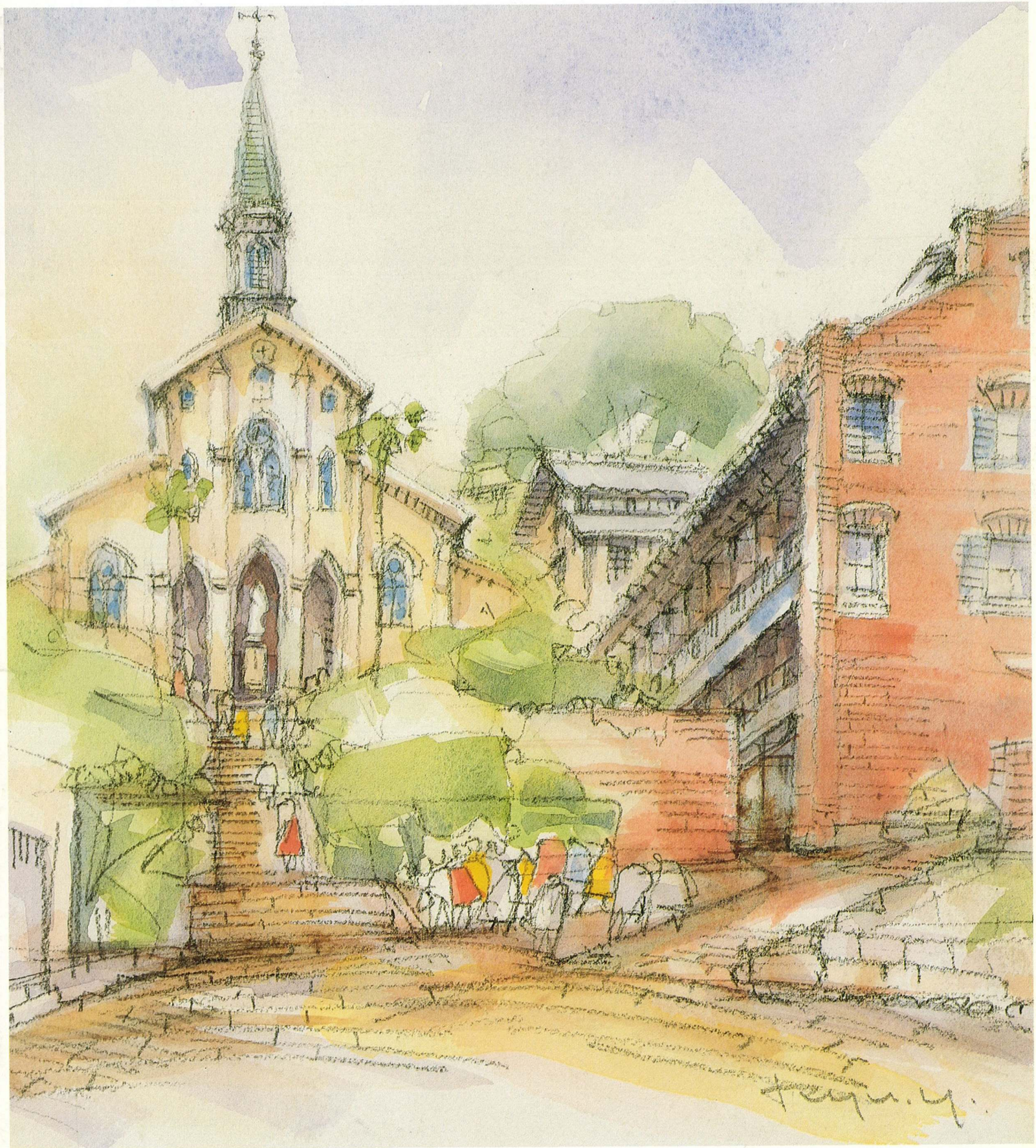
Vol. 68 通巻789号
昭和62年12月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1987 12

特集●第34回青年技術者／A.R.I建築事務所近作集



日本建築協会

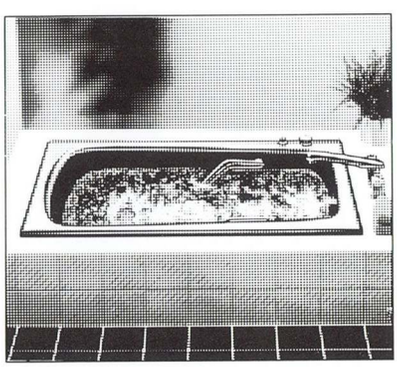


空気を吸わせると、お湯も生き返ってくれました。

お湯に吹き込む気泡が、気持ち良い〈気泡浴槽〉

TOTO

TOTOの気泡浴槽とはいったいなんだッ。それは空気を含んだお湯が心地よい、泡の出るお風呂のことだッ。この泡の働きはたいしたもので、洗っただけでは流せないような汚れや疲れを落としてしまえる。お湯も汚れてしまうけれど、TOTO独自のろ過機付きタイプなら大丈夫。お湯をきれいに保ちます。また、この泡は、背側と足側に噴出口があって、気泡の量も強さも角度も、簡単な操作で自由にコントロール。だから好き勝手に気泡浴が楽しめます。あまりの気持よさに、みんなの入浴時間が長くなってしまいそうだけれど、そこはTOTOに免じて、大目に見てください。



※カタログご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器株までご請求ください。

1917創刊
1987
68集
建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

表紙デザイン●吉田隆一
（東畑建築事務所）

長崎大浦天主堂　長崎の南山手には、大浦天主堂を中心とした教会関係の建物と、グラバー園の住宅群が、国や郷土指定の文化財として保存されている。山手の坂道に斜めに敷かれた美しい砂岩の舗石を前に見て、煉瓦造りの大司教館の無造作な表面の造りが絵を面白くしそうだが、やはり国宝の天主堂を正面にして描くことにした。

12 通巻789

■特集予告
1月号／ホテル物語
2月号／軟弱地盤と基礎
3月号／設備におけるLCCとリノベーション
4月号／建物の外装リフォーム
都心居住特集(予定)

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・桑袋公明
編集委員会（昭和62年度）
編集理事
井上　洌　金井　弘次　金多　潔　小島　雄　高木　登　竹中　紳一　若山　繁　長谷部朝郎　松村　慶三　渡辺　忠
編集委員長
長谷部朝郎
代)上田　信也
編集委員
(特集小委員会)
■計画分科会
角島　健二　川前　勉　河端　秀直　小浦　久子　☆佐野　潤一　清水　肇　鈴木　克彦　田附　尚　★田中　直人　高田　佳子　☆平岡　博　北條　誠　吉村　英祐
■構造分科会
和泉　一義　高垣　利夫　谷　明勲　出口　節夫　外園　隆　★向井　久夫　安田　光世
■設備分科会
安倍　浩一　石河　信治　石野　幸義　遠藤　進　梶井　宏修　河津　隆之　★田中　緒　別所　清
■施工材料分科会
大木　利文　内山　修之　水口　譲　山下　仁志　★山田　敏雄　横井　征夫
■法令分科会
笠井　精二　★中島富三郎　松田　洋三　南出　和延
(作品作風小委員会)
荒川　朱美　遠藤　公介　◇加藤　力　北澤　修一　小林　正純　○高瀬　由康　塘　伸夫　中山　隆　林　浩二　水川　尚彦　宮崎ひろ志
(投稿欄小委員会)
浅野　貴志　伊藤　郁郎　北村　恭一　柴田　厚　◇高田　光雄　塚口　明洋　堀畑　裕一　○増渕　昌利　宗行　昌弘　吉本　安邦
(広告企画小委員会)
池渕　俊男　篤　秀明　北村　潤　鳴田　聖二　下村　甫　中井　進　中川源治朗　原田　常介　広田　和正　○藤田　孝吉　山下　修司　○渡辺　忠
○ 副委員長　◇ 副委員長代行
★ 幹事　☆ 幹事代行

印　刷　昭和62年12月20日
発　行　昭和62年12月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　　06－348－0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06－606－1111㈹
大信印刷株式会社
電　06－451－7631
青葉印刷株式会社
電　06－351－5428㈹
定　価　950円（送料共）

作品作風
Gallery
レポート
being
大先輩に聞く
東海ルネサンス
東海の建築マップ
書評
私が読んだ本
GBRCニュース
建築の眼
特集
設計部門
構造部門
設備部門
施工部門
その他部門
計画部門
特別企画
総目録
構造の頁153
施工材料の頁
設備の頁156
月報

特集●第34回青年技術者

SPECIAL FEATURE ON YOUNG ENGINEERS & THEIR WORKS

ホテル九重——設計施工：竹中工務店— 2
道修町第一ビル——設計施工：鹿島建設— 6
スリランカ民主社会主義共和国必須医薬品製剤センター——設計監理：日建設計・藤沢薬品工業共同企業体　施工：竹中工務店— 8
辰口温泉ファミリーヴィラ——設計監理：泉沢建築設計事務所　施工：真柄建設— 10
AST関西経理専門学校——設計施工：鹿島建設— 12
神戸YWCA会館（設計：安井建築設計事務所）／荒川朱美— 14
アメリカに見る都市型集合住宅の現在－3－／高田光雄— 16
梶川亮治（鬼板師）－地場産業の伝統を創る－鬼瓦— 17
光安義光（元・兵庫県営繕課長）／増渕昌利— 18
開かれた市民の茶道文化を／村瀬彰雄vs中島一— 20
景観としての建築－静岡市立図書館，岐阜県美術館，— 23
非の建築－日本住宅の風景－「家と庭の風景」(増田友也著）／伊従勉— 24
文学の美を建築の血肉にする／永田祐三— 25
大阪府下特定行政庁連絡協議会制定「コンクリート工法に関する指導要綱」によるコンクリート用骨材試験業務開始のお知らせ— 27
もっと、インテリアを！／加藤力，終の住処／高木登— 28
コンペの最終案決定を市民投票で／谷山隆，「都市住宅」／田中弘成

第34回青年技術者

久保　清一　装冠の建築Ⅰ－田村邸、装冠の建築Ⅱ－N·I·B·C、装冠の建築Ⅳ－café de SAGAN、装冠の建築Ⅴ－TEA & GRILL DOREMI·fa、装冠の建築Ⅵ－ROSE DECK— 30
赤木　隆　近鉄堂島ビル、近鉄堂島ビル公開空地、A計画、西鉄福岡祇園ビル— 31
桜井　則雄　神戸岡本ビル、O社神戸ハーバーランド計画、大塚製薬健康保険組合阿蘇保養所— 32
桜井　信雄　J.G.A.ゴルフミュージアム、御影山手アーバンライフ、T社宅、I邸— 33
浮田　高志　太陽神戸銀行神戸本部ビルの構造設計— 34
長谷川保善　武庫川学院文学3号館の構造設計— 35
山本　貞次　御堂筋グランドビルの構造設計— 36
大高　一博　大阪城ホールの空気調和設備— 37
山崎　慶太　クリーンルームの防災設備－松下電器産業(株)半導体研究センター— 38
広瀬　清豪　大阪府立体育会館大屋根横引工事の計測管理— 39
高畑　顯信　高層RC造集合住宅に用いられる高強度コンクリートの品質管理— 40
小杉　正博　施工図自動製図システムの開発— 41
山本　光良　六甲アイランド都市機能用地分譲事業計画、阿倍野地区第2種市街地再開発事業Aブロック基本計画、ワールド記念ホール— 42

A.R.I建築事務所近作集— 47
（帝塚山大学経済学部／大阪明浄女子短期大学／帝塚山学院短期大学／帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校／船場西大治ビル／トヨタカローラ奈良(株)富雄営業所／ライオンズカントリークラブ／グレート岡山ゴルフクラブ／新城カントリークラブ／亀岡カントリークラブ／エールビジネス専門学校／上本町大治ビル／上新電機(株)本社ビル／上新電機(株)J & Pメディアランド／関西外国語大学谷本国際交流記念館／関西外国大学クラブ館／大阪府自動車整備会館／帝塚山考古学研究所）
「建築と社会」第68集（昭和62年1月号～12月号）総目録— 71
超高耐久性コンクリート－その2／斉藤俊夫— 75
（休載）
コア内蔵型ねじ込み式管端防食継手／棚橋勝司— 77
日本建築協会月間の動き（昭和62年9月分），水野金市氏追悼文（中島一）— 78

ホテル九重

設計施工　竹中工務店



正面(南面)外観

所 在 地　静岡県浜松市舘山寺町2178
敷地面積　21,621.74㎡
建築面積　4,108.98㎡
延床面積　19,764.99㎡
構造規模　SRC、10F、P1
工　　期　昭和60年10月～昭和62年7月

撮　　影　田中昌彦

当ホテルは、浜松に本社を置く遠州鉄道㈱を母体とする遠鉄観光開発㈱が経営する高級和風ホテルです。最近の日本旅館ブームに加えて高級化指向がめざましい現状に対応して、ゆとりの客室と日本情緒あふれる施設をテーマとして、広い範囲からの誘客をめざし、地元舘山寺温泉の活性化、再開発の起爆剤として大きな期待をあつめてスタートしました。

奥浜名湖の静かな内浦湾に面した舘山寺温泉は、古くから観月景勝の地として温泉街が発達したところです。この温泉街の中心に位置し、緑豊かな敷地と、正面は内浦湾越しにロープウェイの渡る大草山を望むめぐまれた環境で、この浜名湖の自然と景観を大きく取り入れたロビーラウンジを中心に左右にゆったりと広がった平面構成としました。客室階にあっては片廊下と中廊下の併用プランとして、正面の内浦湾を望む静的な景観と背面の浜名湖全体を望み夕日の沈む動的な景観の変化に富んだ客室構成を実現しました。

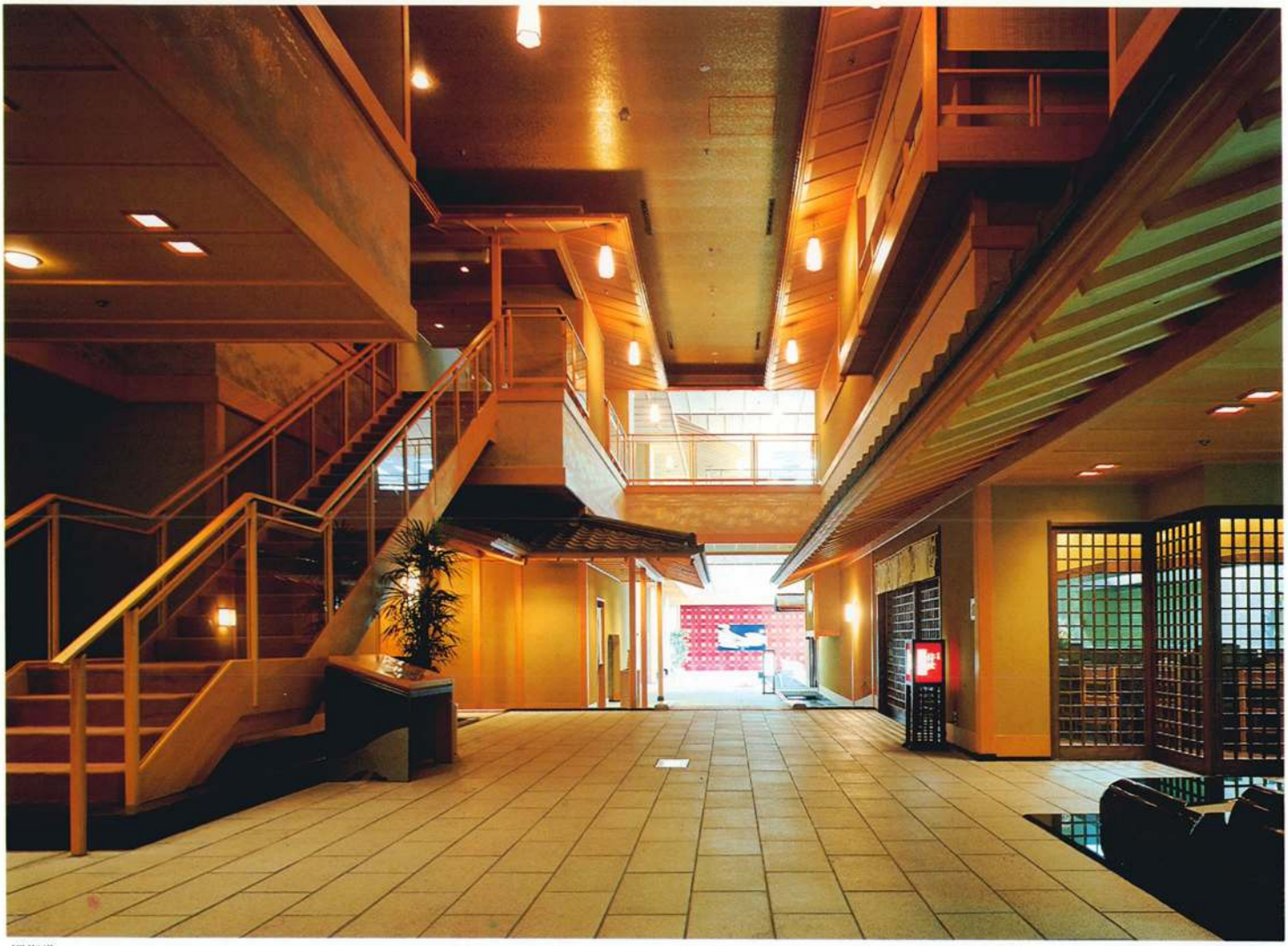
ゆるやかに起りのある屋根とシャープな軒先の処理、海側低層階の屋根の重なりが最も和風の趣きを現しています。寄付側の外観は、廊下窓を連続させ横ラインを強調し現代感覚の和風をねらいました。

インテリアは、数寄屋造りを基調とする現代和風で構成しました。ロビー天井は遠州格子組を、姫街道は松をモチーフとし、飾り窓やクロス柄などにもローカル色を生かした造り込みを行っています。色彩計画は、伝統色古代紫をベースとした紫色の構成に現代感覚のする浅葱色や銀色、金色を盛り込み、華やかで上品な雰囲気をねらいました。本年9月のオープン以来、特に女性客に好評を得ています。

（宮野　裕／竹中工務店）

右は北側外観夕景

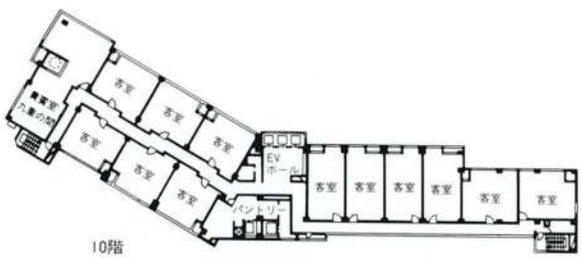




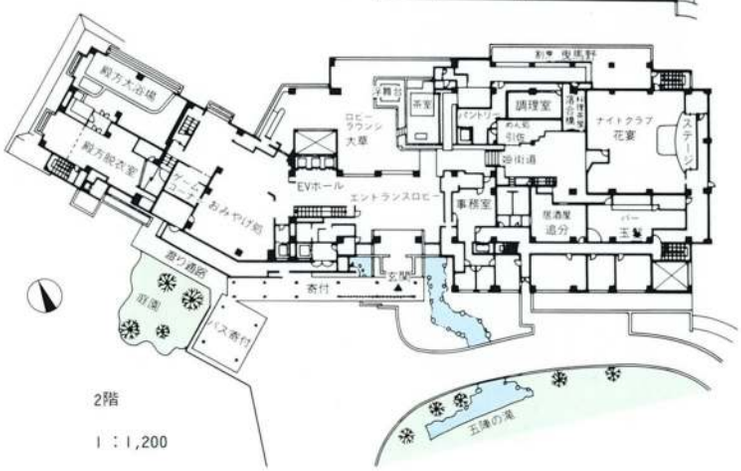
姫街道



1階

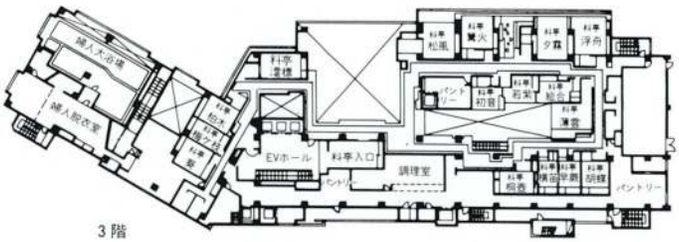


10階



2階

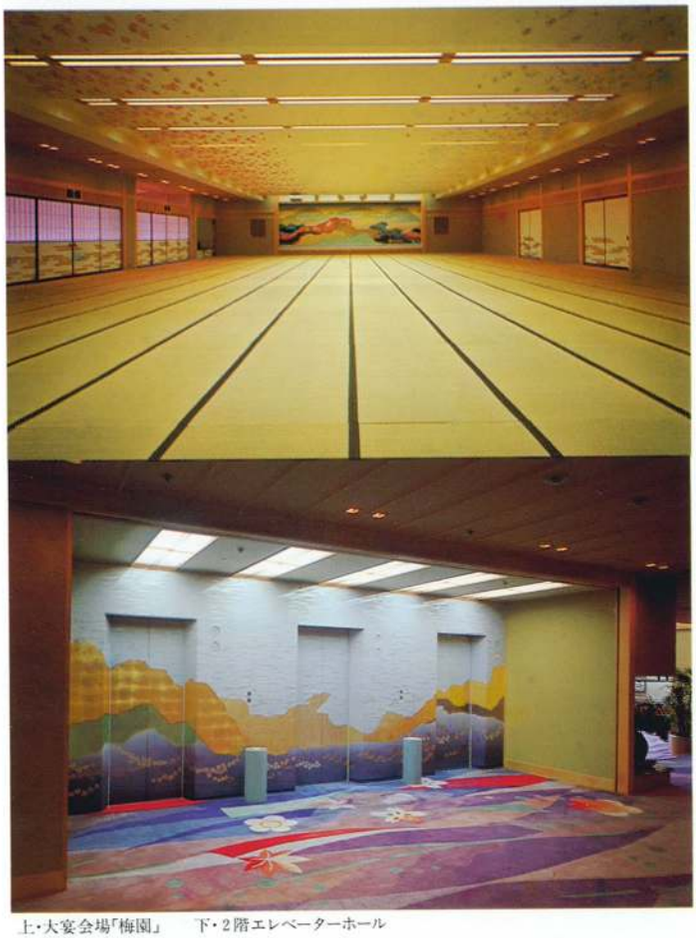
1：1,200



3階



ロビーラウンジ「大草」



上・大宴会場「梅園」　下・2階エレベーターホール



殿方大浴場

道修町第一ビル

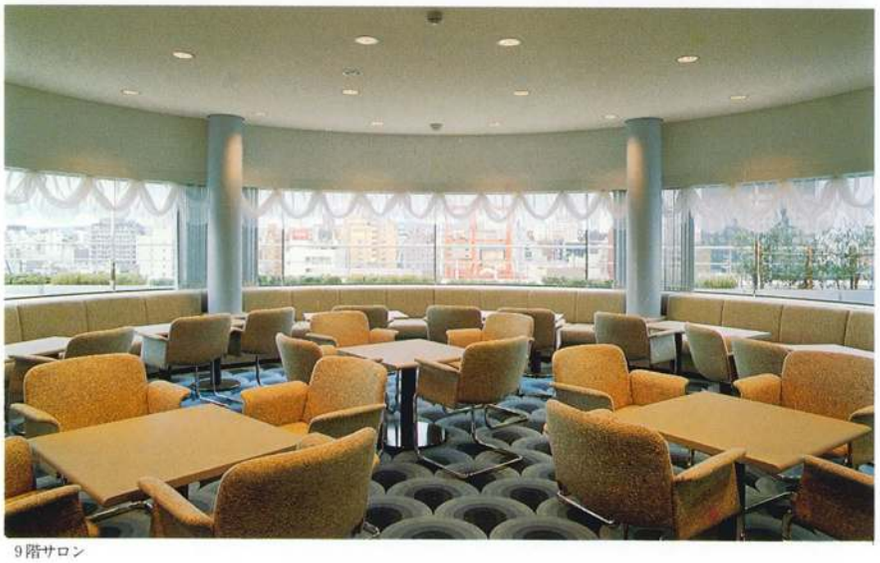
設計施工　鹿島建設



エントランスホール



会議室



9階サロン

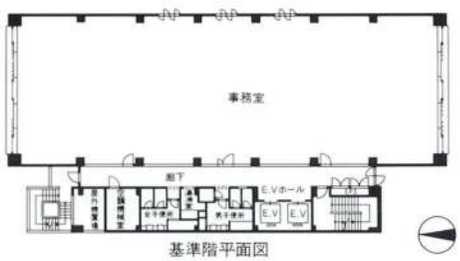
今、オフィスは住宅のようであるべきだ、と言われます。知的生産の場である事務所の生産性を上げるためには、つまるところ人間がくつろげる住宅の様な環境が必要であり、さらに働きがいを生むためには、個人が住宅に愛着を感じる様な個性や特色を事務所も備えていかなければならないからです。本計画も、(株) 第一製薬大阪支店ビルとして、これからのオフィスのあり方をゼネコン4社に設計コンペの形で問われたもので、私達が到達したひとつの答は次の様なものです。

まず、オフィス・ライフの基盤となる事務室床には、居住性を増すと共にフラット配線の自由な、タイル・カーペットを敷込み、部屋の性格により無地、柄もの、小紋、ストライプとデザインして変化のある室内風景を目指しています。床スラブの中にはPC鋼線を入れ、たわみや不快な振れを減らし、天井高は2.7mと余裕を持たせ、窓のある両端には個別に調節のできる外気取入れ型空調機を配し快適な室内気候が保てる様にしてあります。

こうした眼につきにくいベーシックな骨組に、最新AV装置を備えた会議室、大阪城の見える屋上庭園に連続した社員のためのリフレッシュサロン、工事中出土した文化財を陳列してある受付、接客ロビーなど、特色のある機能と空間が組込まれて、単なる仕事場というよりは、生活の舞台と呼ぶに近いものになったとすれば、質の高いプログラムを標榜された施主と提案型の入念施工であった工事関係者の熱意に負う所、大であります。

（森　徹／鹿島建設建築設計本部）

所 在 地　大阪市東区道修町1－7
敷地面積　663.94㎡
建築面積　564.77㎡
延床面積　4,366.41㎡
構造規模　SRC、RC、B1、9F、P1
工　　期　昭和61年6月～昭和62年10月
最 寄 駅　地下鉄北浜駅

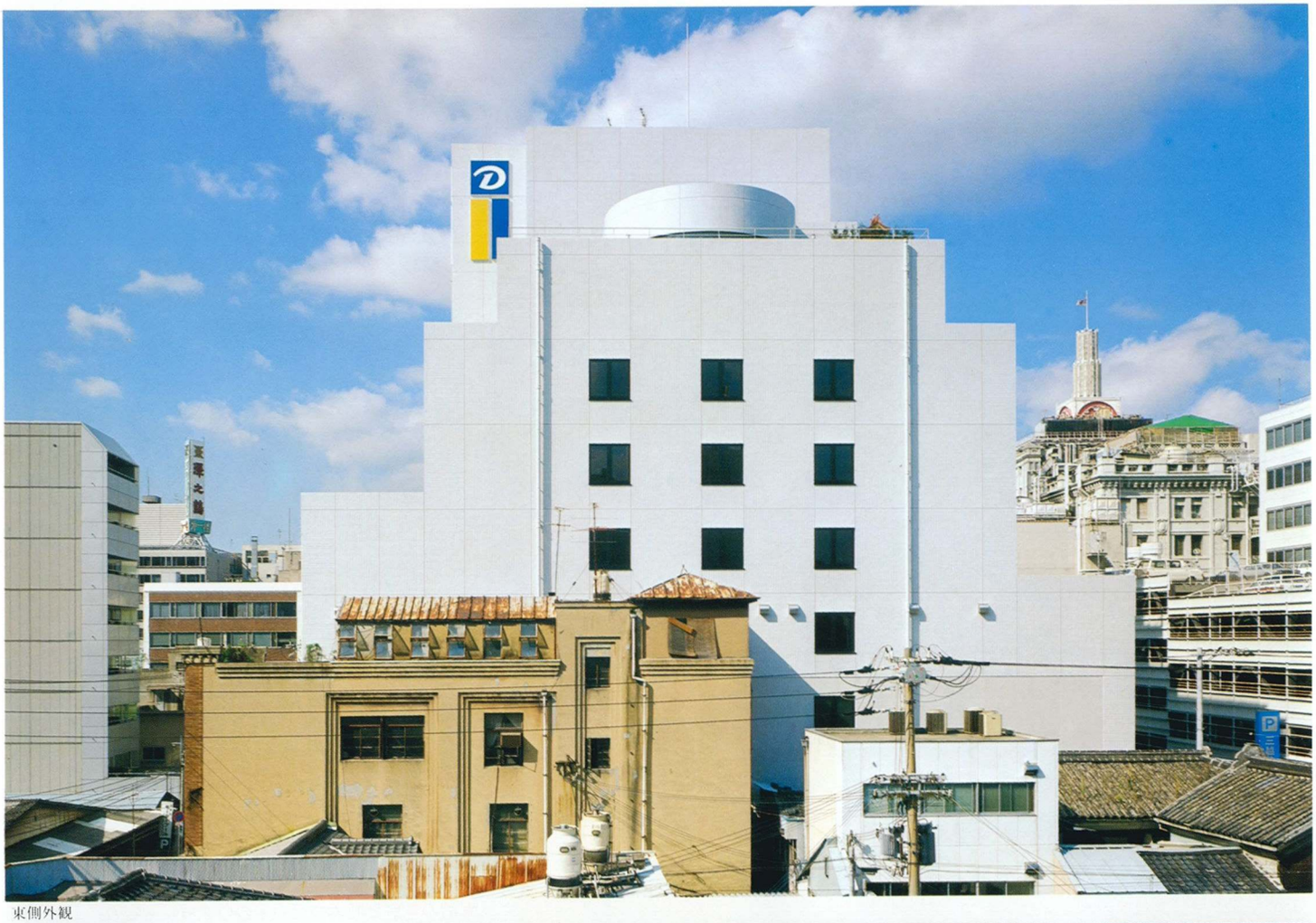


基準階平面図



1階平面図　1：600

紅雲工業 06-353-5771　日本ヒューガ・カーペット 03-403-7241
不二窯業 06-301-9166　映像システム 03-818-6911
大興物産 06-762-5661



東側外観



正面（南側）外観

スリ・ランカ 民主社会主義共和国

必須医薬品製剤センター

設計監理　日建設計・藤沢薬品工業共同企業体
施　　工　竹中工務店(建築)・ニチメン(機材)



南側外観

所 在 地　Ratmalana, Dehiwala-Mt Lavinia, Sri Lanka
敷地面積　15,500.00㎡
建築面積　4,337.10㎡
延床面積　4,613.65㎡
構造規模　RC、IF、(一部2F)
工　　期　昭和61年3月～昭和62年7月

撮　　影　末廣久詔(SS東京)

この必須医薬品製剤センターは、スリ・ランカ政府の医療改善計画の一貫として計画されたものであり、スリ・ランカ政府の無償資金協力要請に対して、日本政府は国際協力事業団（ＪＩＣＡ）を通じ本計画を実施した。

敷地は、スリ・ランカ国の首都コロンボに隣接するデヒワラーマウント・ラビニア市のラトマラナ工業団地にあり、東西約185m、南北約87mの細長い形状をしている。

配置計画にあたっては、敷地の形状に建物の形状をあわせることとし、本館棟・ユーティリティ棟・守衛所の3棟の建物群にて構成した。平面計画は、ペニシリン汚染を防ぐため管理ゾーンをはさんで、その東西に一般製剤ゾーンとペニシリン製剤ゾーンをそれぞれ配置した。管理ゾーンには、自然採光と通風への配慮から中庭を設け、1階に管理事務室・食堂などを、2階に品質管理研究室・会議室などを配置した。各製剤ゾーンの屋上には、製剤機器からの排気や屋外ユニットとの連絡のためチャンバー室を設け、将来の機器の交換にも対応しやすい構造とした。

（桑田信篤　末木俊昭／日建設計）



南東側より見る



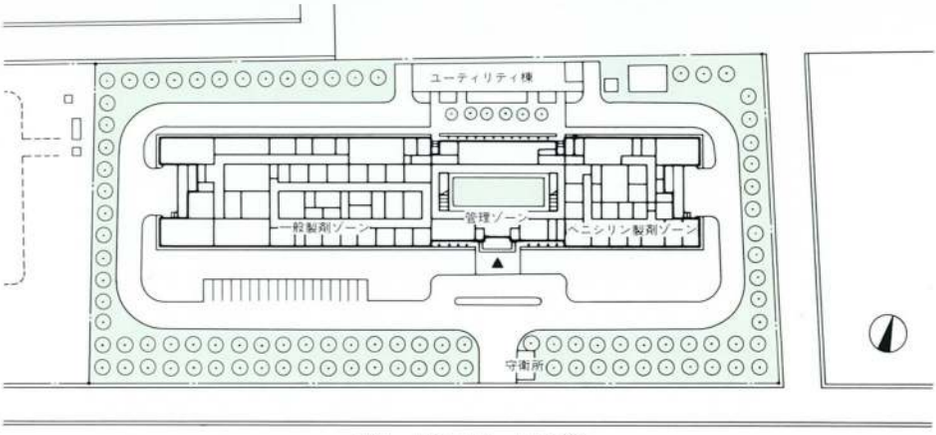
製剤ゾーン廊下



2階品質管理研究室



中庭(夜景)



配置・1階平面図　1：2,000

辰口温泉ファミリーヴィラ

設計監理　泉沢建築設計事務所
施　　工　真柄建設



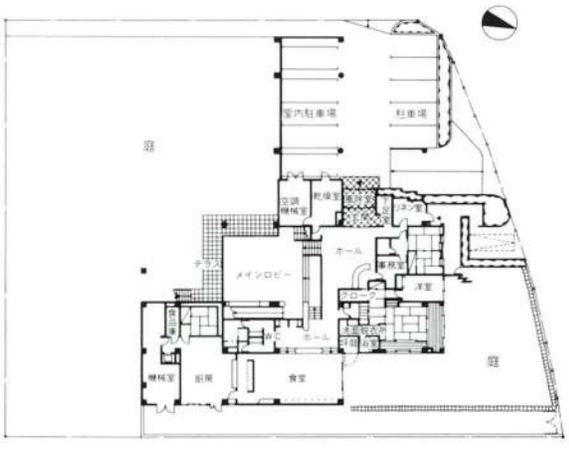
メインロビー

所 在 地　石川県能美郡辰口町字緑が丘５－13－43
敷地面積　2,315.02㎡
建築面積　931.05㎡
延床面積　1,457.37㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和61年12月～昭和62年７月
最 寄 駅　JR北陸本線小松駅

撮　　影　黒田青巌

この辰口温泉ファミリーヴィラは、ヤングからアダルトに至るまでの保養を目的として建てられた建物で、さまざまなレジャーが楽しめるところである。
ＪＲ小松駅より南へ車で約20分、金沢市内へは約40分の距離にあり、周辺には片山津温泉、加賀温泉、獅子吼高原スキー場、遠くには白山国立公園があり、近隣地区には白山ゴルフ場、辰口丘陵公園、辰口温泉、越前加賀海岸国定公園があり、夏は海水浴、冬はスキー場、そして四季を通じてのゴルフが等しめる絶好の立地で、特に近くの辰口丘陵公園の中には県営の室内プール、ボート池、テニス場（屋外・屋内）、体育館、サイクリングロード、児童・子供用遊具、ハイキングコース、運動場が設備され、余暇の楽しみにはこと欠かない、すばらしい場所である。
まず計画に際し、建築主より条件のあったのは、客室を10～11程度の規模で考えるようにとの指示があった。敷地は南上がりの斜面で少々やりづらかったが、土地の高低差を利用して駐車場を設け、建物は斜面なりに階を造っていった。平面的には客室と宴会部分を隔離し、客室のプライバシーを守り宴会場からの騒音を防ぐため、まん中に吹抜けのあるロビーを配置して騒音の解決を計り、浴室と宴会場は出来るだけ近くし男・女各々に露天風呂を設けてみた。宴会のあとのロビーでのくつろぎも斜め天井の吹抜けとし、ゆとりのある空間を設け、南側の中庭にもすぐに出入り出来るよう考慮し、中庭の緑を室内に取り込めるよう建具も大型とし、幅6.8ｍのヘーベントシーベを採用することにより、ワイドな外部空間との繋りが出来たと思っている。外観については純和風とし、屋根の勾配で優雅さを演出できるように考え、外壁面は土壁の感じで仕上げ、緑の庭との調和を出来るだけ自然な形で表現してみた。
この建物が保養を目的として訪れて来た人々に安らぎを与えられる憩いの場所であり、また余暇活動の拠点となることを願っている。

（泉沢哲史／泉沢建築設計事務所）



配置・１階平面図　１：800


外観


外観　　外装仕上　屋根：ガルバニウム鋼板横葺、外壁：アクリルリシン吹付、サッシ：アルミ製ジュラクロン焼付


メインロビー

AST　関西経理専門学校

設計施工　鹿島建設



関西経理専門学校は、昭和15年、南森町に大阪で初めての経理学校として誕生し、大阪学院大学の母体となった伝統ある学校である。

AST(アストAdvanced School for technomists)とは、21世紀を目指したテクノミストのため、新校舎落成に際し、名付けられた愛称である。

設計のテーマは、充実した勉学と豊かな人間形成の場の実現であった。間口の制限された正門であるが、ゲートとポケットパーク、シンボルタワーにより街並との調和を図り、2階へのアプローチを演出した。学生の交歓の場は、5層吹抜のスチューデントコートを核として、緑の映える明るいインテリアとした。主な諸室として、300余席の講堂、ビデオブースのある図書室、2層吹抜の体育室等があり、多様な交流の場を用意した。

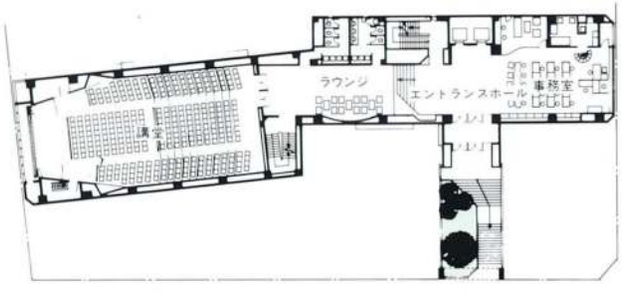
（阪口　修／鹿島建設）

所 在 地　大阪市北区天神橋2丁目北1－2
敷地面積　984.57㎡
建築面積　822.29㎡
延床面積　6,759.98㎡
構造規模　SRC、B2、7F
工　　期　昭和60年11月～昭和62年8月
最 寄 駅　地下鉄南森町駅

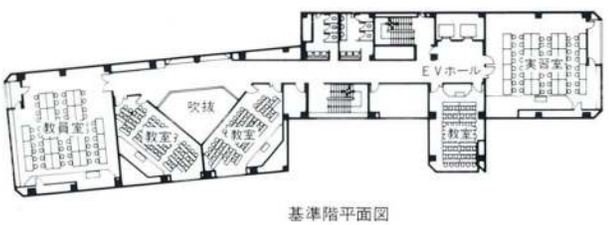

エントランスホール


2階講堂


スチューデントコート・吹抜



2階平面図　1：800



基準階平面図

大興物産 06-762-5661
三　　建 052-762-2200
寺沢工務店 06-412-3407


関西経理専門学校

神戸YWCA会館





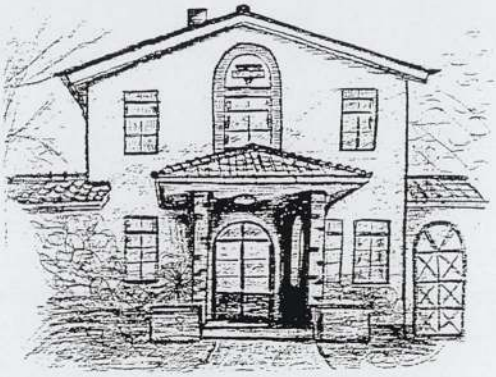






神戸ＹＷＣＡ会館
施　　主　(財)神戸基督教女子青年会
設　　計　安井建築設計事務所
施　　工　大林組
所 在 地　神戸市中央区上筒井通１－１－20
敷地面積　1,055.44㎡
建築面積　　523.26㎡
延床面積　1,918.04㎡
構造規模　ＲＣ造　５階建
竣　　工　昭和62年９月26日

企画編集　作品作風小委員会　荒川朱美
撮　　影　納崎雄二



旧会館スケッチ　岩田洋子・画



神戸ＹＷＣＡは、1920年（大正９年）に創立された、女性たちによる地域交流、国際交流の団体である。

会館のある上筒井周辺は、旧関西学院大学のチャペルで赤レンガの外観が美しい市立王子図書館や、王子動物園、松陰女子学院、神戸海星女子学院があり、さらには、村野藤吾氏による兵庫県立近代美術館やテニスコートなどがあって、文化の香り高い地域である。

建築主から私たちに提出された新会館計画案は、非常に多機能で夢のある大きなものであった。なおかつ、旧会館のイメージを継承しつつも、どこかしら新しさが見い出せるイメージの建物にしてほしいというものであった。

私たちは、やわらかに周囲の環境に溶け込んだ、さも以前からずっとこの地にあったかのような建物にすることとした。隣接する旧関学のチャペルの勾配屋根がしっくりと王子公園に溶け込んでいるように、ＹＷＣＡも赤茶色の勾配屋根を持つ単純な形の外観にすることで、周囲への違和感をなくそうとした。

建物は、チャペル、食堂、日本語と外国語の専門学校、交流活動の拠点となるライフ・アンド・ピースセンター、それに、主に外国人の留学生のための女子学生寮などからなっている。

チャペルでは、手作りのステンドグラスが花をそえて、すでに幾組かの新婚カップルが祝福されたし、館内では留学生の様々な国のことばが聞かれて、新会館は早くも地域交流、国際交流の場としてフル回転している。

そして、縁の下では数人の専属スタッフと多くのボランティアの女性たちが、ニコニコ顔でサポートしている。私たちは、彼女たちと設計及び施工段階で幾度となく喧嘩に近い打ち合わせを行ってきたが、思い返せばそれも彼女たちのコミュニケーションの場で一緒になって踊らされていたのかもしれない。

この会館と彼女たちのニコニコ顔を礎に地域交流、国際交流の輪が広がる……。そんなことを願っている。

（山本勝彦／安井建築設計事務所）

高田光雄／京都大学建築学科助手

サンフランシスコの人工土地

サンフランシスコのダウンタウンに３３３ブッシュという真新しい高層建築がある。設計はＳＯＭという。大部分の床はオフィスとしてリースされるが、最上階付近がセットバックしていて、そこだけが分譲住宅になっている。住戸の中は、天井から床までのガラス窓が取り付けられ、セットバック部分にはルーフ・テラスが設けられている。何よりも眺望を重視した設計意図がよく理解できる。ここからは、バンク・オブ・アメリカやトランスアメリカ・ピラミッドなどの周辺のビル群はもちろん、テレグラフ・ヒルやベイ・エリアなどを一望することができる。マンハッタンのように高層建築が密集していないから見通しはよい。

もっとも、サンフランシスコでは、こうした高層建築が必ずしも歓迎されてはいない。そもそも、この都市は、アメリカ合衆国の中にありながら、日本の都市と類似の小さなスケールをもっている。都心の一部では高層化が進行しているが、周辺部は低層建築で埋め尽くされ、東海岸とは全く異なる都市景観をつくり出している。1970年ごろから始まった高層建築景観論争やその後の法制度の整備は、サンフランシスコのマンハッタン化を潔しとしない意思の反映であったといってよい。



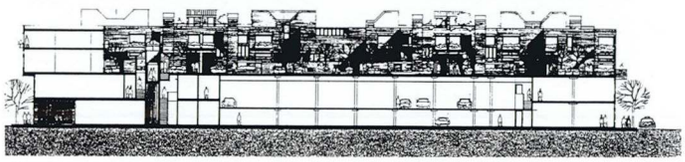
ゴールデン・ゲイト・センターのタウンハウスからエンバカデロ・センターをみる



ゴールデン・ゲイトウェイ・コモンズ



セント・フランシス・プレイス



ゴールデン・ゲイトウェイ・コモンズ 断面図

ジョン・ポーツマンのエンバカデロ・センターに隣接するゴールデン・ゲイト・センターと呼ばれる住宅地域を訪れた。エンバカデロ・センターには４棟の巨大な高層建築と20階分のアトリウム・ロビーを持つハイアット・リージェンシー・ホテルが配置されているが、その北側には３棟の高層住宅と共に、これとは対照的なスケールをもつ人工土地上のタウンハウス街区が広がっている。

もともと、この地域では、サンフランシスコ再開発局によって行われた設計コンペに基づいて、高層住宅主体の開発が行われる予定であった。現在、高層住棟のある街区はその第１期に当たり、ウルスターによる設計コンペ当選案に従ったものである。これは、高層住宅の足下に人工土地を設け、その上に広場を囲むタウンハウスを配置するというユニークな高層・低層混合開発の提案であったが、その後の社会・経済情勢の変化の中で、第２期以降の事業としては同様の開発形態をとることが不可能となっていた。その理由の一つは建築費の高騰などの経済問題であったが、もう一つは高層住宅に対する否定的評価を中心とした環境問題であった。

この地域の開発の再検討を担当したのが、ディベロッパー・ハウジングの分野で実績を重ねてきたフィッシャー／フリードマン・アソシエイツ（ＦＦＡ）である。ＦＦＡでは、高層住宅、中層住宅、低層住宅の社会的・経済的・技術的比較検討を行い、その結果からウルスターが街区の一部に配置したような低層住宅形式を全街区に拡張することが望ましいと結論付けた。低層案を採用することによって、高層住宅の導入に伴う諸問題を回避することができると共に、軟弱地盤であるために非常にコストのかかる杭打ち工事を不要とすることができるからである。しばしば対立関係にあるディベロッパーと環境保護論者の主張がここでは珍しく一致することとなった。採算性を確保したこの提案は、地価の上昇傾向とも呼応してディベロッパーに受け入れられ、ゴールデン・ゲイトウエイ・コモンズと名付けられた３街区の人工土地上のタウンハウスが次々に開発されていった。第１期の開発が高層、低層共に賃貸住宅であったのに対し、ゴールデン・ゲイトウエイ・コモンズは分譲住宅となっている。価格は、３番目の街区で31.5万ドル（１寝室）～77.5万ドル（３寝室）と相当高い。

人工土地の上は、樹木が茂り、噴水からは水が迸っている。ジャクソン・スクェアをモデルとしたといわれるレンガ貼り住棟の意匠や、商業施設、オフィス、駐車場と住宅との立体的複合などは極めて魅力的である。しかし、何か不自然な印象を受けるのも事実である。

第一に、子供の姿がない。誇張があるかも知れないが、ある街区では子供が４人しかいないとも聞いた。この住宅の居住者は、接地型の住宅や緑豊かなコモンスペースからイメージされるような子供のいる家族ではない。都心に立地する高級住宅が一般にそうであるように、若い管理職や専門職で子供のいない家族が中心であるという。子供の住める都市住宅像を描くことに意味があるとすれば、プロジェクトのレベルを越えた都市住宅供給システム全体の問題として取り組む他はないのであろうか。

第二に、人工土地へのアプローチがロックされている。各街区の人工土地は、互いにブリッジで結ばれていると共に、外部階段でグランドレベルともつながっている。しかし、防犯上の理由から、それらはことごとく施錠され、人工土地上の住戸へは、管理人のチェックを受けて内部エレベーターを利用するという方法でしかアクセスできないようになっていた。高層・低層混合開発の賃貸住宅街区の人工土地は、自由に出入りでき、立体化した生活的社会資本として機能しているようにみえるが、分譲住宅街区のそれは、同様の形態をとりながら極めて閉鎖的である。都市空間の細分化と閉鎖化は、都市居住の空間的魅力を決して増大してくれることはないであろう。

このプロジェクト以来、サンフランシスコでは人工土地型の集合住宅が一つのパターンとして認識され始めている。モスコーン・センターに隣接するセント・フランス・プレイスは、このパターンを用いた最も新しくて大規模なプロジェクトである。３層分の商業施設等の上部に人工土地を計画し、木造のタウンハウスとＲＣ造の中高層住宅がランドスケープ・プラザを囲んで配置されている。しかし、残念ながら上で指摘した二つの問題への回答は、このプロジェクトからも見つけることができなかった。

もっとも、本当の意味での「街」の立体化が計られ、多様性と選択性をもった住宅供給が展開されることを都市型住宅の目標とするならば、これらのプロジェクトの経験は貴重な検討材料を提供してくれるに違いないと思われる。

（おわり）

地場産業の伝統を創る ——鬼瓦



梶川亮治　プロフィール
1938年　愛知県碧南市（三州瓦の産地）生まれ
1957年　日展会友、故加藤潮光氏（彫刻）に師事
1960年　ＭＣ彫塑展・日彫展（東海支部）等に入選数回、その他入賞入選数回
住　所　愛知県碧南市三度山町１―88

岡山・慈眼院

白鳳時代より伝わる鬼瓦
私はそれに狂おしいほどの愛着を知る。
そして、今、土を手にしているとき
古代人のときめきを感ぜずにはいられない。
この優雅にして気品のある鬼瓦に古代人を偲び
これからも造り続けてゆきたい。——梶川亮治

近年、瓦産業は、その構造変化に伴って年々変化を余儀なくされ、全国の瓦生産の約半分を占めるここ三州瓦の産地もその例外ではない。中でも手づくりの鬼瓦をつくる鬼板師は、後継者も少なく、この地で氏を含めてその専門の窯はほんの数軒しかないという。

少年時代からこの道一筋30有余年、手づくりの鬼瓦づくりに打ち込んで来た梶川亮治さんの仕事場におじゃました。

土のにおいいっぱいの仕事場、地ベタには大小様々な形の鬼瓦がところ狭しとならべられ、焼成を待っている。壁にはたくさんの雲型をした現寸大の図面が掛けられており鬼瓦一色である。その中央で、梶川氏は高さ３尺４寸という大鬼面に挑戦中で、京都東山のお寺の屋根に乗るのも間近だという。

愛着をいだき続けた鬼面の鬼瓦、自分なりの鬼がつくりたい。家職の鬼師を営んできた父に高校三年のとき死別され、これをきっかけに、職人的技術の限界を感じ、技に新風を入れようと思いたち彫刻を習い始めた。長年制作に打ち込んで来られたのも、彫刻の、ものの見方、考え方にふれて世界が広がったためという。

折にふれて京都・奈良の鬼瓦をみてまわる。伝統にはぐくまれた鬼瓦の数々に接して思うこと、それは、それぞれの鬼面にはそれぞれの時代の作者の心が表現されているということ。生きた伝統を継承するということは、先人のまねではなく、今まで受け継がれてきた形のよしあしをしっかりと見極めた上で、今の時代の心をいかにそこに折り込むかだ、という。

鬼面の迫力は、屋根にある鬼と、地上の人の双方の目が合うことにより実現される。表情はけわしいのみでは迫力は出せない。鬼面は人間の顔の誇張、したがって親しみ、愛きょうが大切だという。

機械技術の進歩によってかなり複雑な形態の鬼瓦の生産が手作業によらずに可能になった。加えて建築物のデザイン的要請からシンプルな形が要求される場合が多くなってきている。しかし一方、全国に無数に存在する堂塔建築の鬼瓦は、梶川氏他の技を所持する人々によってしか制作できない。後継者の育成問題も含めて氏の増々の御活躍を期待したい。

（加藤俊明／安井建築設計事務所）

being 5

梶川 亮治 鬼板師



光安 義光



みつやす　よしみつ
1919　韓国京城生まれ
1947　東京工業大学建築科卒業
　　佐藤建築事務所入所
1948－71　兵庫県建築部
1958－78　神戸大学非常勤講師
1971－79　明石工業高等専門学校
　　建築科主任教授
1972－74　大阪大学、明石短期大学
　　非常勤講師
1979－　光安建築設計事務所を主宰
1983－　明石高専非常勤講師
1986－　園田学園女子短期大学、明石
　　短期大学非常勤講師
著書
「忘れがちな設計のポイント」相模書房
「設備技術者のための建築入門」学芸出版

今、自治体営繕組織のあり方を巡って、全国的に検討が進められている中で、兵庫県営繕の培ってきた〝手作りの公共建築〟が、熱い眼差しで見つめられている。昭和40年代の高度経済成長期に、大多数の自治体営繕が、設計・監理の外注に傾いた中で、内部設計・監理にこだわってきたスタイルが、改めて評価されているからだ。

そこで、今回は、兵庫県営繕を語る時、避けては通れない人である元兵庫県営繕課長光安義光氏を訪ねた。

何故、建築を

早く亡くなった父が、韓国の京城で宮大工をやっていました。又、養父は、染色の仕事をしていましたし、筆の立つ人でした。叔父に絵を描く人がいるなど、とにかく芸術的な雰囲気の中で育った事から、自然と建築を目指したのだと思います。とにかく小さい頃から絵を描くのが好きでした。

谷口吉郎のいる東工大で

京城高等工業学校を卒業すると、旅順工大へ進むというパターンが多かったのですが、旅順には建築学科がなかったので、思いきって東京に出ることにしたわけです。それも谷口吉郎のいる東工大にいくことを最初からきめていました。大学時代は、アブストラクトの絵ばかり描いていました。同期生の中では、井上充夫君がいました。彼は後に「日本建築論」で、建築学会賞を得ていますが、彼が私のやっているアブストラクトを大いに励ましてくれたこともあって、学生時代に自由美術に入選したりもしました。清家清君は私の一年後輩でした。絵のうまい学生だなという印象をもっています。

満州からビルマへ

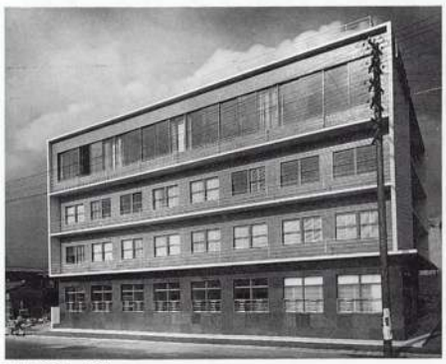
さて、昭和17年に大学を卒業したのですが、おりしも太平洋戦争のさなか、就職口もろくにありません。とにかく設計がやりたいということで満州国総務庁建築部に就職しました。しかし、すぐに兵隊にとられ、久留米の工兵隊（西部52部隊）に編入されました。勿論、技幹というコースも保証されていたのですが、敢えて幹部コースを避けて一兵卒の道を選んだのは、一日でも早く除隊したかったからです。また学生結婚して、所帯をもっていましたからね。この工兵隊は、上海事変で起きたあの肉弾三勇士の所属していた部隊です。その次に松戸の工兵学校に候補生として行かされたのです。久留米で元建築協会会長の福田朝生氏が見習い士官として私の教官をされていました。私はその後戦地に赴き、マニラからラングーンに船で行き、教育隊で教官を勤めました。敗戦後はそこで捕虜キャンプに収容され、日本兵向けの壁新聞にカットを描いたりしていて、またもやそこで、福田朝生氏のスケッチに出合ったことを覚えています。

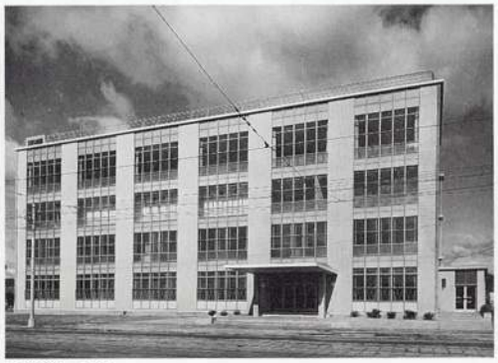
兵庫県に足を留めて

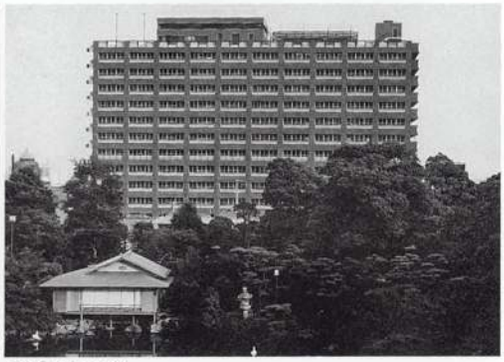
帰国後、とにかく東京に行こうとして途中で、妻の実家のある兵庫県小野市に立ち寄りました。神戸に来て毎日、六甲山を眺めているうちに、どこか京城の南山に似た自然景観が好きになり、兵庫県で暮らすことになりました。こうして神戸市には外来人として住み着くことになったわけです。

その頃は設計の仕事をするには、自治体しかありませんでしたから、兵庫県の営繕に就職しようとしたのですが、「大卒は採用しないから」と一度断られてしまい、困りましたが、一週間後に改めて電報で採用通知をもらうことができました。最初の職場は、公営住宅の監理でして、3年間続きました。次にようやく念願の職場である営繕課に回してもらいました。神崎郡の地方事務所の設計が最初の仕事でした。さっそく「建築文化」誌に発表したのを覚えています。次に芦屋市の保健所。これも木造ですが、建築雑誌に発表しました。とにかく発表し批判を受けたい。「個人の資格つまり、兵庫県営繕課という組織でなく、光安義光という個人で責任を取らしてもらいたい」と言ったわけです。いまでいうところの「顕名」ですね。雑誌に発表したら、チヤホヤされるというのは大間違いですよ。失敗すれば独りで批判を浴びるリスクもあるのですから。

それ以来、とにかく、設計したい、出来れば発表したい、それでなかったら兵庫県を辞めても良いとまで思い込んでやってきました。


真珠会館　1951


水産会館　1953


兵庫県庁舎　1962

営繕職員の育成方法

昭和26～28年頃は、木造の学校校舎の大量建設時代でした。忙しい毎日でしたが、「一つずつ地域に合った学校を建てよう」という目標を立ててのぞみました。その成果を雑誌に公表すると、職員の励みにもなり、職員相互間の刺激になりますから、次第に切磋琢磨の雰囲気になっていったように思います。この頃の兵庫県営繕課の努力はやがて文部省にも認められることになります。「手造りの公共建築建設の伝統がこうして出来上がっていったわけです。そうこうしているうちに、創設されたばかりの日本住宅公団から、ＲＣ共同住宅の工事監理委託の話が舞い込んできました。その時、企画係長をしていましたが、「確かに忙しくて大変な時期だが、これからはＲＣの時代。受託しよう」という判断をしました。住宅公団の工事監理の仕事を営繕課の研修教材として位置付け、年に４～５件の割合で、４年かかって職員に一巡させ、ＲＣ構造の基礎のノウハウを身に付けることに成功しました。余談ですが、この時に営繕課に入った事務費で、研修教材を購入するというおまけまでついたのです。また企画係内では２週間に一度位の割合で設計テーマを決めて、発表会もやりました。灰皿、バス停、公衆便所といった簡単なものでしたが、勉強になったと思っています。但し係内コンペはやりませんでした。実現性の無いものに限るべきだと思います。コンペのようなものは失敗すると職場で仲間割れしてしまいますからね。まあこういう私流の部下育成のやり方が、他から「光安学校」と呼ばれることになったようです。兵庫県営繕課の作業服も課内コンペによるものです。これは、前設備課長の宮川さんのデザインだったと思います。また、アンザル会という職場の研修組織も作りました。主に設計の失敗例を互いに公表しあったり、県内の新しい建築を見学したりする組織です。

代表作品について

やはり兵庫県庁舎ですね。あの焦げ茶色のタイルを外壁に選んだのは、周囲にインパクトを与える色、さらには長い年月の中でも汚れが目立たず、深みの漂う色を使いたい、そういう気持ちです。その後竹中工務店が頻繁に使う様になり、俗に竹中カラーと呼ばれる事になっていくわけですが……。

自治体営繕は死に体か？

次に、「建築と社会」誌の昨年５月号特集「自治体営繕と公共建築」の座談会の中で、氏が発言された「営繕課＝死に体論」の意味を改めてお聞きしてみました。

――「営繕課＝死に体論」は、少し誤解を生んでいるようです。正確に言い直すと、これまでの自治体営繕組織は、単体としての公共建築づくりに励んできたが、公共建築は都市の重要な位置に建設されることが多いのだから、これからは周囲の景観形成の上でも主導的な役割を果たすべきだ。そういう文脈の上で発言したものです。（公共建築の役割）＝（単体の目）＋（景観形成）が今後の方向ではないでしょうか。自治体営繕組織としても、都市・農・漁村計画的な視野が求められてくるし、行政の中の建築組織なのですから、国の補助金を直接取ってくるくらいの力をつけてもいいのではないでしょうか。とにかく自治体営繕組織の基礎が揺らいでいることは確かだと思います。

後輩に一言

自治体営繕組織の建築設計者は、出来るだけ建築企画の早い段階でプロジェクトに参加し、実施設計、工事監理まで一貫して見るべきだと思います。勿論、社会が複雑になっている今日では企画段階を専門的に担当する組織（兵庫県の場合、技術専門員）と矛盾しないような工夫をしないといけませんが。それにしても建築は物造りなのですから、ワンマンコントロールが大切です。又、組織活性化の為にも、年に一件位は設計の目玉を作って、リーディングプロジェクトにするべきだと思います。

次に、建築家はしっかり地元に根差さないと良い仕事は出来ないと思います。私が、かつて神戸大学の非常勤講師を引き受けたのもその一貫でした。これからの自治体営繕では、地域に根差した建築職員を目指して欲しいと期待しています。

増渕昌利（編集委員・神戸市営繕部）記

村瀬 彰雄 VS 中島 一
表千家清流会会長　東海支部長・愛知工大教授


中島 一

開かれた市民の茶道文化を

中島　今日は、まず茶道の精神について、次に侘茶が村田珠光に始まり武野紹鷗を経て千利休に至る過程において茶室が形づくられていったこと、さらに現代の住宅に対するご意見等を伺っていきたいと思います。

日本人の心と茶道の精神

村瀬　茶道の精神は、「和敬清寂」の四字、換言すれば能和、能敬、能清、能寂の四綱領で言いつくすことができると思います。和は和合の和、調和の和、和楽の和であり、敬は自己に対してつつしみ、他人に対して敬うという心持ちであり、清は清潔、清廉、――物と心の清であります。以上に加えて、心の落ち着きを求めていくことが即ち寂であります。この和敬清寂の四字を標的として、各自相応の天地を開く所に、茶道の妙味・精神があると思うのです。

さらに展開するならば、和敬は茶室を、清寂は茶庭を指している、という言い方も決して過言ではないと思うのです。

中島　今日おじゃましました時も、茶庭の飛び石を通ってこの茶室に入れていただいたわけですが、一つひとつの飛び石にしっかりと足をつけて茶室に迫って行く、あの時の気持ちというのは、何か幽玄の世界に導かれて行くように感じるものですね。

我々建築家はいつも建物と庭を一体のものとして考えているのですが、特に日本人は古来から庭と建物を一体のものとして考えていたようです。庭は自然の世界を濃縮して小さな空間に取り込むわけですが、そういったことを日本人は非常にうまくやってしまう。また、庭づくりだけでなく家づくりも同じようなことでして、例えばこの茶室にも障子がありますが、障子は向こうとこちらを完全に区切ってしまうのでなく、自然をうっすらと取り込みながら部屋を区切ってくれる。さらに、障子の向こうにたとえ人影が見えたとしても、我々はそれを見えたとは言わない。人の声が聞こえても、それを聞こえたとは言わない。そこらあたりに、日本人が古来から持っている心・道徳があるんじゃないか、という気がしてならないんです。と同時に、茶道の精神、心もそこに共通しているものがあると思うんですが……。

村瀬　ご存知の通り、現代の茶室建築の基礎は、利休が造り上げたわけです。が、その前に、まず珠光が在来の大きな部屋を縮めて初めて四畳半を作り、次に紹鷗もこのしきたりに合わせて四畳半を作り、更に室内の趣を簡略にしてこれを草の座敷とかえていったのです。そして利休は、師の紹鷗と相談しながら、更にこれを二畳半に縮小し、書院式の華麗な装飾を用いる余地の無いように、必要でかつ十分なだけの生活ができるように心をねったのだと思います。

「茶は台子を根本とすることなれども、心のゆくのは小座敷である」と利休は言っていますが、実に心をねるという面から考えて、華麗な装飾をかくさねばならなかったように思います。また、その時代には、茶道の作法はまったく変えてはならないものとされ、茶室建築の意匠なり設備なりも、これを基礎として細心の注意がなされたものと思われます。

中島　二畳台目という極小の空間に一切の装飾を排してまとめたわけですね。しかし狭い空間にもかかわらず茶室には、床の間が必ずついていますが、床の間は茶室にとって何か重要な意味があるんでしょうか。床の間はもともと、鎌倉時代以後、中国の宋、元から掛軸や花器、香炉その他の工芸品が輸入され、それを室内に飾ることが当時の上流階級の人びとの間に流行したもので、壁面に仏画などを掛け、前に卓（しょく）を置いたが、後に押板となります。室町時代に住まいが小さな部屋に区切られて室全面に畳が敷かれるようになった頃に、その押板が、壁を60センチほど奥にひっこめた作り付けのものになったと聞いていますが……。いずれにしても、極小の二畳台目の空間に床の間があるということは、単なる極小の空間、形態だけでなく、その空間の中に何かを求めようとする、そのしつらいとしての床の間をつくったのではないかと思うんですが。

村瀬　現在の茶室は、茶道をする点前の目的にのみなってしまった部屋とか床の間のように思っていますが、当時は床の間を、掛けものだけとか花入れだけとかのように限定しないで、お茶の点前という目的だけにとらわれないような使われ方をしていたことに注目する必要があると思うんです。

中島　それから茶室には、にじり口というのがありますね。露地を通り、飛び石を踏み、そして茶室ににじり口から入る。これもまた極小の入り口で、何か不自然にも思えるのですが……。ただこれも、実際に小さなにじり口から〝暗がりの空間〟である茶室ににじり入って来て、ハッと眼を上げたとき仄かに床の間が存在し、これで狭い空間を広く見せようとする一つの演出なのですね。

村瀬　それともう一つの意味は、当時、お侍さんが刀をつけて茶室に入れないように、小さなにじり口にした、という説もあります。

そして、洋風建築はほとんどが真ん中に入口があって左右対称な形をしているようですが、茶室は左右対称でない構えをしており、入口もにじり口が角についている。そのように茶室は装飾をしない極小空間の単純さの中に、非対称のバランスを求め、完全性を求めているように思うのです。

中島　また、茶室の中で重要な役割をしているものに、窓があると思うんです。光り窓、下地窓というのは、茶室設計の中で別段どこ



村瀬　彰雄

むらせ　あきお
1947年　愛知県生まれ
1967年　愛知学院大学法学部中退
1968年　表千家家元入塾
1973年　表千家茶道講師、現在に至る
主な委員
表千家同門会愛知県支部幹事補佐、清流会会長

につけよといったマニュアルはないんですね。どこにつけてもいいんだ、ということにまた意味があると思うんです。茶室は利休でもって完成したと言われますが、その利休が下地窓をつくり出したという説があります。こういう小さな窓、素朴な窓からしか光を採り入れないというのは、自ずと極小の空間が暗がりになりますが、茶道ではどうして暗がりでないといけないんでしょうか。

村瀬　茶室は必ずしも暗がりばかりではありません。が、ただ暗がりの中には、障子の下地窓を通して、春夏秋冬の四つの季節を、より感じやすいような効果があったんだと思います。ちょうど下地窓が針穴写真のような演出をしたんだと思います。下地窓の障子を通して、春には青い光が入り、秋には赤い光が入るといった具合に、光のコントラストの美学が当時にできていたんじゃないか、とも想像するんです。

中島　すると茶室は、下地窓から入って来る光によって、季節の移ろいを感じさせようとしているわけですね。

村瀬　そしてまた、茶室は、畳の目が非常に重視され、たとえば点前畳というのは目を縦に敷いて、光の屈折を避けるようにしているんです。それに対して客畳の方は目を横にしているんです。このように窓だけでなく、畳の目の敷き方にまで、光線を考えてつくられており、さまざまな複雑な組み合わせによって茶室がつくり上げられてきたんだなぁ、と感心することばかりなんです。

中島　ところで、千利休は秀吉によって切腹を仰せつかり、やがて徳川幕府の江戸時代になると、茶室の中に多少明るさが採り入れられるようになってきますが、暗がりから明るい方へ移行するのに、何か理由が茶道の中にあったんでしょうか。

村瀬　茶道のしきたり、お点前はあくまで変えてはならないものとしてあったわけですが、やはり時代時代によって徐々に作法も変わって来、それに伴って茶道の道具も少しずつ好みによって変えられて行くに従い、ワビからサビに変わって行き、利休が愛した茶腕から少し光をさした明るい陶器に変わって来たりする中で、茶室もそれに調和する明るさに移行していったのだと思います。

一般住宅にも茶室の趣を取り入れては

中島　話が現代にいっぺんに変わってしまうんですが、現在の住宅を見られて、何かお感じになることがあるでしょうか。

村瀬　今の住宅の中では、茶室にも普通の和室にもだいたい同じようなことが言えると思うんですが、先ほどからも話しに出ている照明の問題をもう少し考えてほしいと思うんです。明るければいい、というものではなしに、その部屋に調和する明るさを保つように設計されれば、より茶室、和室がよくなると思うんです。

そしてまた、茶室建築に限らず一般の住宅設計の中においても、茶室というものを単にお茶をたてる道具として見るのではなくて、茶道の精神を考慮した茶室のすばらしさを試みていただけたら、と思うのです。例えば畳も、六畳とか八畳といった方形に限るのでなく、折れ曲がった四畳台目にするとか、あるいは中板や中柱を用いて種々のおもしろい形にするのもいいと思うんです。そのように普通の住宅設計、住まい空間の中に、もっと茶室の趣を取り入れていかれればどうでしょうか。本当に茶室こそ、住宅建築のルネサンスだと思うのです。

中島　ところで最近は、いろいろなデザインのビルが建つようになって来ました。名古屋にも多くできて来ました。また名古屋市は、都市景観条例を制定し、久屋大通りを〝名古屋の顔〟にしようと努力していますが、それら新しいビルをご覧になってどうお感じでしょう。

村瀬　いろいろな形のビルが建つのはいいと思うんですが、高さはやはりあるレベルに統一した方がいいんじゃないかと思うんです。そして一番肝心なことは、和風建築のように、今の近代建築の街づくりも、10年、20年、30年後のことを考えて、それが風化されたときにより良いものになっていくことを見つめてつくられるといいと思うのです。

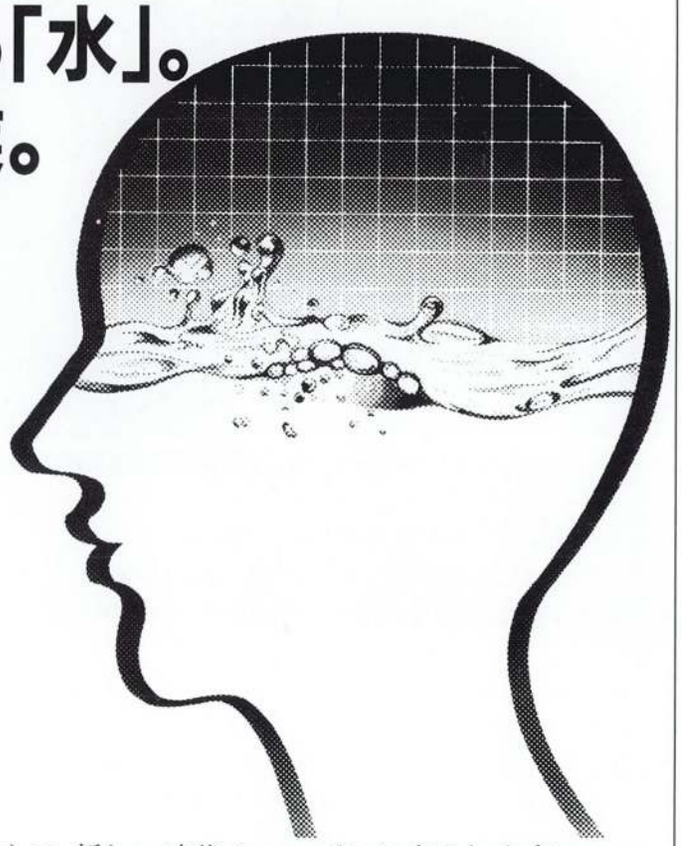
中島　名古屋は東京にも大阪にも近い距離にあって、情報もどんどん入って来るわけですが、それをどう生かすかということがこれからの課題だと思うんです。元々名古屋は芸どころと言われ、物事を選択し、磨いていくことが非常にうまかったはずなのですが、こういうなかで現在の我々がそれを日頃の生活にどう生かしていくか、だと思うんです。

村瀬　そして茶道においてもこれからは、特定の人達だけの茶道ではなく、日本の茶道として統一し、市民の茶道、開かれた茶道をつくっていきたいと私は考えているんです。

中島　確かにそうですね。開かれた茶道として、心の中に茶道というものが生まれて来なければいけないんでしょうね。イタリア・ルネサンスはフィレンツェで始まったわけですが、そこでは絵画、彫刻だけでなく、文化すべてが相競い合い磨きあって創りあげられて来ました。名古屋の文化も、これからはあらゆる創造分野の人達が集まって、他所のまねごとでなく、本物の名古屋ならではのものをつくっていかなければいけないと思います。

今日は大変貴重なお話しを伺い、ありがとうございました。

知恵と技術で甦る「水」。
水処理の藤吉工業。



いま、「水」をムダに使ってはいないだろうか…。
こんこんと湧き出る泉があるわけではない。
「水」もまた限りある資源。
一度使った水を再びきれいに。
藤吉工業は、「水処理」の専門メーカー。家庭用浄化槽、合併処理にいたる生活排水から産業廃水まで、高度な技術力、豊富な経験と実績、そしてスペシャリストを揃えてあらゆるニーズにお応えします。
限りある資源を限りない知恵で生かすこと
これが藤吉工業の姿勢です。

水と人と未来をひらく
FUJIYOSHI
藤吉工業

本　社・名古屋市中村区太閤四－2－8　TEL (052)451-8261
東京支社・東京都中央区日本橋小舟町9-13　TEL (03)666-7811
大阪支社・吹田市江坂町1-11-8日本生命江坂ビル　TEL (06)380-1211
●札幌●秋田●福島●青森●盛岡●仙台●新潟●宇都宮●大宮●甲府●長野●横浜●三島●浜松●富山●福井●豊橋●刈谷●岐阜●高山●土岐●四日市●伊勢●広島●福岡●沖縄

家庭用から合併処理・コミュニティプラントまで、新しい時代のニーズにお応えします。

●中小規模汚水処理施設●合併処理浄化槽●単独処理浄化槽●高度処理施設●3次処理施設●産業廃水処理施設●メインテナンスサービス●水質大気測定分析

受変電設備から開閉器まで
電気設備のシステムメーカー Aichi

特高・高圧受変電設備、キュービクル式高圧受電設備、監視盤、制御監、分電盤、端子盤、真空しゃ断器、断路器、非常用切替開閉器、変成器、その他受変電用機器

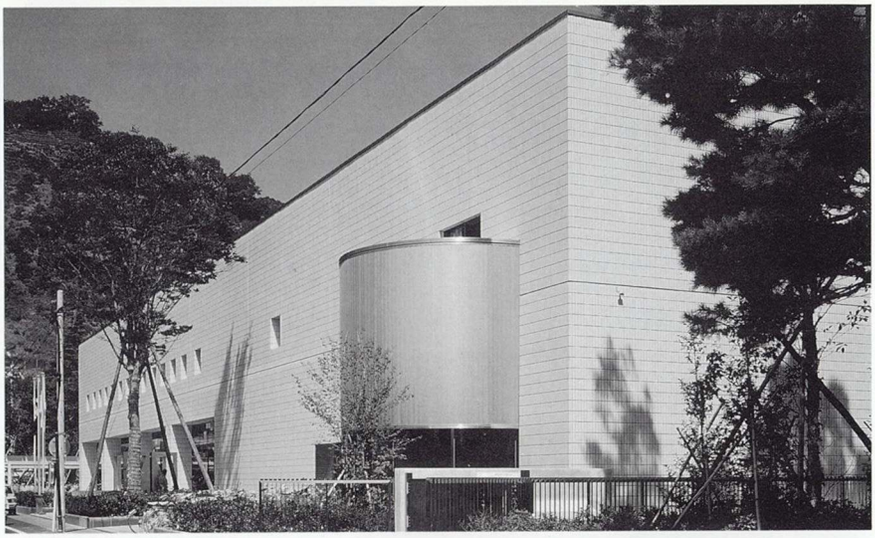
株式会社 愛知電機製作所

取締役社長　箕浦鑛一

本　　社　名古屋市東区葵3-15-31(住友生命千種ビル)　電話 (052)936-1541
東京支社　東京都港区西新橋1－18－14(小里会館)　電話 (03)501-0401
本社工場　春日井市桃山町3丁目23番地　電話 (0568)81-6291
支社・営業所　名古屋・横浜・大阪・福岡・静岡・浜松・豊田・岐阜・三重・広島

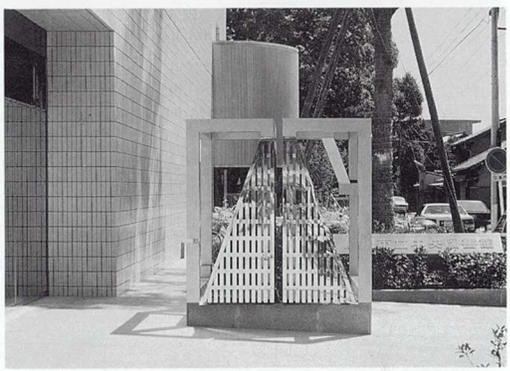
静岡市立中央図書館

所 在 地　静岡市大岩本町29―1
設　　計　ＲＩＡ建築綜合研究所
施　　工　木内建設
敷地面積　3,249.93㎡
建築面積　2,111.20㎡
延床面積　5,343.38㎡
規　　模　地上2階、地下1階
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造
竣　　工　1984年3月

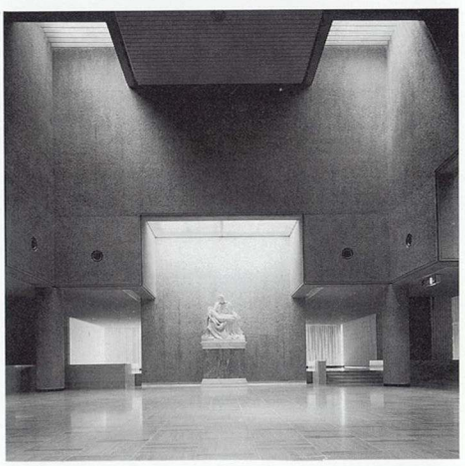


城北公園は旧静岡大学の跡地を再生した比較的緑豊かな市民憩いの場として親しまれている。この公園をめざして歩むと一画に低層の白っぽい建物が目に入る。徳川家康ゆかりの浅間神社、臨済寺等を見てきた目には、このシンプルな静岡市立中央図書館は、明るくさわやかさを感じさせてくれるのである。この閑静な住宅地に囲まれた図書館からは、お天気の良い日には北方に富士を望むことができると聞いたが、今日はあいにくのこと、その方角を伺うだけだった。

当初は、充分な広さの敷地が確保できなく、必要とされた施設規模と敷地規模との間の整合性をいかに創り出すかにその主眼がおかれたが、いまその前に立って眺めて見る限り、敷地境界線は消え去っていることは、お見事である。それは建物の円形部分と方形部分の組み合わせが、敷地をイメージさせないからだろう。







岐阜県美術館

所 在 地　岐阜県岐阜市宇佐4―1―22
設　　計　日建設計名古屋事務所
施　　工　大日本土木・土屋組特別共同企業体
敷地面積　28,007.63㎡
建築面積　6,200.63㎡
延床面積　7,160.83㎡
規　　模　地上2階、地下1階
構　　造　鉄筋コンクリート造
竣　　工　1982年10月

土用波のうねるような丘陵のはざまをうまく利用してこの岐阜県美術館は建っている。約2,500本の高低木によって公園化された人工の自然環境（？）創出のデザインは、くつろいだなかにリゾートの感じを与えてくれる。そのうえ、この建物の外壁はご当地の伝統産業の一つである山型の施釉大型せっ器質タイルを採用しているから、田園的なスタイルは、周囲の景観にとけこむよりは、むしろ誘導してくれるかのようである。この夏、スペインのバルセロナを訪れた。その日車でモンジュイクの丘へ登り中腹のミロ美術館の前に佇ずんだ。いや何も比較しようとの意図では毛頭ない。近づいて眺めて見る外観は、やはりまぎれもなくカタルーニヤに存在する美術館、真夏の太陽は、景観を創り出していた。岐阜県美術館は、四季の移ろいの中に景観を創ろうとしている姿に敬服するものである。

書　評

非の建築—日本住宅の風景

伊従　勉

本書は1969年の脱稿後23年、しかも著者の死後６年にして漸く陽の目を見た。この間住宅建築についても多くの建築史的事実が発掘され、概説書が著され、例えば、桂離宮の解体修理などがなされたわけであるが、此の著作がその魅力を殆ど減じていないのは、著者の建築家的な眼差しが、常に古建築の永遠の現在に定位しているからにほかならない。歴史学的、思想史的、あるいは宗教的な諸事実を建築の空間的な生きた出来事の中に読み取り得る卓越した眼差しを此の建築家が駆使していたことを、読者は今にして知るのである。

＊　　＊　　＊

本書の内容は著者の京都大学在職中、外国人留学生を前にしてなされた講義を出発点としている。その長きにわたって続けられた日本建築についての談話は、もう一つ別の日本建築全般への入門書として結実し、日本を訪れる欧米の建築家の必読の書となっていることは、意外に知られていない(〝Architecture universelle,JAPON〞, Office du livre, Fribourg, 1969 英訳〝Living Architecture, Japanese〞, Grosset and Dunlop, 1970)。

本書はしかしながら所謂日本住宅の通史的概説書ではない。その成立の事情からして、日本の伝統的な住居が西欧のそれと、特にその空間において如何に対照的であるかを「系統だてて理解する」ことがまずは本書の課題なのだが、その理解は住宅の空間形成に発現する日本に固有の心性の把握如何にかかっている。それを著者は「用と非用とを同一平面上に共存せしめ、そこで何等の矛盾を感じない心性」（ｐ．51）と要約し、それを王朝期邸宅における宗教的な聖俗同居や、中世住宅における実用の場（書院造り）と非実用の遊興的場所（会所や茶屋）との同居、そして近世の上級農家における非実用の座敷と生活の場の同居といった事態に通底する日本的な心性と見做すのである。そして寧ろ農耕的には非生産的な、しかし社会的審美的には有用な此の非実用部分の歴史的展開に、建築における日本の伝統を見ようとするのである。此の伝統は本書の扱わない近代以降の日本の建築文化にもおそらくは当て嵌るといえよう。

生産的には非実用なものの淵源は、その都度大陸からの渡来文化の影響を引いているのも日本文化の宿命といえる。古代における大陸の建築様式（寝殿）しかり、平安、鎌倉期の仏教文化の世界観しかり。それらを既存のものと共存させる日本的な手法の初発が庇の空間であったことは周知の通りである。奈良佐味田古墳出土の家屋文鏡に描かれる竪穴式



家と庭の風景
日本住宅の空間論的考察
増田友也著
ナカニシヤ出版刊
3,800円

住居と２階建ての楼観住居前方にみられる露台に掛かる衣笠を庇の空間の前建築的な胚胎と見るユニークな著者の視点は、既に昭和28年に発表されたものである。

さて、建築空間としては、大陸的な母屋と日本的な庇との対比的構成から始まり、次に建具の発展と書院形式の成立に従ってその区別が解消され、開放的方格的な空間分割が出来上がる。その書院造りの方格的な「真」の空間性格に対し、「行」の数寄屋、そして「草」の侘びの茶座敷が成立して行くのであるが、それは同時に自然に対する眼差しの表現としての作庭の思想が、時代に応じて深まっていくことにも対応している。そして著者の空間論の面目躍如たるところは、このようにして構成された日本中世の事物的な空間(家と庭)が表現する自然という「意味としての空間」の象徴的、現象的性格を、「非」なる超越性として把握して行く下りである。

自然を仏教的世界そのものとみる禅宗の無情説法が、夢窓の作庭によって自然を象徴する以上の超越的な次元を開き、利休が心象的な自然の視覚化を通じて非視覚的は侘びの境地を開いたのも、日本中世の到達した「非」の思想の空間的な表出における極北であったと著者はみるのである。利休に対する遠州夢窓の西芳寺に対する八条宮の桂離宮（両者における庭園建築の配置の相似性が指摘されている、川上貢、『桂離宮』小学館、1970)、それらの間の思想的深さの相違即ち上記の超越的空間の濃密さの相違が、近世以降に展開する親自然的で開放的な所謂日本の伝統的な芸（術）的空間構成における思想的境位の変容を示している、と著者は考えるのである。

中世のこの「非」の思想的境位こそ著者の建築論的な思索の導きの糸であった。近世におけるその世俗化としての「いき」の空間に触れる最終章は、それが鎖国によって閉じこめられた日本都市における唯一の特殊地域として成立した「廓」の、その趣味感覚が辛うじて支えるある洗練された性的な経験の空間的な表出であったことに言及することにより「いき」という「非」の近世的空間形成についての、周知の九鬼周造の「いきの構造」へ向けての建築家による批評となっている。

＊　　＊　　＊

日本住宅の思想への入門書として建築家以外の方にも是非お奨めしたい本である。

書評委員（敬称略）
伊藤郁郎（日建設計）
伊従　勉（京都大学教養部助教授
太田隆信（坂倉建築研究所大阪事務所長）
加藤邦男（京都大学建築学科助教授）
橋本敏子（生活環境文化研究所所長）
増渕昌利（神戸市営繕課）

新刊寸評

光の街・影の街

モダン建築の旅

海野 弘 著

副題にあるように、この本は著者が、あまり知られていない地方都市を巡り、かつての輝きを失い今や時に取り残されようとしている20～30年代のモダニズムの痕跡を辿った旅日記である。雑誌の連載を再編集したものでややまとまりに欠けるが、夫々の話が独立していて読み易く、地方建築文化史の一端が垣間見える楽しい本である。特に一枚一枚の写真が自分の記憶の何処かに残るノスタルジアをくすぐり、ふと時を忘れそうになる本でもある。



伊藤郁郎（平凡社刊 1,900円）

ポスト・モダンの座標

松葉一清著

『東京ポスト・モダン』『日本のポスト・モダニズム』を既に出している著者による、現時点における「ポスト・モダン」の総括的、理論的報告書である。「何が原動力となり、どこがどのように変わっていったのか」を見るのに役立つであろう。

（鹿島出版会刊　1,800円）

私が読んだ本

文学の美を建築の血肉にする

永田祐三（永田・北野建築研究所）

少年時代、私の家にはなぜかたくさんの書物がありました。しかし殆んどと言っていいくらい私は本を読んだことはありませんでした。ただ一冊だけ〝子きな家〟という小説を読んで、たいそう感激をしたのを覚えているのですが、この題名が正確には〝家なき子〟であることがわかったのはごく最近のことであります。本が古すぎて逆勝手に書かれていただけのことであり、それに気付いた時はすでに大人になって、家を設計する人になっていたものですから、私自身がびっくりしているくらいのものです。このような私が、これから読書に関してお話をするわけですから、これから先はほとんどいい加減だと思って聞き流していただきたい。

＊　　＊　　＊

私は建築の仕事をして居りますので、建築関係の書物は仕方なく読んで居りますが殆んどと言っていいくらい私には楽しみのないつまらない読書であります。しかたなしに私は趣味として主に音楽関係の書物を読んでいたのですが、表現という点に於いて大変建築と似た所があり、興味深く読んで居ります。ちなみに例を挙げますと〝グレン・グールド変奏曲〟という本ですが、グレン・グールドのたくさんのエピソードを通じて、彼が関わったたくさんの人々と、どのようにして独自の芸術を築いていったかが浮き彫りにされて居り、ぜひ音楽好きの人にお勧めいたします。

まあそのこととは少し話は離れますが、建築の設計を仕事として居りますと自分の心が色々な所で行き詰まることがしばしば起きてまいります。たとえば設計そのものの方法に関して、あるいは何の為の建築であるのか、建築に於ける美学とは如何なるものなのか……、数えきることの出来ないたくさんの疑問にどのように答えて行けば良いのか。少し書生さんのようなことを申しましたが、解答を見つけ出すことはたいそう難しいことであります。しかしながら建築家というものは、たとえ方法や思想が未熟であっても、それはそれなりに結論を出さねばならない仕事であることは、みなさん周知の通りであります。そんなわけですから言いかえるならば、よほど鈍感な神経の持ち主か、あるいは、私こそは神の啓示を受けたと言い張って嘘のつける人でないと、やっては行けない仕事ではないだろうかと想っています。

少し暴言になりましたが、さすれば、私のようにひどく鈍感でもなく、神の啓示も受けたことのない建築家はどのようにすれば良いかということになるわけです。私の経験から



結論を申し上げると、偉大な文学者と上手に友人になることだと思います。その詩や小説という作品を通して友人になることであります。その文学作品を通して美を知るということであります。今ここに文学論を始めようとしているのではありませんが、ただすぐれた文学というものは、人間あるいは人生への追求へ一切を賭けて没入しているのであります。人間を問題にし、人間への追求を主題にしている点では建築も文学もはなはだ近い部分があるということであります。

このように話をしてまいりますと、前述の〝グレン・グールド変奏曲〟という本は面白く興味深いのでありますが、私達の血肉にはなりません。グレン・グールド彼自身が奏でる音楽以外は私達には何の役にもたたないということであります。もう少し申し上げるならば、最近建築界の論説に色々な所で、谷崎潤一郎の〝陰翳礼讃〟を引っぱり出して来て称賛している文章に出くわすことがしばしばありますが、馬鹿らしくて、この建築家は何を考えておられるのだろうと思って恥かしくなることがあります。谷崎はエッセイのアマチュアであります。〝陰翳礼讃〟に出てくることなどは、普請好みの谷崎でなくとも日本人なら生まれる前から染み付いているのです。いかにも哲学でもあるかのごとく語るのはどうかと思います。

先ほどから申し上げているごとく、谷崎潤一郎で読まれなければならないのはその文学作品であります。佐助と春琴の物語〝春琴抄〟を読んでごらんなさい。陰翳は織り成され昇華され、何者も到ることの出来ない美が、そこに存在しているではありませんか。このような美こそ私達の血肉になるのであります。このような数々の美で、私達の心をまとうことが出来るならば、こんなぜいたくがどこにありましょう。

＊　　＊　　＊

私は今でも月に一回や二回は読むアルチュール・ランボー〝地獄の季節〟。なんという輝きでしょうか。坂口安吾の小説、これは心のふるさとです。何度読み返しても、ぜいたくで豊かな表現力に支えられているではありませんか。谷崎潤一郎のぞっとするような美のただよう小説の数々……。あゝ、私は神ではなしに、このような大作家の美から啓示を受けたといって嘘ぶきながら、建築の設計にでもとりかからないかぎり、どうして建築家などという職業がつとまりましょうか。

ながた　ゆうぞう
1941年　大阪に生まれる
1965年　京都工芸繊維大学工芸学部建築工芸学科卒業
1965年　竹中工務店入社
1973年　S.O.M. サンフランシスコ事務所
1975年　竹中工務店大阪本店設計課長
1985年　永田・北野建築研究所設立、現在に至る

主な作品
- 熊本電子ビジネス専門学校（1986年）
- 光世証券京都ゲストハウス（1986年）
- 株式会社源本社及び本社工場（1987年）
- 株式会社荻原大阪支店ビル（1987年）

新刊寸評

逆光の都市で

若一光司著



いつも独自の視点からメッセージを贈り続ける著者がまとめた「都市論」「大阪論」である。「ちょっと風変わりな本にしてみたい」という著者の思惑どおり、ドキュメンタリー、エッセイ、紙上座談会、自ら撮った写真がうまく組み合わさり、しかも黒ベタ地に白ヌキページ、大活字ページとページ構成も起伏に豊んでいる。そして、都市のあり方、その中で生きる人間の生き方に迫る、ユニークかつ鋭い視点は、読む者を著者の世界に引き込まざるを得ないだろう。「最近、『都市論』が大賑いである。……しかし、「都市論」を読めば読むほどに或る種の不満が確実に堆積されてゆく。触れたいものに触れ得ないもどかしさと共に、何か根本的な問題に巡り会えぬことの苛立たしさが募るのである。その原因は、これらの『都市論』の多くから、まるで示し合わせたかのように『都市における死』が抜け落ちていることにある。」
――「『死』の見えない都市」より

（ブレーンセンター刊　1,200円）

50 ARCHITECTS IN KANSAI

昭和生まれ 関西の建築家50

ARCHITECTURE AND SOCIETY
建築と社会
臨時増刊号

1987.7

好評発売中

「関西の建築家50」に寄せて……9
社団法人日本建築協会会長佐野正一
座談会関西の建築家群像と建築……12
神戸大学名誉教授向井正也、大阪芸術大学教授高橋靗一、建築写真家村井　修
山崎泰孝　福井工業大学・ＡＺ環境計画研究所……20／**グランディア芳泉**……21／**太田隆信**　坂倉建築研究所……22／**浪速短期大学伊丹学舎**……23／**水谷頴介**　計画同人ＴＵＲ・水谷研究室……24／**塚口の家**　他……25／**出江　寛**　出江寛建築事務所……26／**逆瀬台の家**……27／**狩野忠正**　竹中工務店……28／**日本キリスト教団　池田五月山教会礼拝堂**……29／**渡辺豊和**　京都芸術短期大学・渡辺豊和建築工房……30／**旅籠「飛籠館」**……31／**三輪泰司**　地域計画・建築研究所……32／**関西文化学術研究都市**……33／**中川洋一**　安井建築設計事務所……34／**広島市庁舎**　他……35／**遠藤剛生**　遠藤剛生建築設計事務所……36／**KEYENCE**……37／**小角　亨**　日建設計……38／**大阪市庁舎**……39／**田中弘成**　大林組……40／**シティバンクＮＡ大阪支店**……41／**高松　伸**　高松　伸建築設計事務所……42／**織陣第Ⅲ期**……43／**土肥耕一**　東畑建築事務所……44／**医療法人みずき会芸西病院**……45／**川崎　清**　京都大学……46／**大谷大学本部・研究室棟**……47／**高口恭行**　奈良女子大学・造家研究室……48／**一心寺信徒会館　日想殿**……49／**辻野純徳**　浦辺設計……50／**倉敷中央病院**……51／**蓮佛　亨**　京都建築事務所……52／**立命館大学　国際関係学部**……53／**指宿真智雄**　建築デザイン一級建築士事務所……54／**ホテル「嵐亭」**……55／**寺本敏則**　日建設計……56／**ツイン21**……57／**門内秀裕**　兵庫県都市住宅部営繕課……58／**兵庫県公館**……59／**美濃吉昭**　大成建設……60／**ザ・シンフォニーホール**……61／**山本達哉**　山本・西原建築設計事務所……62／**亀岡市民体育館**……63／**北村陸夫**　ズーム計画工房……64／**Ｔ邸(輝ける廃墟)**……65／**浅井　謙**　浅井　謙建築研究所……66／**グルメタワー・アクロス**……67／**菅家克子**　菅家建築設計室……68／**田口さんの家（または、コンクリートの家）**……69／**吉村篤一**　建築環境研究所……70／**大龍堂書店**……71／**藤縄正俊**　大林組……72／**大阪大林ビルディング**　他……73／**横山誠一**　安井建築設計事務所……74／**Ｍ邸**……75／**瀧　光夫**　瀧　光夫建築・都市設計事務所……76／**愛知県緑化センター**……77／**上田　篤**　上田　篤アトリエ・京都精華大学……78／**お祭り広場の「花」**　他……79／**本城邦彦**　竹中工務店……80／**同志社女子大学田辺キャンパス頌啓館（音楽棟）**……81／**宮田照久**　昭和設計……82／**鹿児島厚生年金健康福祉センター〝サンピアあいら〟**……83／**徳岡昌克**　徳岡昌克建築設計事務所……84／**稲沢市保健センター**……85／**中嶋龍彦**　中島龍彦建築事務所……86／**学校法人・四天王寺学園「和光館」「体育館」**　他……87／**深谷浩一**　深谷浩一建築事務所……88／**臨南寺本堂**……89／**鳴田勝次**　神戸大学……90／**甲南こもん**　兵庫県立健康センター＋灘神戸生協生活文化センター……91／**石原左内**　神戸市住宅局……92／**神戸市外国語大学**……93／**谷　淳之介**　東畑建築事務所……94／**佐賀市総合文化会館(仮称)**……95／**吉羽逸郎**　大阪府建築部営繕室……96／**サンパレスひらかた**……97／**上田信也**　日建設計……**大阪城ホール**……99／**谷山　隆**　コンコード建築設計事務所……100／**HABITAT　D'HARMONIE**……101／**寺嶋繁久**　Sim建築事務所……102／**松岡邸**……103／**三宗司郎**　昭和設計……104／**神戸ポートアイランドスポーツセンター（プール・スケートリンク棟＋ワールド記念ホール）**……105／**東　孝光**　大阪大学……106／**橋本バプティスト教会**……107／**平山明義**　平山明義一級建築士事務所……108／**松本邸**……109／**重村　力**　神戸大学・Team Zooいるか設計集団……110／**脇町立図書館**……111／**北島道生**　北島道生アトリエ一級建築士事務所……112／**Ｋ邸**……113／**横井孝史**　建設省近畿地方建設局営繕部……114／**国立室戸少年自然の家**……115／**川村眞次**　住宅・都市整備公団関西支社……116／**リバーサイドさぎす**……117／**加藤邦男**　京都大学……118／**舞鶴市総合文化会館**……119
昭和生まれの建築家に贈る言葉
安住を求めるな……120
東畑建築事務所取締役会長東畑謙三
不易流行……122
浦辺設計相談役浦辺鎮太郎
技術集積としての建築……124
日建設計取締役社長薬袋公明
関西戦後建築四十年史―村野藤吾から安藤忠雄まで……126
京都大学助手石田潤一郎
ストリート建築論―中之島から御堂筋を巡って……132
大阪芸術大学講師山形政昭
年表・関西建築界と昭和生まれ関西の建築家50（カラー折り込み）……138
昭和設計調査研究部西川純一
関西建築マップ（カラー折り込み）……143
東畑建築事務所北村　潤
アンケート　昭和生まれ―関西の建築家50人のプロフィール……147
日建設計中井　進、駒田哲男
関西の設計組織―官公庁・公団営繕、組織設計事務所、建設会社設計部……151
委員（インタビュアー）プロフィール……164

総頁数214頁
社団法人 日本建築協会　〒530大阪市北区梅田1-1-3-2100大阪駅前第3ビル21階 TEL.06(348)0635までお申し込み下さい。
定価一部￥1,500(送料は本会会員はサービス、会員外は送料200円) 振替口座　大阪1-39975

大阪府下特定行政庁連絡協議会制定「コンクリート工法に関する指導要綱」によるコンクリート用骨材試験業務のお知らせ

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1　〒565
電　　話…(06)872－0391　FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
　　土曜：9：00～12：00

はじめに

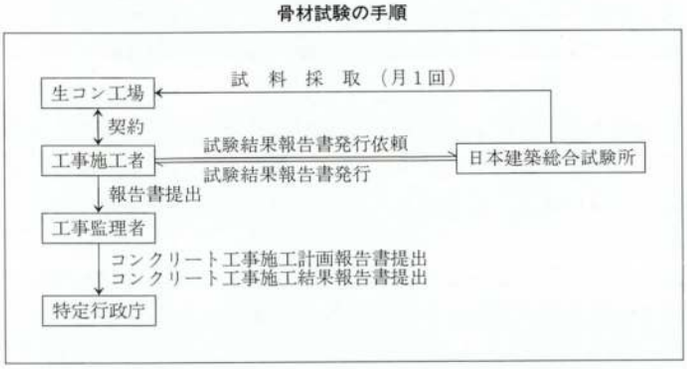
大阪府下特定行政庁連絡協議会制定の「コンクリート工法に関する指導要綱」（昭和52年８月１日制定）が昭和62年７月22日付で改正され、昭和62年10月１日から施行されることになりました。

今回の改正により日本建築総合試験所は、従来通りの骨材試験の受託試験に加え、工事施工者の方々の代わりに試験試料の採取についても昭和62年10月１日から実施しております。試験の手順、試料採取、試験、試験結果の報告、試験料金等について以下にお知らせいたしますので、ご利用の程お願い申し上げます。

１．骨材試験の手順について

当試験所が試験試料の採取を行う場合の骨材試験の手順は、下図のようになります。

骨材試験の手順



当試験所はあらかじめ各生コン工場を月１回巡回して試験試料の採取をさせていただき、その試料について試験を行う一方で、工事施工者の方から試験結果報告書の発行依頼を受けて、その都度該当生コン工場の骨材試験結果報告書を発行することになります。

２．試料採取について

試料の採取は当試験所の試料採取係員が試料採取巡回車で、大阪府下の指導要綱対象建物に使用されるコンクリートを納入される生コン工場を対象に、月１回巡回して行います。

試料の採取量は細骨材・粗骨材それぞれ約20kgです。

３．試験について

採取した試料は、当試験所ですぐ試験を行います。試験の項目は改正要綱に定められている次の３項目です。

(1)　海砂を含む砂の塩分試験
　　（JASS 5T-202）
(2)　山砂を含む砂の洗い試験
　　（JIS A 1103）
(3)　砂・砂利・砕砂・砕石の粘土塊量試験
　　（JIS A 5304 付属書１の6.1）

４．試験結果報告書の発行について

試験結果は、工事施工者の方から所定の試験結果報告書発行依頼用紙によってご依頼いただければ、該当生コン工場の試験の結果報告書を発行します。

報告書の発行依頼の受付および発行業務は下記のところで行っています。発行依頼用紙も下記のところにありますので、ご請求下さい。

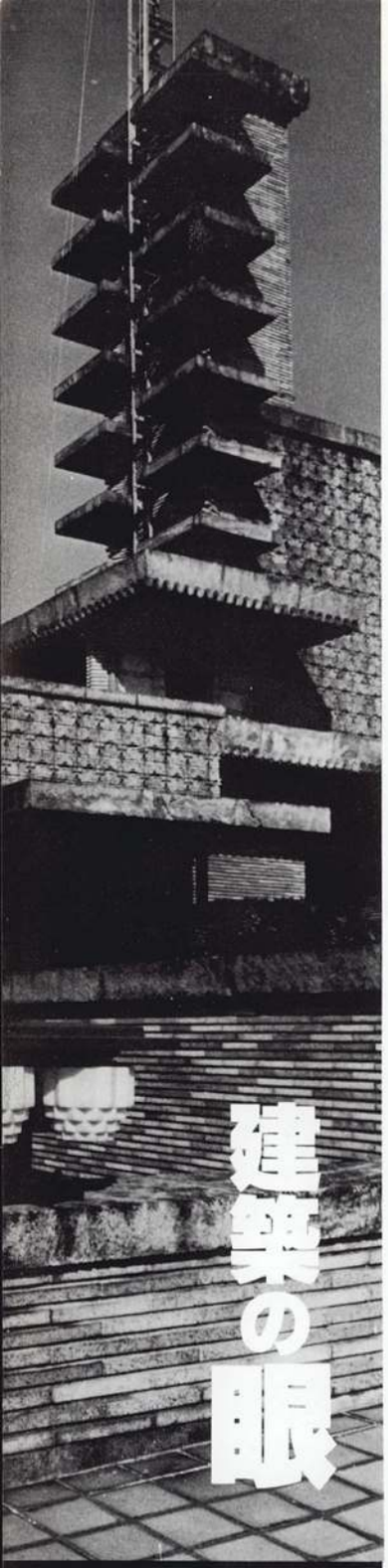
本　　所　吹田市藤白台5丁目8-1
　　電話（代）06(872)0391
　　（直）06(834)0561
大淀分室　大阪市大淀区長柄西2丁目1-18
　　電話　06(351)7217
堺 分 室　堺市浜寺石津町西2丁1-34
　　電話　0722(44)3912

５．試験料金について

報告書発行に要する費用は、おおむね従来の骨材試験料金の半額で、下記の額を工事施工者の方から申し受けます。なお、この料金は大阪府下の指導要綱に係る物件に限ります。

塩　分……3,000円/件
洗　い……2,500円/件
粘土塊……5,500円/件

・その他ご不明の点は前記までお問い合わせ下さい。



建築の眼

加藤　力（かとう つとむ）
京都工芸繊維大学住環境学科助教授

高木　登（たかぎ のぼる）
住宅・都市整備公団関西支社
住宅事業第2部長

谷山　隆（たにやま たかし）
コンコード建築設計事務所代表

田中弘成（たなか ひろなり）
大林組建築設計第三部部長

7月号から12月号まで上記の4氏が担当

もっと、インテリアを！

「ニューオフィス」やら「オフィスルネッサンス」など、このところオフィス環境を取り巻く動きがあわただしい。高度情報化社会の中での新しいオフィス空間づくりを目指したものである。
オフィス後進国とまでいわれ、振り返ってみれば日本のオフィスは決して具合の良いものではなかった。特に、オフィスワーカーの身の廻りの環境がおそまつであった。ネクタイ1本にも満たぬ価格の椅子をあてがわれ、吊しの背広より安物のスチールデスクに腰掛けて、何十年と毎日使い続ける。金額がすべてでないにしろ、衣服に比べ、家具・インテリアにさかれる金額は微々たるものであった。一方、ビルの外観にも金はつかわれたが、その実、内側の部分には余裕は廻りかねた。ひっきょう、家具・インテリアは一番あと回しにされ、見落される。ＯＡ化やインテリジェントビルなどのインパクトによって、いよいよオフィスの内側にも目が向けられるようになった。だが、注意しなければならない。ともすれば生産効率・能率とやらに目を奪われて、またしても人間の環境条件が忘れられてしまう恐れがある。
もっと、インテリアに！
（T.K）

終の住処

神戸に引越してから丁度一年になる。通勤時間が長くなったことを除けば、概ね満足しているので、此処を終の住処にしようと思っている。改めて数えてみると、生まれて以来8回も住所を変えている。その都度それなりに転居する理由があったことは確かだが、もうそろそろ落ち着くべき時が来たようである。私の場合に限らず、現在の社会状勢の中で、終生住処を変えなくて済む場合はかえって珍らしく、この先も住み換える機会が増える傾向は当分続くものと考えられる。事実、現在の住宅に対する需要のほとんどが住み換え需要であり、そして住む人達の職業や、年齢、家族構成等の組み合わせによってそれぞれのライフスタイルが異なる如く、その内容も多岐多様である。
これからの住まいづくりの要点は、この様に多様化したニーズに合わせて多様な住宅をバランスよく供給して行くことであり、誰もが何時でも自由に住み換えることができるように住宅事情を改善して行くことであろう。そうすることによって始めて、各人がそれぞれの身に合った「終の住処」を求めることができるのだと思う。
（N.T）

コンペの最終案決定を市民投票で

私は、一昨年秋八尾市文化会館計画が市民参加のもとで構想が練られていることにともない、設計を公開コンペとしたうえ、最終案を市民投票によって決定してはどうかとの申入れをした。この提案は市当局で相当高いレベルで協議され実現一歩前まで進んでいたと聞くが、日程の問題で採用されなかった。
一見市民まかせの無責任な決定方式に見られるがけっしてそうではない。審査委員会は応募案について施設の機能面等専門的な検討を十分行い、いずれの案が実施にうつされても問題の少い優秀な案を複数選定する。この複数案について審査委員会のコメントを附して公開し、市民投票を実施することになるので、市民は地域の環境にとってどのデザインが好ましいかの視点に立って選べばよいことになる。この方法は建築と市民の接点をつくりだす。また指名コンペの最終審査にも応用でき、設計業界の談合や不正取引が防止にも役立つものと思われる。
昨年6月にはサンケイ新聞紙上で、日建設計の林昌二氏も「市民投票がいまの日本には必要な過程だ」と語られていた。私の様な零細な設計事務所の長から世界最大の設計組織の長まで同じ提案していることは興味深い。
（T.T）

都市住宅

仕事を終えて家にもどってドレスアップをして、コンサートやパーティ、あるいは買物に出かける、といったことがウィークデーに何時でもできれば、どんなに毎日が楽しく心豊かになるであろうか。都市内に住めば当然できることで、都市施設の整った都市での職住近接の最大のメリットは充実した都市のサービス機能を大いに享受できることである。効外の田園住宅もいいが都市内居住へのニーズも高くなってきている。
私達のまわりの生活に必要なものはほとんど充足されて豊かになったし、所得も欧米を上まわるともいわれるようになったが、以前ローマで現地の人達の生活を見たとき、われわれよりはるかに心豊かに都市生活を楽しんでいるように見えた。大都市圏に住むわれわれに何が欠けているのかを考えてみると、どうも住宅環境と時間的にもゆとりの持てる心の豊かさが充分満たされていないことのように思う。数年前から各都市で景観賞を設けるなどして、まちづくりについてすこしは考えられるようになっているが、休日や夜間にも人が住んで都市施設が有効に利用され機能する活気のある都市づくりを考えなければならない。現在のような土地・住宅無策がつづけば真に生きた都市づくりは望めない、今こそ都市住宅を中心に考えたまちづくりを真剣に考える時ではないだろうか。
（H.T）

特集●第34回青年技術者

青年技術者選衡委員会総評

選衡委員長 長谷部朔郎

建築に携わる多くの分野から、未来性を秘める優秀な青年技術者を選定し紹介する本会の企画は、すでに建築界に定着し意義あることである。しかし、人を選出することは、作品を選ぶ以上に難しいことを痛感した。選衡委員会では、本人が会社、組織のなかでの仕事にどのような役割で参画されたかについて、とくに留意して審査を行った。

今年もレベルが高く優秀な応募者であったが、設計、計画の応募数がすくなかったのが残念であった。入選者に対しては今後さらに精進され、日本建築協会会員として活躍され、建築界の発展に貢献されることを期待する。

今回の選衡結果はつぎの通りである。

部門	設計	構造	設備	施工	計画	その他	計
応募者	5	4	4	3	1	1	18
入選者	4	3	2	2	1	1	13

設計部門：応募者総数の多少も問題ではあるが、いわゆる大組織に属さない技術者の応募が少ない方が気にかかる。作品そのものはいかに小さくとも、視点の新しさや論理の展開方法などに教えられるところが多いと考えられるため、関西の建築思潮に一石をぜひ投じて欲しいと思うからだ。また、今回入選した大組織所属の技術者の方々も、個々の作品の解説を単にまとめるだけでなくて、自己の設計仮説のようなものをまず立てて、それがどのように作品に反映されているかをより明快に系統だてて説明して欲しいと考える。

構造部門：Y氏―若いときの製鉄工場の構造設計を基礎力とし、合理的な考え方に徹して、構造計画から現場監理まで推し進めるエネルギーを、その作品から感じられる青年である。H氏―応募作品は小さくても、その一つ一つにいきいきとした空間が感じられ、手作りの構造設計の味には、かくされた実力が感じられる。U氏―動的解析の手法にも精通し、大規模な応募作品にも良きアイデアが盛り込まれていて、これから成長する人である。

設備部門：建物の用途、ねらいの品質などの違いもあり、甲乙つけ難かったが、選にもれた二人については、業績に関する具体的資料の不足が残念であった。入選した二人、O氏は、大空間の空調設備の問題解決に際し、新しい着想を実験によって検証しながら一歩一歩前進するという、技術者としての手堅さに好感がもてた。常に感性を鋭敏に保ち、柔軟な発想で問題解決の端緒をつかみ、努力によってその技術的裏づけを確認しながら前進することは大切である。Y氏は、いろいろ新しい問題があるハイテク工場の建築について、建築設備技術者として問題解決に挑戦し、自らの努力により具体的な成果をあげていることに注目した。

施工部門：今回は3件の応募があった。超高強度コンクリート、鉄骨建て方の横引き工法、プレハブ工法に関するものである。それぞれ立派な成果をあげており優秀な方々ではあるが、そのうち本人の創意工夫、研究、努力の跡がよく分かり、今後その成果が広く応用できそうなものを選考した。コンクリートの高強度化は必然的であり、鉄骨建て方の多様化も社会の要請であろう。この二人は今後の活躍が期待される青年技術者である。

その他部門：最近は、建築の世界でもOAの波が押し寄せてきている。パソコン、ワープロ、CAD等建築の技術以外の技術が必要とされるようになってきた。設備工事における電気や機械技術者のようなものだ。これからは多方面の専門家に建築を担当してもらわねばならない。そう言った意味で建築専門でない人が施工図CADに取り組み、成果をあげたことは賞賛に値しよう。市販されているものも多いが、自ら作り上げたことに意義があろう。

計画部門：建築と都市との間(はざま)を埋める方法は、用途指定等の制度的手法や、道路公園等のインフラ整備を主としてきたが、結果として魅力のある都市的な空間を生み出し得たかは疑問のあるところであろう。本年の応募は1件のみであったが、いくつかの建築を群として捉え、新たに都市的な空間を生み出すべく意欲的な提案を行っている。大規模再開発が脚光を浴びている今日、計画部門において今後同様の提案が数多くなされることを期待したい。

設計部門 久保清一（アルキービ建築・造形・計画事務所）
〃 赤木 隆（日建設計）
〃 桜井則雄（大林組）
〃 桜井信雄（竹中工務店）
構造部門 浮田高志（安井建築設計事務所）
〃 長谷川保善（竹中工務店）
〃 山本貞次（東畑建築事務所）
設備部門 大高一博（日建設計）
〃 山崎慶太（竹中工務店）
施工部門 広瀬清豪（大林組）
〃 高畑顯信（竹中工務店）
その他部門 小杉正博（松村組）
計画部門 山本光良（昭和設計）

（掲載順不同）

青年技術者選衡委員会

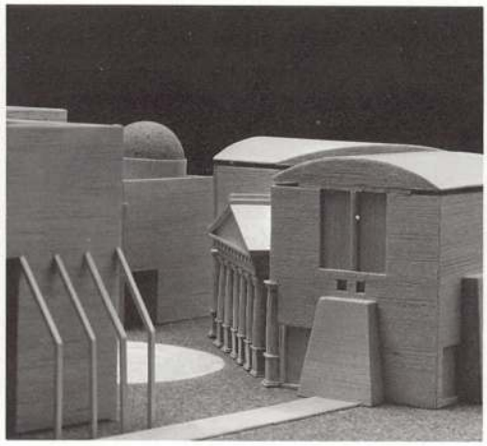
委員長 長谷部朔郎（日建設計大阪総務部長）
委員 辻野純徳（浦辺設計取締役）
上田信也（日建設計大阪第二事務所設計部長）
大海一雄（神戸市住宅供給公社調査役）
佐々木広年（環境開発研究所代表取締役）
井上豊（大阪大学教授）
真塚達夫（東畑建築事務所取締役構造部長）
生島薫（安井建築設計事務所設備部長）
南部武（大林組設備部次長）
荒川治徳（清水建設建築技術部長）
尾崎充宏（竹中工務店工務部長）



装冠の建築Ⅰ－田村邸

所 在 地　大阪市港区港地区復興北市岡付近
敷地面積　88.03㎡
建築面積　61.28㎡
延床面積　165.76㎡
構造規模　地上３階　ＲＣ造
竣　　工　昭和60年９月

この建築はかろうじてまだ残っている都市の中の住宅地その角地に、場のエネルギーと生活の力強さを表現すべく計画されたいわば角地を装飾する住宅建築である。住み手は、あくまで都市に住むことをここではあきらめていない。



装冠の建築Ⅱ－Ｎ・Ｉ・Ｂ・Ｃ

所 在 地　奈良市白毫寺町
敷地面積　4409.19㎡
建築面積　1330.03㎡
延床面積　2740.78㎡
構造規模　本館　地下１階、地上３階　ＲＣ造

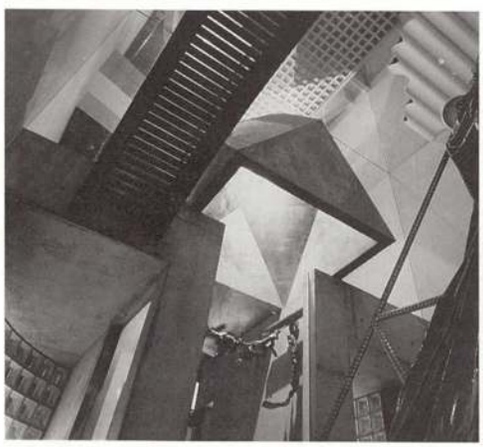
歴史と伝統が抱える人間の魂や汗血の痕跡した都市は、ときには人々の自由な精神や時代への対応を忘れて活性化の新芽をつみ取ってしまうことさえある。ここで計画したＮＩＢＣは歴史的空間のあらゆる要因に分節し、切断し、連結するタランティズモ的空間をもつ装飾建築である。



装冠の建築Ⅳ－café de SAGAN

所 在 地　大阪市東区粉川町
　　南大江パークタワーグランドルーム１Ｆ
建築面積　39.33㎡
構造規模　地上１階　木造間仕切り一部鉄骨柱
竣　　工　昭和62年８月

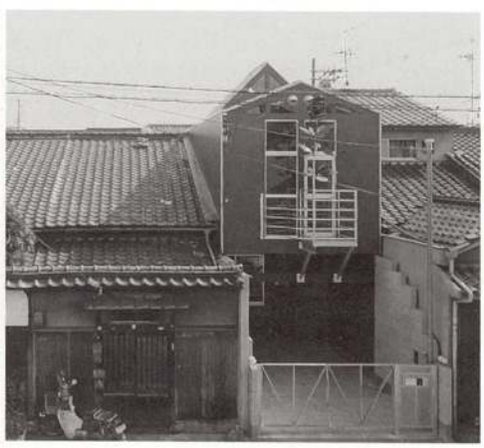
15階建の高層都市型マンションの１階１グリッドスペースに計画されたこの求心性プランは、まさに現代都市の鳥籠的フレームと、画一化された景観の中にある。この小さな室内建築は、そのような現代の都市・建築に欠落した内省的な心情を、象徴的に表象化した都市装飾の建築である。



装冠の建築Ⅴ－TEA&GRILL DOREMI・fa

所 在 地　大阪府池田市石橋
　　石橋駅前アーケード
延床面積　127.65㎡
構造規模　地上２階　木造一部ＲＣ造
竣　　工　昭和62年８月

交錯する文化に埋もれた日常生活において、忘却の中に押し遣られていた歴史的形態は、その実体を視覚化することによってわれわれの自己の記憶に衝撃となって投入されてくる。
この建築は、まさにそうした忘れかけていた現象世界へ繋がる開口を提案している装飾建築である。



装冠の建築Ⅵ－ROSE DECK

所 在 地　大阪市東住吉区西今川
敷地面積　58.09㎡
建築面積　34.03㎡
延床面積　63.43㎡
構造規模　地上２階　木造
竣　　工　昭和62年８月

戦前長屋に割り込んだ、いわば侵入者の建築である。大手ディベロッパーによるマンション用地に、あくまでも抵抗した近所の老人は、今やこの建築の一番の理解者である。都市に住むことへの執着が、ファサードに記念碑的装飾を生みだした。

装冠の建築
Ⅰ－Ⅵ



久保清一

生年月日　昭和28年12月25日
最終学歴　昭和52年大阪芸術大学建築学科卒
　　昭和56年ミラノ工科大学C.S修了
業　　歴　昭和55年イタリアにてフリーの建築活動の後、昭和59年事務所開設。現在、アルキービ建築・造形・計画事務所代表、大阪芸術大学講師、大阪デザイナー学院講師

作品経歴
昭和60年　装冠建築Ⅰ－田村邸
昭和61年　装冠の建築Ⅱ－N.I.B.C計画
　　装冠の建築Ⅲ－日本食産ビル計画
　　郷土の５つのプロジェクト展
　　LAKE諏訪コンペ'86入選
昭和62年　装冠の建築Ⅳ－SAGAN
　　装冠の建築Ⅴ－DOREMI・fa
　　装冠の建築Ⅵ－ROSE-DECK

すいせんのことば　　高橋靖一

久保清一君は大阪芸大を卒業後２年ほどミラノで修業し、帰国後、大阪芸術大学で精力的に学生の指導に当たると同時に、自分でもアトリエを持ち、ものつくりの道にはげんでいます。
すでにいくつかのコンペにも入選しており、私の最も期待する新人の一人として強力に推薦申し上げます。

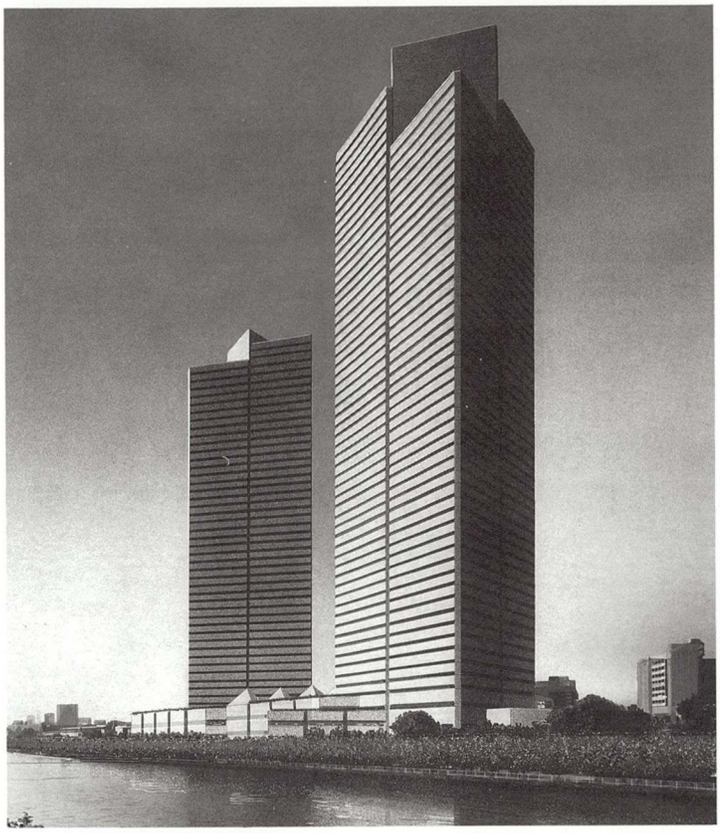
青年技術者のことば　ここに発表する装冠の建築は、建築がもつフォルムに関わるさまざまな構成理論と生成プロセスの中から、とくに装飾行為におけるその立場と意味、存在と影響について確証を試みたいわゆる装飾の建築である。それは、モダニズムの建築がことさら否定しつづけた装飾というものをもう一度見直しながら、建築そのものが純粋に成立し得る条件を再度整理し直す作業にもつながっている。このことは同時に、創作行為としての建築が今後どのようにして現代を生きぬくか、現代社会との整合性の中で創作意欲をもった空間がいかに人々の生活の中に浸透していくかを推察する上で、非常に重要な意味をもっている。現代建築が高度なテクノロジーの追求と情報の集積として時代を牽引しようとしているその裏には、人間不在の状況という横すべり現象があることも見逃せない事実なのである。建築が人の心を離れ一人歩きする現状をわれわれは深く考え直さなければいけない。





近鉄堂島ビル　近鉄堂島ビル公開空地

A計画　西鉄福岡祇園ビル







赤木　隆

生年月日　昭和28年4月25日
最終学歴　昭和47年兵庫県立兵庫工業高等学校建築科卒業
業　歴　昭和47年日建設計入社
現在、大阪第二事務所設計部所属
作品歴　浜田市庁舎
日生学園高等学校
近鉄堂島ビル
クアラルンプール　スレイマンコート計画
日本生命京都三哲ビル
大阪本町西第一生命ビル
西鉄祇園ビル
A計画

すいせんのことば　寺本敏則

どのような複雑な仕事であっても真正面に取り組み、あらゆる角度から検討し、解決の糸口を見つけていく彼の姿勢には尊敬せざるを得ない。自分の目で見、自分の頭で考えるという当然のことが、それぞれの建築として結晶し、構想の正しさとディテールの新しさとがわれわれに訴える。

青年技術者のことば　建物を設計するには、多くの条件、難問があります。また、最近では、高度に専門化された情報化社会の中で、より高度な技術がもとめられています。このような状況の中では、建築家個人の力だけでは複雑な条件の中からより良い解をもとめることは不可能に近くなりつつあります。

このような社会環境の中では、高度に洗練された組織の中で蓄積された技術にささえられながら、よりよい解をもとめることが、よりすばらしい解に近づく手段ではないかと考えます。私はこのようなすばらしい技術におぼれることなく、人間的で、やさしさがあり、ホッとするような空間、気のきいたディテールを持つ建築を創り出すことを目標に、がんばっていきたいと思います。





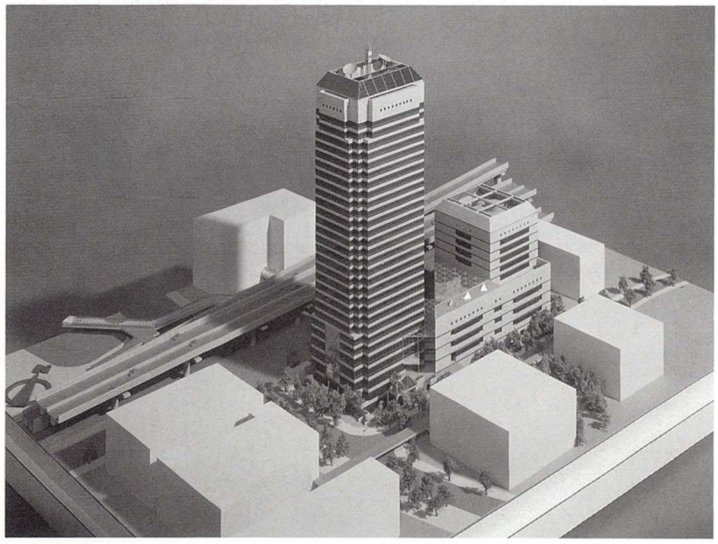


神戸岡本ビル

所　在　地　神戸市東灘区岡本１丁目
敷地面積　441㎡
延床面積　807㎡
構造・規模　ＲＣ造３階建
工　　期　昭和61年7月～昭和62年2月

この建物は、飲食・物販・ファッション等の貸店舗で構成する商業ビルである。貸店舗間のつなぎの空間に注目し、光と緑のあるコートヤード、吹抜等を通して、ビジュアルなコミュニケーションが演出できるように留意した。
外観は、岡本の地域性と若い女性の嗜好を意識して、屋根、尖塔、バルコニー、タイル、花等をエレメントとして立面構成を行った。

Ｏ社神戸ハーバーランド計画



大塚製薬健康保険組合阿蘇保養所





桜井則雄

生年月日　昭和28年２月３日
最終学歴　昭和55年東京芸術大学大学院建築科卒業
業　　歴　昭和55年大林組入社、本店勤務
　　昭和56年大林組本店設計部勤務

作品経歴
昭和57年　原子力発電訓練センター社宅
昭和59年　東洋ホテル内装改修
昭和61年　大塚製薬㈱徳島工場第８研究所
昭和62年　神戸岡本ビル
昭和62年　Ｏ社神戸ハーバーランド計画
昭和62年　大塚製薬健康保険組合阿蘇保養所

すいせんのことば　田中弘成

建築に対して内に秘めたる情熱と人一倍の喜びを抱いて取り組み、質の高い作品をめざして忍耐強く努力している。創作への真摯な姿勢に建築主の信望も厚く、立派な成果をあげている。今後さらに創造力に磨きをかけて、大きく飛躍し、成長することを願っている。

青年技術者としてのことば　建築界の昨今の状況は、インテリジェント、ハイテクノロジー、ハイスピード、コンプレックス等の現象を呈しており、建築に要求される性能・価値観は年々複雑・高度なものになってきている。このような状況下で、「施主ニーズ」、「建築のもつ社会的役割」、「建築の造形美」などを総合して、質の高い建築をつくるのは並大抵のことではありません。
「着想はユニークですか」、「人間に優しい建築ですか」、「素材が生かされてますか」、「ほんとうに美しい形をしてますか」、「どうやってつくるのですか」、「無駄なデザインはしてませんか」、……etc、建築ができるまでに交わされる会話は限りなく多くあります。それら一つひとつが良い建築をつくるための必要な条件だと実感しています。時代の流れを読み、時代に流されず、人や素材と対話する折に「優しさ」をもってのぞむなら、おのずと良い建築が生まれてくると思います。







J.G.Aゴルフミュージアム	御影山手アーバンライフ
T社宅	I邸







桜 井 信 雄

生年月日　昭和27年１月31日
最終学歴　昭和50年京都工芸繊維大学建築工芸学科卒業
業務経歴　昭和50年竹中工務店入社、現在、大阪本店設計部勤務
担当作品　J.G.A（日本ゴルフ協会）ゴルフミュージアム
ジークレフ青木
新生産業武庫之荘ビル（第１回尼崎街かどチャーミング賞受賞）
I邸
T社宅
御影山手アーバンライフ

すいせんのことば　　**木原富男**

入社以来、主に設計活動に従事し、建築に対する情熱と正面から取り組む積極性を持ち、常に創意工夫に努めている。多様化する建築主ニーズに対し、説得性あるコンセプトの創り込みから具体的提案・実施まで、幅広い技能を有し、将来、楽しみな青年技術者である。

青年技術者のことば　洋の東西を問わず、建築は美の追求という点では造形芸術である。美を否定する気は毛頭ないが、用と美を両立させるべきはずの建築はむしろ工芸の美であるべきだと考えてきたし、私が言うまでもなく、先人達もそう思っていたと思う。モダニズムからポストモダニズム、プレモダニズムへと、また巨匠達の時代から組織への流れを否定すべくもなく、認めざるを得ない。しかし、自己主張だけの建築で日本の街が埋め尽くされる日を想うと、建築を通してわが息子や娘に文化的遺産を残す立場にあるわれわれとして考えさせられるものがある。
昔、私が建築を志した頃、「美人の薄化粧」を説いた師があった。この言葉の奥底に秘められた意味は定かではないが、きっとこの風土に培われた普遍なる美意識を語ったものと思う。「普遍なる美」、非常に抽象的な言葉ではあるが、この言葉の向こうにある「青い鳥」を探して、真の建築を目指したい。

太陽神戸銀行神戸本部ビルの構造設計

私が担当した太陽神戸銀行神戸本部ビルの構造計画と、これの実現のために行った解析的検討の主なものを紹介する。

〈構造計画〉

- 大スパンの高層建築に適した架構形式（メガストラクチュア）の計画
- 大スパン床の日常時の床振動に対する振動防止策（タイポスト）の立案および計画

〈解析的検討〉

- 同上、タイポストの効果の解析的検討
- 大スパン床の鉛直地震動に対する検討

メガストラクチュアの計画

大スパン方向架構の耐震計画にあたっては、中小地震時の建物振れをいかに小さくおさえ、また、大地震時の架構の変形能力をいかに確保するかがポイントとなる。このため、建物コア内に連層ブレース骨組を配置し、これと大スパンをはさむ上部2層をトラスばりとすることによりメガストラクチュアを形成した。

タイポストの立案と解析的検討

大スパン床では、日常時における振動障害の防止が重要な課題となる。しかし、設計時に仮定する条件や許容範囲の設定についての資料はいまだ十分とはいえない。ここでは、振動障害に対する設計条件を、過去の経験に照らしてつぎのように設定した。

- 固有振動数（無載荷時）　5 Hz 程度
- 変位振幅（2 人歩行時）　10μ 以下

このため、29 m スパン梁の設計にあたっては、以下のようにした。

① 3.2 m 間隔に配置し、両端を柱に剛接することにより、はり端部の固定度を高めた。

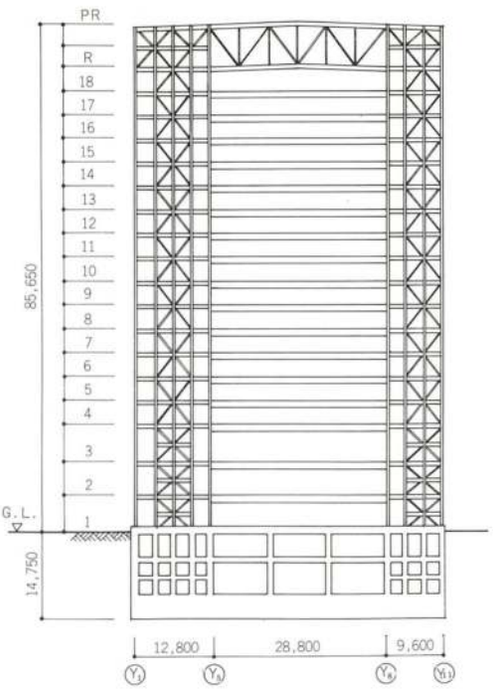
②コンクリートスラブとの合成梁構造とした。

③スパンの三等分点で「タイビーム」と名づけるつなぎばりにより相互に緊結し、局部的な衝撃力を平面的に拡散させた。

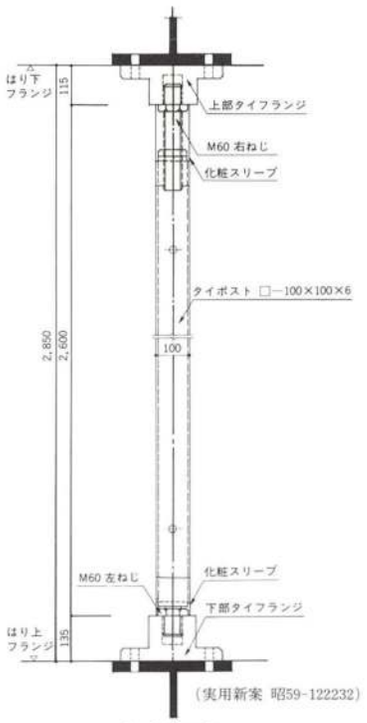
④「タイポスト」と称する着脱自在の連結材を開発し、必要に応じ基準階上下の床を緊結して、衝撃力を上下階へ立面的にも分散させた。

なお、正確な振動性状を把握するために振動実験を実施した。

現在、大ばりの固定度や「タイポスト」の効果など解析結果の妥当性を検証しているところである。



高層棟軸組図

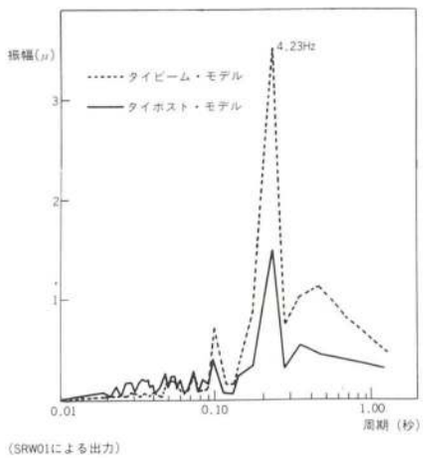


（実用新案 昭59-122232）

タイポスト



太陽神戸銀行神戸本部ビル(工事中)



（SRW01による出力）

スパン中央での鉛直変位フーリエ・スペクトル

将来への展望

(1)高層建物の耐震設計において、地震応答解析手法が日常的に行われるようになってから久しい。しかし、解析に用いる地震波一つをとりあげてみても、「日本の高層建物はEL.CENTROとTAFTの谷間に建っている」といわれるように、これらの地震波がいまだに評定・評価の標準波として使用されているのが実情である。設計者は評定書という免罪符とひきかえに、一種の思考停止に陥っている、といえるかもしれない。

「霞が関ビル」から四半世紀経過した現在、半ばルーチンワーク化してしまった耐震設計手法を、構造実務家の立場で見直すことが今後の重要なテーマであると考えている。

(2)最近、構造界にかぎってみても、高層RC、空気膜構造、免震・制振技術など数多くの技術開発が業界紙上をにぎわせている。

専業の設計事務所がこれらの開発競争すべてに参加する余裕はないが、各方面で開発された技術を調査・比較・検討し、客観的に評価して、建物として実現していく総合力、すなわち「設計力」は、設計事務所こそが最も得意とするところである。今後とも、設計力の充実に努めてゆきたい。



浮田高志

生年月日　昭和27年2月1日

最終学歴　昭和51年神戸大学大学院工学研究科修士課程（建築学専攻）修了

業　歴　昭和51年安井建築設計事務所入社、構造部勤務

作品歴　〈構造設計：主な評定、評価対象作品〉
姫路市新庁舎
広島市本庁舎
太陽神戸銀行神戸本部ビル
神戸商工会議所会館など

発表論文　「大スパン床ばりの振動性状の検討」IBM REVIEW, No.96、昭和60年10月

すいせんのことば　辻　英一

数多くの高層ビルを担当し、そのたびに新しいテーマに挑戦している。

建築を愛し、情報洪水のなかで研究熱心、バランス感覚に優れている。

センスのよさに加え、思考量と情報量の多さが構造設計力を裏付けている。

青年技術者としてのことば　技術が巨大化・複雑化するなかで、設計の分業化はやむをえないとする意見も多い。

しかし巨大化・複雑化しているのは、技術そのものだけであろうか。むしろ、技術をとりまく運用者あるいは運用体制が肥大しているのではないか。最近の建物の設計には、これに係わる「関係者」が多くなり、しかも、だれもが専門分野外には手を出そうとしない「タコツボ型」になる傾向が原因の一つであると考える。

技術・システムともに単純な方がよい。単純化のなかでこそ本質がみえてくる。単純化につとめ、分業化にあえてさからってみたい。この発想の転換に挑戦することが私の今の抱負である。

武庫川学院文学３号館の構造設計

武庫川学院文学３号館は北の六甲山系、南の鳴尾浜に近い兵庫県西宮市のキャンパスに建ち、多様化する機能を満足する学校建物となっている。

本建物の構造計画にあたり、多様化する内部空間の機能に対してフレキシビリティに富み将来対応の可能な快適空間を提供するという方針に基づき、以下の構造設計基本方針を設定している。

1）スパンは従来の教室の概念（９m前後）を超えて長スパンとする。

2）天井は梁型の出ない平滑な面とする。

3）耐震壁はコア一部分に集中配置し、内部空間の自由性を優先させる。

4）上・下教室間の遮音性を配慮する。

5）基礎地業は厚い沖積層を有する当該地盤に対して、適切な選定を行う。

地上階では南・北のコア一部分を除く１階～R階の張間(B)方向の大梁を全面的にプレストレストコンクリート造（以下、PC造）としている。方針１）・２）に対して、建物高さ20.00mの中に５層を配置し、かつ天井高3.00mを確保することから、スパンは桁行(G)方向を3.00mの均等スパンとし、張間(B)方向を12.80mと10.00mの２スパンとする。その結果、外観上の調和と内部空間の広さを確保し、また長スパンに対しPC造を採用することにより所要の梁成を満足し、平滑な天井面を提供している。平面規模23.00m×33.00mの地上階および地下階は、両方向とも対称性を有する南・北のダブルコア一形式の明快な平面構成とし、耐震要素をコア一部分の連層耐震壁とPC大梁を含むラーメン架構に大別することで、方針３）の間仕切壁を可変とすることが可能となっている。また、このことがRC造建物としての軽量化に大きく貢献しており、単位床面積あたりの建物重量は、1.15～1.20t/㎡程度となっている。

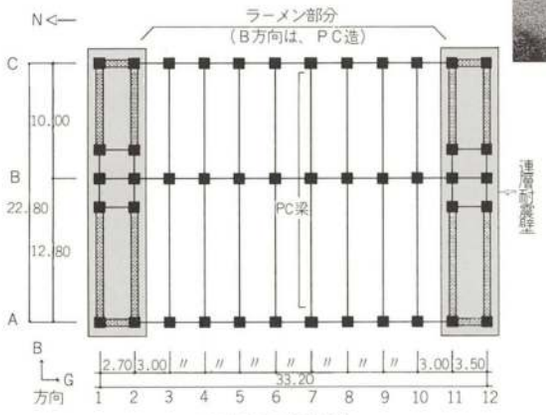
以上の方針１）～３）が本建物の構造上の大きな特徴であり、さらに機能上で上下教室間の衝撃音などに対する遮音性能を満足するために、等級グレードL-55(D-40)を設定し種々の仕様を検討した結果、スラブ厚を135㎜とし、方針4）に対処している。また方針５）の基礎地業の選定に際して、本建物周辺の地盤は武庫川下流の三角州地域であり、地表より現世層・沖積層・洪積層の順に構成される。なかでも沖積層は上部・下部の砂質土層と中間部の粘性土層に大別され、とくに上部砂質土層は層厚10.0m程度を有し、崩壊性の高い地層である。この地盤に対し本建物および周辺建物への影響と経済性を考慮し、基礎地業は約GL－19.00m以深にあるN値50以上の洪積砂礫層を支持層とする大口径PHC杭（700φ、800φ）を採用し、杭先端をGL－22.00mとした。またこの崩壊性の高い上部砂質土層に対し、従来の埋込み杭工法では、掘削孔壁が不安定で崩壊することが多く、高止まりなど耐力、施工精度の面で問題がある。そこで、中掘りにより孔壁の保護と高い施工精度および拡底により大きい耐力の得られる中掘り拡底工法で施工した。地上階で採用したPC大梁の梁断面は、すべてに同一とし幅600㎜、成570mmとしている。大梁のスパンと梁成の比(D/L)は1/22.5と小さいため、部材の強度・剛性・じん性の確保以外にその梁・スラブを含めた床構造としての振動性状の把握を課題として取り上げ、設計段階での振動解析、施工中・施工後の振動実験という手順により性状確認を行った。実験結果より、共振振動数は、14.0Hz・18.4Hz近傍である。このうち14.0Hzでは、各測定点において共振曲線は明確なピークを示し、振動モードについても明確な１次振動形を示す。このことから床版の１次固有振動数は、14.0Hz近傍と考えられる。また床中央部で歩行加振により起こる振動量はMEIST-ERの感覚曲線の〝感じない〟から〝ようやく感じる〟の中位に対応しており、結果を総合判断して床構造に要求される性能を満足していると判断できる。

建物におけるスパンの長大化に伴い、PC構造を採用する建物も多くなっているが、プレストレスの導入力がその振動性状・剛性にどの程度寄与するか定量的に調査・研究されたものが少なく、今後の研究に待つところが多いと感じている。今後はさらに一連の設計行為の中で自己研鑽に努め、幅広いストラクチュラルデザイナーとして飛躍していくとともに、仕事を通じて社会に貢献していきたいと思っている。

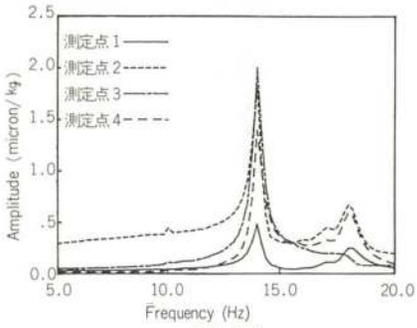
建築概要

所在地	西宮市池開町６番46号	
規模	地下２階、地上５階、塔屋１階	
主要用途	学校（教室）	
面積	建築面積	731.15㎡
	延床面積	4,590.88㎡
高さ	軒高	GL+19.30m
	建物高さ	GL+20.00m
構造種別	鉄筋コンクリート(RC)造	
	プレストレストコンクリート(PC)造	
地業	PHC杭（中掘り拡底工法）	
工期	昭和61年８月～昭和62年８月	

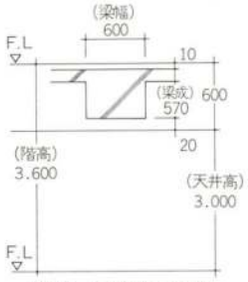




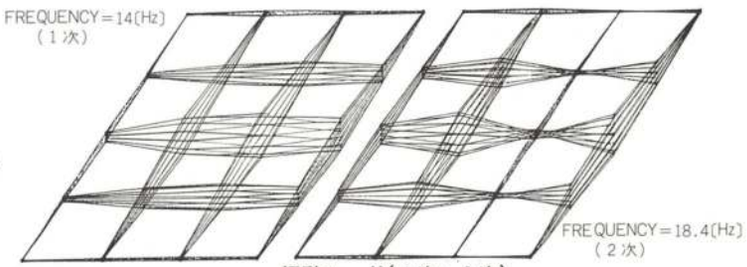
構造計画概念図



共振曲線



階高・梁断面の関係



振動モード（１次・２次）



長谷川保善

生年月日　昭和30年10月９日

最終学歴　昭和49年京都市立伏見工業高等学校建築科卒業

業歴　昭和49年竹中工務店大阪本店入社
昭和50年大阪本店設計部構造課
昭和51年神戸支店作業所・技術課
昭和55年大阪本店設計部構造課

作品経歴（構造）
- 武庫川学院丹頭学苑（赤松研修センター）
- 〃　貞和寮（東鳴尾寮）
- 〃　第２体育館
- 〃　西館
- 〃　文学３号館
- 〃　第１学舎アネックス
- ギャマビル（北野坂ビル）
- 金光教泉尾教会信修館
- パールビル

すいせんのことば　森本　将

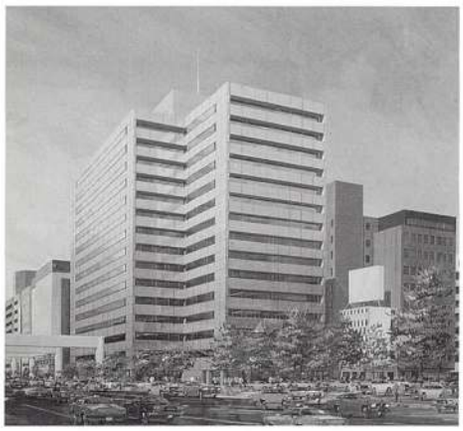
彼の構造設計姿勢は、基本計画段階をとくに重要視し、デザイン・設備との連携の上に立って機能性・経済性を徹底的に追求している。

設計組織の中で、彼が優れた協調性と統合力を発揮した数々の作品に、その成果が見られる。さらに新構法開発に意欲を燃やしている。

青年技術者のことば　建築の構造設計に携わり、まだ若輩の身であるが、日頃から心掛けていることがある。戦後から現在までの日本には、高度経済成長があり、また建築技術者達による新材料の開発、解析技術・施工技術などの目覚ましい技術力の発展があった。私は、それらの成果の上に安易に乗って、設計の意図するところを錯覚し、こだわりなしに実現するような安逸を退け、常に良い意味のこだわりを持って設計意図を建築に表現していきたいと考えている。

木彫家の高村光雲が「ノミは切れすぎてはいけない」と語ったことがあると言う。抵抗感のない仕事を退けた意味と私は私なりに解釈している。建築設計という仕事は自らを自立させていなければならないものだと思っている。一つの世界を持っていなければならぬものだとも思う。そのために求めて不便を、抵抗感を自らの中に不断に吹き上げていなければならないと思っている。そして、一つでも多くの評価に値する建築を産み出すよう精進していきたいと思う。

御堂筋グランドビルの構造設計



所 在 地　大阪市南区難波２丁目20番
建 築 主　近鉄不動産、近畿相互銀行、大一商店
主要用途　事務所
施　　工　鴻池組、大林組、大日本土木
建築面積　1,898.67㎡
延床面積　26,222.44㎡
規　　模　地上15階　地下１階　塔屋２階
高　　さ　軒高　　ＧＬ＋58,400
　　最高高さ　ＧＬ＋59,700
構造種別　地上／鉄骨鉄筋コンクリート造（3階以上はり鉄骨造）
　　地下／鉄骨鉄筋コンクリート造
　　塔屋／鉄骨造
　　べた基礎形式地耐力基礎
　　地盤改良（セメント系固化材混合）

御堂筋グランドビルは、大阪難波の御堂筋と千日前通りの交叉点北西角の敷地に、大阪ミナミの中心というめぐまれた立地を生かして、インテリジェント化された事務室を提供するためのビルとして計画された。

地上階において、南東および北西隅を欠き、⊐形状の平面をもつ本建物は、地下鉄難波駅接続部分のサンクンガーデンとあわせて、特徴ある、より親しみやすい建物として、完成する日が待たれている。

このビルの構造設計にあたり、６ｍ×12ｍを基本モデュールとした変形センターコアの建築計画との整合性を重視しながら、設備計画上の要求条件と合理的な構造形式を検討・調整し、明解で健全な構造計画を採用することにより、機能的で経済的な設計を実現できたと考えている。

以下、構造設計上とくに留意した点について述べる。

建物重量の軽減と剛性確保

建物の構造は鉄骨鉄筋コンクリート造を主体とし、３階以上の床は耐火被覆した鉄骨ばりのうえにデッキプレート床として、建物重量を軽減するよう計画した。鉄骨ばりと床版はスタッドジベルで緊結し、床版内の水平剛性を確保するとともに、完全合成ばりとして鉄骨ばりの剛性増大をはかり、床の振動障害が生じないように配慮した。

建物の水平剛性は、１次設計用地震力に対して最大層間変位角1／243、暴風時水平力に対して最大層間変位角1／970と十分な剛性を有している。

明解な構造方式と部材靱性の確保

２階以上の事務室階は、桁行・梁間両方向とも柱・はりよりなるラーメン構造とし、平面計画と対応する構造計画とした。１階は耐力壁を有する骨組構造として、高い階高を必要とする銀行店舗に対応する剛性と耐力をもたせるよう計画した。地下階は、上部構造の振動解析の仮定である１階床固定を満足させるため、１階床版厚を剛強にしたうえで地下外壁を耐震壁とし、地階部分を地上に比べて十分剛強にするとともに、その架構を鉄骨鉄筋コンクリート造とすることによって靱性のある構造にした。

架構の崩壊機構は、はり端部降伏の全体崩壊形をめざし、節点に集まるはりの曲げ耐力和に対して、メカニズム時軸方向力が作用したときの柱の曲げ耐力が余裕をもって上まわるようにして、はり端部降伏を確実なものとした。

基準階の平面構成が変形センターコアの異形平面であることに対して、平面的および立面的な剛性のバランスに配慮した結果、剛性率が最小値で0.76、偏心率が平面の変わる階で最大0.09、中間階で0.03程度とすることができた。

柱・はりは、それ自体十分な変形性能を有するものとし、接合部の耐力や鉄骨ばりの横座屈補剛なども、部材の変形能力にみあうように設計した。

- 鉄骨造大ばり端部の塑性ヒンジの発生が予想される領域では、幅厚比を制限して部材靱性を確保した。
- 柱・はり仕口部、はり—はり継手部の強度は、部材の両端が塑性状態に至るまで破断しないよう、所要の安全率を保持するようにした。
- 鉄骨ばりの横補剛については、はり端部を密に補剛する方針で座屈止めを設けた。
- 鉄骨鉄筋コンクリート柱は、地震時軸力の断面耐力に対する比を制限することにより靱性を確保した。すなわち、１次設計時柱軸力の最大値に対して、断面の長期相当軸方向許容耐力が上まわるようにコンクリートおよび鉄骨断面を決定し、さらにメカニズム時、柱軸力の断面最大圧縮耐力に対する比が0.35以下になるよう断面に余力をもたせた。なお隅柱には、とくに大きな部材靱性の期待できる、被覆充填型鋼管コンクリートを採用し、地震時軸力は直交方向軸力の30％を加算して算定するなど、建物の地震時の立体的な挙動を意識した設計となっている。

柱—はりの接合部パネルは、接続する大ばりの終局耐力に対して十分な耐力を有するように、パネル部の鋼板厚を決定した。

Ｓ造大ばりからＳＲＣ造柱への応力伝達を明解にするため、柱鉄骨の許容曲げモーメントが設計曲げモーメントを上まわるように設計した。

地盤改良工法の採用

敷地内で行われたボーリング結果によれば、GL—18ｍ付近まで中くらい～しまった砂または砂礫となっており、地下１階（基礎底GL—8.35～—9.60ｍ）の基礎構造を鉄筋コンクリート造べた基礎とすれば、全体の支持力は十分余裕がある。ただしGL—８ｍ付近に厚さ2.1～2.85ｍのシルト分を含むところが存在し、建物の支持地盤としては不適当と考えられるので、地盤改良を行うことにした。

地盤改良は、シルト質砂層を排除した後、上部掘削時に仮置きした良質土（礫混り粗砂）にセメント系固化材を混合撹拌し、置換・転圧する工法とした。

固化材の混入量は配合試験により決定し、コアサンプルによる圧縮強度試験（平均値とばらつきによる管理）と平板載荷試験による支持耐力の確認を予定している。

*

これからの工事監理に際して、

(1)掘削工事に伴う周辺地域への影響防止
とくに地下鉄・阪神高速道路橋脚の安全確保。

(2)設計上の要求水準の確保
とくに地盤改良の改良強度確保のための統計的品質管理と、鉄骨の現場溶接管理。

(3)施工性と信頼性の両立
鉄骨造と鉄筋コンクリート造の合理的な融合をめざして、コンクリート打設性や鉄骨のディテールに配慮した設計であるが、その施工性と信頼性の確認。

以上３点を重点に、本建物完成まで携わっていくつもりである。



山 本 貞 次
生年月日　昭和28年１月１日
最終学歴　昭和48年国立明石工業高等専門学校建築学科卒業
業　　歴　昭和48年東畑建築事務所入社、構造部所属

主な業務経歴
中山製鋼所転炉棟
新日本製鉄大分製鉄所熱延コイル工場
新日本製鉄八幡製鉄所シームレスパイプ工場
大阪駅前市街地改造事業第４棟
日商岩井光善寺寮
大阪府柔道整復師会館
浜坂町庁舎
大阪青山短期大学西棟
淀川リバーサイド第４分譲住宅
御堂筋グランドビル

すいせんのことば　**鈴木洋也**

「好きやねん建築」が、山本君の日頃の構造設計に取り組む態度ににじみ出ています。分業化された構造技術を、建物の頭から尻尾の現場監理まで、しっかり積み上げてゆく構造家です。彼の才能が多面体の各面から光を放つようにいろいろの建物の空間に輝くことを期待しています。

青年技術者のことば　建築設計の世界でも分業化・専門分野化が言われています。建物に対する性能条件が明確に示されるケースが生じてきたなどということが一方にあり、他方、その条件に応えうる技術が各分野で急速に発展しさらにその成果を評価する手段も整ってきていることなどが、その背景にあるものと思われます。
しかしながら、一見矛盾する各分野ごとの最適解が、建築計画によってうまく共存・成立するといったことは、日頃の設計業務の中でも経験するところです。このように分業化した専門技術をとりまとめ、調和ある解に至らせることこそが建築の技術であるという特質は今後とも不変であり、ますます重要になってくるものと思います。
構造設計においても、最新技術の導入や最適技術のよりいっそうの展開が必要なことはもちろん、それらの構築に際して、各分野との協調により総合技術力の向上に寄与してゆくことが望ましいと考えています。

大阪城ホールの空気調和設備

大阪城ホールは最大15500人の観客を収容し、室内スポーツ競技からクラシックコンサートまできわめて多彩な催しに使用されるアリーナ形式の大空間建築である。計画上最大のテーマは、省エネルギーを前提にホール利用の多目的性とコンサートホールとしての環境の質を満足することだった。

大空間の半地下構造化

大空間の空調計画を行う場合、空間を構成する屋根や外壁からの外乱の影響を建築的にどの程度緩和するかが屋内環境性能の決め手となることが多い。本ホールでは、空間全体を半地下化することによってその解決を計った。地下1階の地盤面に接するアリーナは、地中温度の影響で夏は冷却面、冬は加熱面としてホールの自然温度を安定化するパッシブな働きをし、外壁を覆う人工地盤は、それ自体で高い断熱性と気密性をもたらす。この結果、ホールの夏季、晴天時の自然室温の日較差はわずかに1.9℃程度、また冬季未使用状態での日平均室温降下もわずかに0.4℃という安定なホール内の自然環境が実現した。

天井・床併用の空調吹出方式

大阪城ホールの冷暖房方式の特徴の一つは、冷房と暖房とで吹出口の位置を変化させ、ホール内に異なった気流循環を起こすシステムを採用したことである。その目的は、小風量で効率的な大空間空調を成立させることであり、前提条件としてドラフトのない居住域冷房や、暖房時の上下温度差解消、予冷予熱時間の短縮、などを満足する必要があることは言うまでもない。

ホールはセミクラシックコンサート開催のため*NC*-30以下の空調環境を必要とし、小風量化は建築スペース、省エネルギーのほか、空調消音計画に大きなメリットをもたらした。空調風量22.6m³/h・人（15500人収容時）は、調査した国内外の空調可能な多目的ホールの中で最小である。**(図2)**

ループダクト空調システム

ループダクトと定風量装置によって構成される部分空調システムは、大阪城ホールの空調計画のもう一つの特徴である。10000m²の平面、15万m³の容積のホール用途はきわめて多目的で、イベントによって舞台装置だけでなく客席配置まで自在に変化する。こうした空間利用の多様性、局所性に対して必要最小の空調空気を利用部分に限定して供給することが本システムの目的である。このため、**図1**に示す3本のループダクト、ホール内64のゾーニングに対応する定風量装置、さらに送気流路の切り替えや定風量装置の開閉を一括制御するマイクロコンピュータなどの諸設備を装備した。

模型実験による性能確認

ホール空調方式の性能確認を目的として、冷暖房時および予熱時のホール内温度分布・風速分布を調査するため、アルキメデス数の一致を考慮した1／50縮尺相似模型による空調実験を実施した。実験の詳細計画、実施は東京大学生産技術研究所村上研究室で行った。

おわりに　竣工後、4年を経過した。当初は大規模なイベントがあるたびに空調運転が心配で、中央監視盤室に詰め運転状況を見守るなどしたが、その後ホールの施設管理の方々の並々ならぬ努力に支えられ、大過なく今日に至っている。

大空間空調のニーズは増大していくことが予想されるが、設計方法は依然確立しておらず、設計者が暗中模索しているのが現状のように思う。本ホールのような大空間建築の計画に空調技術者とし参画できたことを感謝するとともに、これを機会に大空間空調についてさまざまな面からの調査、検討を続けていきたい。

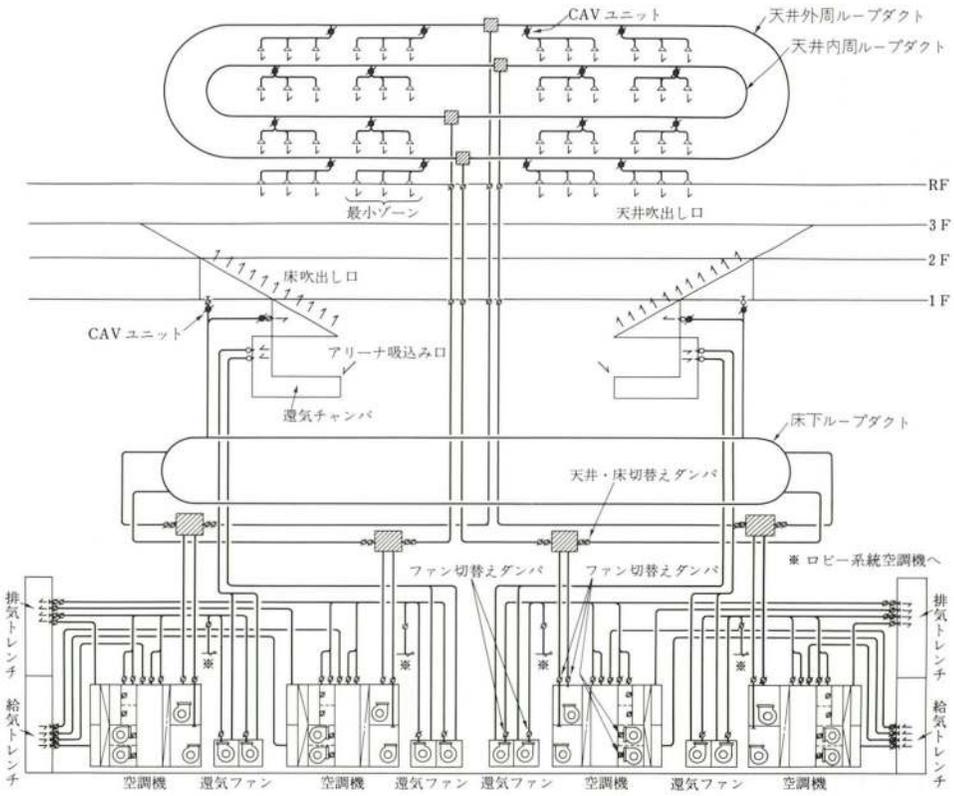


図1　空調ダクト系統図

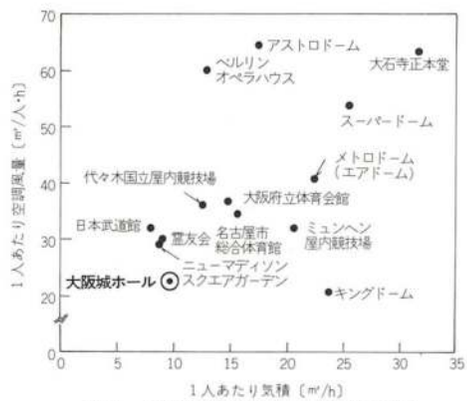


図2　各種大空間ホールの空調風量



ホールオープニングセルモニー



大高一博

生年月日　昭和28年8月18日

最終学歴　早稲田大学大学院理工学研究科専攻・建築環境工学専修（木村研究室）、昭和53年卒業

業　歴　昭和53年日建設計に入社、大阪本社設備部に所属し、空調・衛生設備の設計に従事

主な設計業務経歴
- 神戸国際交流会館・国際会議場
- 神戸市民広場、地下駐車場、回廊、ギャラリー
- Portopia'81博覧会会場、全体敷地給排水計画
- Portopia'81パビリオン（住友館他）
- 田崎真珠ビル
- 大月真珠ビル
- 貝塚市立総合体育館
- 佐賀県総合体育館
- 大阪府立体育会館
- 泉屋博古館

すいせんのことば　**迫村隆毅**

大高君は、入社以来、豊富な経験をつみ、斬新なアイデアと先端の解析技術を駆使し、大阪城ホールにおいて、快適な省エネルギー巨大イベント空間を完成した。建築と設備の一体化を目指す彼の姿勢こそ、今後の空調計画を担う青年技術者に相応しいと思う。

青年技術者のことば　大阪城ホールが竣工して2年目の春、中国の機械設備技術者の視察団が見学に訪れ、設備技術に関する意見交換を行う機会をもった。中国には大阪城ホールを越える規模の大空間が数多くあるが、それらの空調設計の経験をもつ彼らの興味は、意外にも空調システムよりむしろ建築と設備の接点技術に集中した。シェルターとしての建築の熱環境設計、建築空間と設備収容空間の構成、設備機能と意匠との調和など、中国では建築技術者のワークスコープであるこうした分野への機械技術者の係わり方が、彼らにとって今後の大きなテーマであったためである。

私は、優れた設備システムとは、建築と共存し融合することによってはじめて互いの機能が補強され、より高い価値を生みだすものと考えている。今後も建築設備技術者として、環境工学の分野から、より健全な建築と設備の調和を目指し、建築の設計に強く係わっていきたいと考える。

クリーンルームの防災設備―松下電器産業㈱半導体研究センター

半導体製造技術はここ数年日進月歩をたどり、現在はサブミクロンを要求される時代を迎えている。この技術を確保するための空間品質には、かつてないレベルを要求されている。このレベルを満足するためには設計、施工、建築と設備、また実験装置メーカー等ユーザーを含めた総合的なシステムエンジニアリングとしてのまとめ役が必要である。

設計・施工の一員として私は、クリーンルームユニット・トンネルユニットの開発、半導体実験機器へのユーティリティ接続工事の施工、クリーンルームの防災設備システムの開発、清浄度無人測定ロボットの開発、「クリーンルームに製造装置が設置された場合の清浄度に及ぼす影響に関する研究」「クリーンルームにおける吹出風速を低下させた場合の清浄度維持に関する研究」に携わった。とくに新規性ガスや薬液に対する防災設備システムは、建築主や空間内で従事する作業員を含めた、非常時の動的対応を含めたシステムの構築が必須である。

半導体クリーンルームの防災設備の目的は、クリーンルーム内で使用される多種の有毒ガスや、大量に使用される水・薬品の漏れからクリーンルーム内の作業者の健康と、クリーンルームの機能を守ることである。有毒ガスは、半導体の材料として使用され、水・薬品はそのほとんどがウェハーの洗浄に使用される。

有毒ガス対策

排気系統の分類処理　排気系統は、その排出されるガスの内容、量に応じて4系統に分類した。

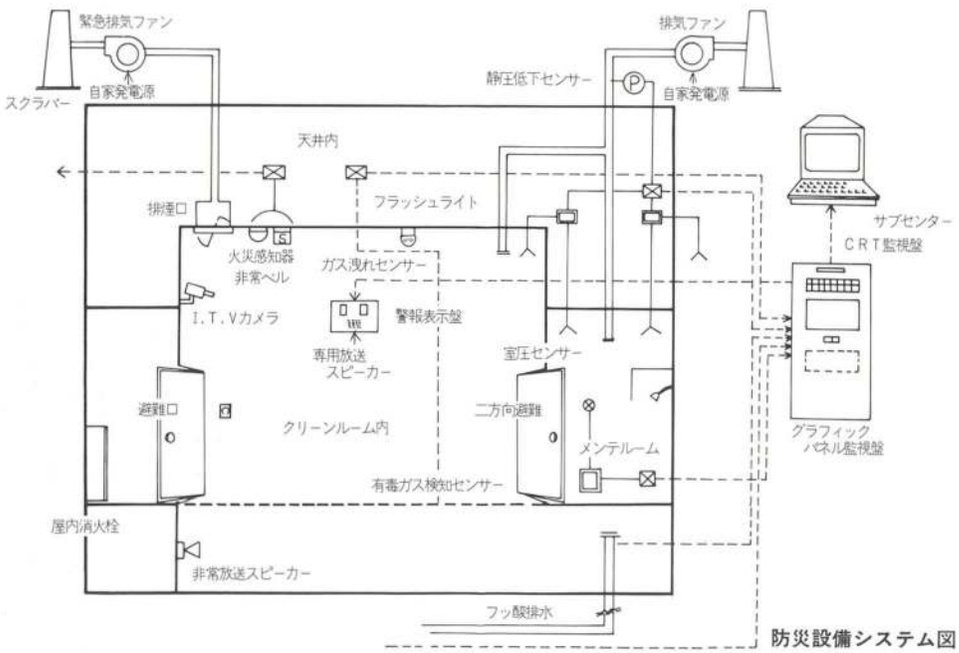
(1)　各プロセスから排出される有毒・可燃性のガスは、専用スクラバーで処理され、安全なガスになった後も、万一の爆発対策として個々の専用ダクトでその上階のバルコニー下へ排出される。―単独排気―

(2)　とくに可燃性の高いH_2を含んだ排気ガスは、エアーと混合すると爆発する危険性が高いので、専用排気として外部へ排出する。―専用排気―

(3)　ボンベボックスなど、万一漏れると危険なガス容器が納められた機器を負圧にするための排気を有毒排気とし、ガス漏れを検知した場合のみスクラバーで処理し、外部へ排出される。―有毒排気―

(4)　他の実験機器からの排気をケミカル排気とし、直接外部へ排出されるが、高温の排気はダクト経路を延長してメインダクトで他のガスと混合するまでに冷却する。―ケミカル排気―

ダクトの接続方法、ダクトの材質、あるいはダクトにするか配管にするかの決定は、排気系統、排気ガスの濃度・温度、排気されるガスが可燃性・腐食性であるかによって慎重に行った。



防災設備システム図

排気圧の監視　有毒ガス、薬品を使用するクリーンルームでの排気系統の故障は、微少の有毒ガス漏れ、薬品からも作業者を守れず、非常に危険である。そこで、排気ダクトに静圧低下センサーを取り付け、排気圧の低下を監視することにした。排気圧が低下したダクト系については、別系統ファンによるバックアップ運転を行うようなシステムとした。

ガス漏れ監視　有毒ガス検知センサー、水素ガス漏れセンサーを、ガスが使用される実験機器付近または実験機器内に設置した。水素ガス漏れセンサーは空気より比重が軽いので、対流式クリーンルームでは天井面に取り付けたが、垂直層流クリーンルームでは高い速度の気流が天井から床下へ流れるので、気流の下流側である床下に取り付けることにした。他の有毒ガス検知センサーのサンプリングノズルもガスの比重、実験機器付近の気流方式によって取り付け位置を決定した。また安全に避難するために、室内の作業者は、有毒ガス漏れ地点を天井面に取り付けたフラッシュライトの点滅で確認することができるようにした。

監視・警報システム

有毒ガス漏れ警報、排気圧異常、漏水警報などを、他の室圧異常とともに、各階の非常警報フロア盤のグラフィックパネルに表示することによって、クリーンルーム外の作業者が警報の位置、種類を確認することができる。クリーンルーム内の作業者は、その階が警報の発生階であれば、各ゾーンの警報表示盤と専用スピーカーにより警報を認識する。またすべての警報は、R/S盤、CPUからサブセンターCRT監視盤に表示、記録される。サブセンターの安全責任者は、CRT監視盤で警報を知らされると、各階のITVモニターにより、警報の出ているクリーンルームの様子を確認することができ、フロア放送により、クリーンルーム内作業者の避難の誘導を行う。また、クリーンルーム内作業者が先に危険を発見し、各室に設置された非常押ボタンを押した場合も、他の警報と同様の監視システムが作動する。

おわりに　クリーンルームの技術といえば、最近まで半導体の歩留まり向上のための空気清浄技術を中心とした空調設備が注目されていたが、今後はクリーンルーム内の作業者の安全を守るための防災設備も重要視すべきである。また、空調設備と防災設備は大きな関連をもつので、空調設備、防災設備にこだわらず、すべての設備を包含するアッセンブリー技術が今後のクリーンルームを計画するためには重要となる。



山崎慶太

生年月日　昭和32年4月24日
最終学歴　昭和57年3月早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了
業　歴　昭和57年4月竹中工務店入社、作業所に配属後、設備部に所属
主な業績　北大阪急行車両課事務所
南海不動産堺東ビル改造
松下電器産業半導体研究センター
吉本ビル(ヒルトンホテル)の施工管理
他に空気清浄協会第5回（昭和61年）研究大会、第6回(昭和62年)研究大会で、クリーンルーム関係の小論文を発表

すいせんのことば　池山壮一郎

非常に難度の高い標記工事において、無人測定ロボットの開発やクリンルームの防災設備の設計、施工管理に各種の創意工夫を行い、大きな成果を上げた。また、学会発表を通じて自分の成果を世に問い、幅広い活動をしているので、ここに推薦したい。

青年技術者のことば　昨今の産業のハイテク化には、目ざましいものがある。われわれ建設業も、現場や設計で、半導体などの先端産業の仕事に携わると、全く新しい技術に接する機会が多い。これからの建設技術者は、この技術革新の激しい先端産業に関わる、建築と設備、あるいは複雑なユーティリティ設備をまとめるだけでなく、今までの建設業の領域を越えた分野、たとえば建屋の中のプラント設備や装置までを含んだ総合的な立場から、客先である建屋のユーザーに対して、技術的なコンサルタントの役割を果たせるように努力しなければならない。
先端産業の未知の領域の技術をどん欲に探究する好奇心を持ち続けるとともに、それに接することから得た技術や考え方を、自らの建設業にフィードバックし、これからの建設業のあるべき姿を、考えていきたい。

大阪府立体育会館大屋根横引工事の計測管理

大屋根は短辺方向58.35ｍ、長辺方向76.8ｍのスパンであり、その鉄骨重量は約2000ｔである。架構はキールトラス構造と呼ばれる形式で、妻面トラスで２本の巨大な背骨（キールトラス）を支えており、キールトラスにサブトラスが寄りかかった形になっている。（**図１**）

横引き工法の採用

鉄骨建方に対して種々の工法が考えられたが、つぎのような理由から、横引き工法が採用された。

①敷地条件として、北側しか進入道路がなく、また建物外部からの作業ができない。

②大屋根が架かるアリーナが２階にあるため、通常の鉄骨建方工法では２階の床をダメにしなければならず、工期が間に合わない。

③鉄骨の重量が大きく、建物内部からの鉄骨建方が揚重機の調達、１階の床補強等から難しい。

横引き構台　キールトラス構造であるため、工事中は中央のキールを仮設構台で支えておく必要がある。そこで屋根の形状、観客席の段差などを考えて、横引き構台を上下２つに分割し、上部の移動構台は屋根鉄骨を支えながら下部の固定構台上を横移動していくように計画された。

また横引き完了後に構台の解体を安全に行うために、上部移動構台と屋根の間にはジャッキが組み込まれた。

横引きの手順　大屋根鉄骨12スパンを２スパンずつ６分割し、第１ブロックの２スパン分の鉄骨を組み立てた後、２スパン分移動させる。続いて第２ブロックの鉄骨を組み立て、接合し、第２回横引きでは第１・第２ブロックの鉄骨をさらに２スパン分移動させる。この作業を５回繰り返し、合計５ブロック分64ｍ横引きする（**図２**）。最後の６ブロック目は所定の位置で組み立て、接合し、大屋根鉄骨の組み立ては完了する。

横引きシステム　150t油圧ジャッキ４台を用いてステンレスプレートのレール上を15cm／分のスピードで引っ張る。滑り支承部には厚さ30mmの高密度ポリエチレンが使用された。このすべり支承部の摩擦抵抗は、静止摩擦係数で約0.1、動摩擦係数で約0.05である。

横引きの計測・制御システム　横引き工事の重要なポイントは、均等な力でまっすぐに引っ張ることである。そのためにジャッキで引っ張られる４箇所の移動量と各ジャッキから出る２本のロッドの張力は自動計測され、管理値を越えた場合は自動的に停止するようにパソコンで制御された。また構台の各所の応力も自動計測され、自動制御に組み込まれた。

横引き中にはレールが真っ直ぐに保たれていることが不可欠である。しかし2000ｔという荷重がその上を移動するために、レールとそれを支えるの構台にはわずかであるが変形が生じる。そこで定期的に横引きを停止し、レールの水平変位・鉛直変位をレベル・トランシットなどを使って計測した。

また移動・停止を繰り返すたびに横引方向に加速度を生じる。この値が許容値を越えれば危険なため、加速度の計測も行ったが、最大で0.003Gと非常に小さい値であることが確認できた。

なお横引きに要した日数は各段階で１日、計５日であり、予定通り順調に進行できた。

ジャッキダウン工事　移動構台の頭部に油圧ジャッキ（120t×28台、200t×４台、400t×４台）を組み込んでおき、鉄骨組み立て完了後、ジャッキの油圧を抜くことにより屋根荷重の解除を行う。

まず、わずかに全体をジャッキアップし、ロックナットをゆるめる。つぎにキール部分を支える４台の大型ジャッキを残し、他の32台のジャッキを除荷・解放する。その後４台のジャッキを徐々に解除し、屋根と構台を切り離す。最後にアンカーボルトを定着し、鉄骨工事が完了する。

ジャッキダウン作業中は、屋根の沈下量、妻面トラスの倒れ、サブトラス脚部の水平移動量およびジャッキ荷重と構台の応力度などを順次計測し、安全に正しい位置に変形がセットされてゆくことを確認した。

*

2000ｔにも及ぶ大屋根の横引きとジャッキダウンの計測管理にあたり、首尾よく工事を遂行できたことは大きな喜びである。

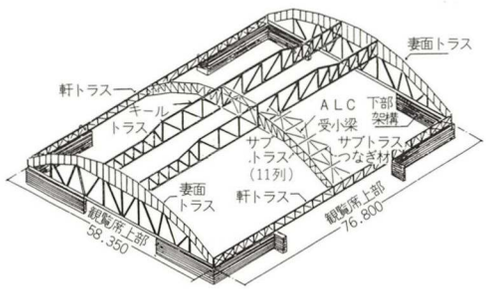
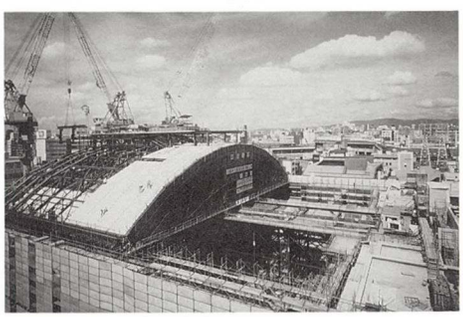


図１



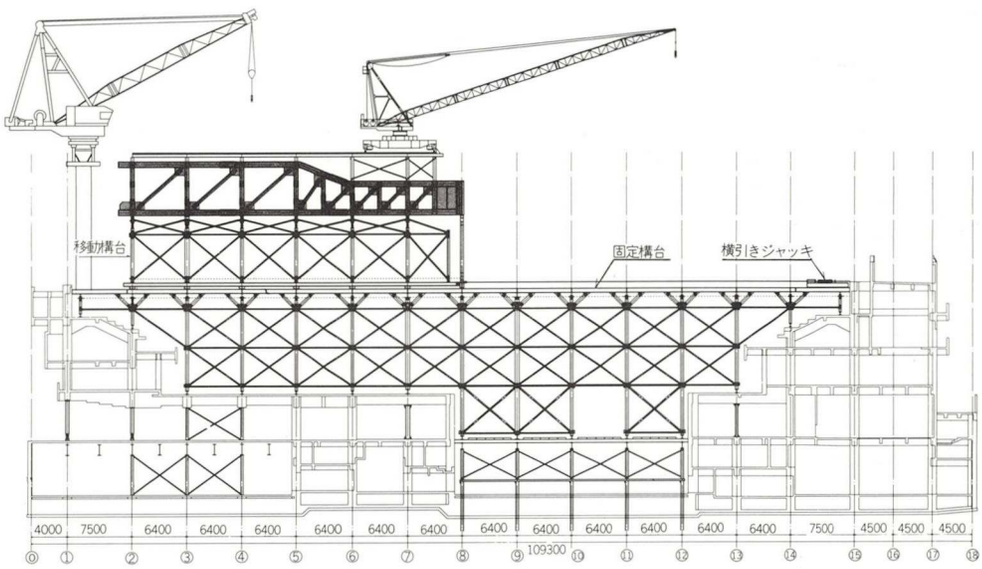
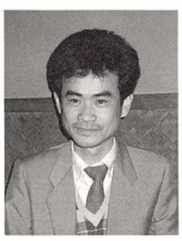


図２



広瀬清豪

生年月日　昭和26年９月４日
最終学歴　大阪大学大学院工学研究科修士課程修了
業　　歴　昭和52年４月大林組入社
住宅公団リバーサイドもりぐち
カネボウＮＳＣ滋賀工場
近鉄堂島ビル
任天堂宇治工場
三和銀行芦屋支店解体
神戸ポートアイランド高層集合住宅
以上の現場勤務の後、昭和59年３月工務課に配属

すいせんのことば　　金田　宏

大阪府立体育会館の最大の難工事であった鉄骨大屋根の横引き工法の計画を担当させた。

鉄骨構造を得意とする彼は、現場での豊富な経験を生かし、緻密な考え方で課題の解決に取り組み、無事に工事を完成させることができた。

彼の技術力を高く評価し、優秀な青年技術者として推せんします。

青年技術者としてのことば　先日読んだ本にこう書かれていました。「巨大なシステムの安全性を確保するためには、設計や運用に関して細部にまでじゅうぶんに気配りをすることが大事である。それには、注目している部分が故障または破壊したとき、それが全システムを危険に導くかどうかを調べ、もしそうであれば全体破壊につながらないように対策を講じておくことである。」（近藤次郎『巨大システムの安全性』より）

千里の堤を蟻の一穴から崩壊させることのないよう、計画し施工するのがエンジニアの仕事であると思います。

高層RC造集合住宅に用いられる高強度コンクリートの品質管理

集合住宅を中心としたＲＣ造建物の高層化に伴い、その主要構造材料であるコンクリートの設計基準強度は増大傾向が著しい。このような高強度のコンクリートでは、圧縮強度のみならず高い品質水準および施工水準が要求されるが、高強度コンクリートは一般に低水セメント比の調合になるため単位セメント量が増大し、低スランプで粘性の高いコンクリートになり、その品質管理は容易ではない。さらに、関西地区においては、その骨材事情から一定スランプを得るための単位水量が多くなるので、なお一層施工性の低下、セメントの水和発熱によるひびわれなどのコンクリートの品質について十分な検討が必要となる。

このような現状の中で、関西地区では初めて建築学会の設計基準強度の適用範囲を上回る Fc ＝420kgf/㎠ の普通コンクリートが、高層ＲＣ造集合住宅に採用された。そこでコンクリートの品質管理に関して**表－１**のような実験と検討を実施し、その品質管理手法を実施工に活用した。

室内実験

試し練り実験の結果、通常のＡＥ減水剤のみを用いた場合では、スランプ12㎝を確保するために単位水量が200kg/m³前後、単位セメント量も 600 kg/m³ 前後と多大となることが明らかとなった。

表－１　実験の位置づけ

	No.	実験の内容	
室内実験	Ⅰ	生コン工場の選定	
	Ⅱ	強度に関する試し練り	水セメント比と圧縮強度
	Ⅲ		高性能減水剤を用いたコンクリート
	Ⅳ		生コン工場のコンクリートの品質
	Ⅴ	高強度コンクリートの諸性質に関する実験	
屋外実験	Ⅵ	実大試験体による施工実験	
	Ⅶ	実施調合の検討	

表－２　コンクリートの実施調合　＊ SPは流動化

No.		1	2
スランプ(cm)	荷卸し	12	
	SP後*	18	
空気量(%)		3.5	
水セメント比(%)		37	
S/A(%)		39.0	
単位重量 (kg/m³)	水	185	
	セメント	500	
	砂	630	
	砕石	1001	
化学混和剤	ベース	Poz.No.70 NL.1450	M－2000
	SP後*	NP－20	M－FD700

そこで、高性能減水剤や流動化剤を用いたコンクリートのワーカビリチーや圧縮強度の評価を行い、高強度コンクリートの耐久性や諸性質に関する実験と検討を経て、これらⅠ～Ⅴの室内実験の結果をもとに高強度コンクリートの調合を設定した。

実大試験体による施工実験

Fc ＝420kgf/㎠ のコンクリートの施工性、工場で製造された生コンの品質、構造体コンクリートの品質を検討するために、部分実大試験体による施工実験を行った。コンクリートの実施調合は、**表－２**に示すようにJASS 5を参考として単位水量の上限値を185kg/m³とし、水セメント比37%で高性能減水剤の銘柄のみを替えた２種類の調合を設定した。実験は本建物の実施工を再現する形で運搬、ポンプ圧送、打ち込み、締め固めの条件を設定して行い、試験体は、本建物でFc＝420kgf/㎠を採用する架構の柱、梁、耐震壁で構成される部分実大試験体とした。

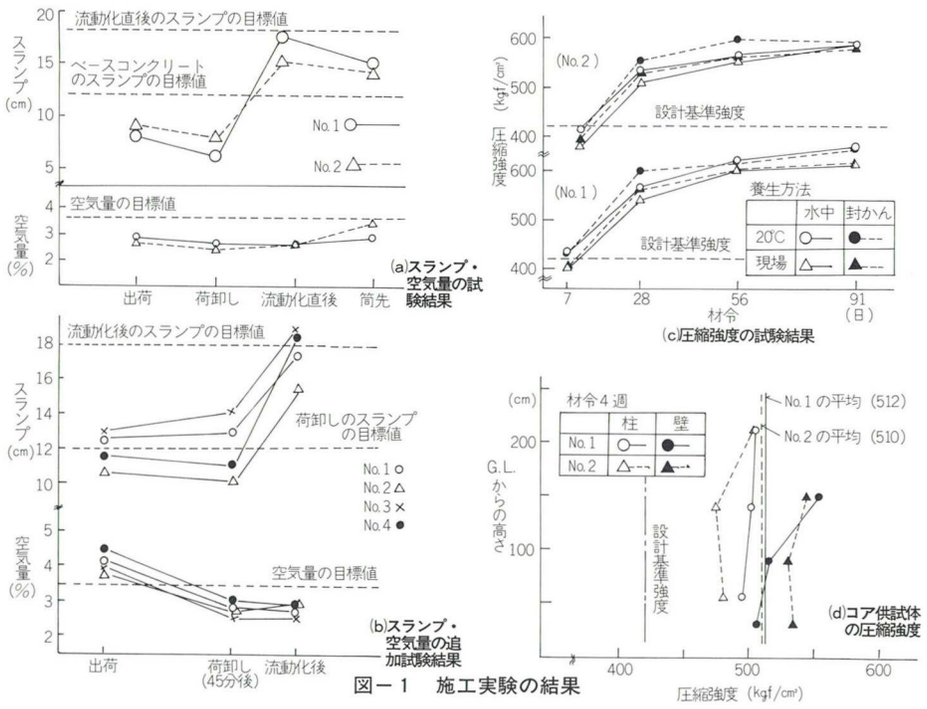
①スランプ、空気量：図－１(a)(b)に示すように、混和剤の添加量によってスランプ、空気量の調整は十分可能であることが確認された。また、いずれの調合も流動化後のコンクリートの性状は良好であって、ポンプ圧送、打ち込み、締め固めは支障なく行うことができ、流動化によって施工性は十分確保できることが確認された。

②標準シリンダーの圧縮強度：圧縮強度の試験結果は、図－１(c)に示すようにいずれの養生方法においても材令28日で Fc ＝420kgf/㎠ を十分に満足する結果であった。また、本実験における気温による強度の補正値等から検討すると、両調合とも材令28日の調合強度を満足するものであることが確認された。

③コア供試体の圧縮強度：試験体から採取したコア供試体の圧縮強度の試験結果は、材令28日の柱、壁すべての採取位置において Fc ＝420kgf/㎠ を満足するものであった。試験結果を鉛直方向の分布として図－１(d)に示すが、部材の上方であっても下方と同程度の強度が認められる。また、試験体コンクリートの表面は、ひびわれのない良好な状態であった。これらのことから、本建物の施工条件を想定して設定した本実験の打ち込み・締め固めの方法を用いることによって、均質で良好なコンクリートが打設できることが確認された。

おわりに

実験結果を踏まえて作成した高強度コンクリートの品質管理計画書および施工要領書に基づき、関西地区で初めての Fc ＝420kgf/㎠ のコンクリートの施工に至った。今後もコンクリートの高強度・高品質の要求はさらに高まるものと予想され、工事進捗に伴って蓄積されつつある種々のデータを定量的に把握し、高強度コンクリートの調合設計へと反映させていきたいと考えている。



図－１　施工実験の結果



高畑顯信

生年月日　昭和31年11月10日
最終学歴　昭和55年大阪大学工学部建築工学科卒業
業　　歴　昭和55年竹中工務店入社
昭和56年大阪本店作業所
昭和59年技術研究所
昭和61年大阪本店技術部

すいせんのことば　岡田克之

業界をとりまく厳しい環境に対処するため、各方面での研究開発が活発に進められている中で、扱いなれた材料の新たな可能性に着眼、種々の課題を地道に究明し、実用化した。この成果は、構工法の適合範囲を格段に増大せしめ、大きな流れとして確実に定着しつつある。

青年技術者のことば　建築物にごく一般に用いられるコンクリート。しかしながら、19世紀初頭から実用化されているこの材料について、現在その保有する性能のごく数%しかわれわれは利用できないでいる。近年、建設コスト、居住性の観点から、ＲＣ造による高層集合住宅が注目をあつめ、高強度なコンクリートの品質管理技術の確立が求められていた。今回、骨材事情の悪い関西地区においてコンクリートの品質と施工性の確保を実証できたことは大きな成果であろう。また、このことは、高層集合住宅に限定せず、ＲＣ造の可能性を飛躍的に拡大させたと考えられる。

社会資本整備における建設部門の果たす役割は大きく、その成果に対する期待度も大である。今後も技術者として、社会の動向を適確に把握し、それらに対応する技術の開発を推進してゆきたいと考えている。

施工図自動製図システムの開発

松村組では、昭和50年に汎用コンピュータを導入し、事務処理を中心に各種のシステムを開発してきた。同業他社に比べ電算化へのスタートは一歩遅れていたが、昭和57年には一応の成果により順調な進展をみている。このころからＣＡＤが急速に発展しだし、以前に比べハードウェアーも高性能で低価格になってきたため、図形処理では他社に先がけて汎用ＣＡＤ導入に踏み切った。

施工部門への自社開発ＣＡＤの導入

一般に建設業界でのＣＡＤ利用といえば設計部門がほとんどである。しかし当社は、施工を主体とする請負業者であり、施工上必要不可欠な施工図をＣＡＤ化した方が生産性やあらゆる面で実務への貢献度が大きいと考えた。また、施工関係のＣＡＤソフトが昭和58年頃にはまったく市販されておらず、自社開発をせざるを得なかった。

以上のことなどから、施工図のＣＡＤ化に踏み切った。

①施工図の標準化と均質化を図る。
②生産性を向上させる。
③本部集中作成により、竣工図面への管理に役立てる。
④施工上の矛盾点を早期に発見し、施工精度を向上させる。
⑤経験の浅い現場員や専門職以外の人でも容易に作成できる。
⑥図面の一部分を転用することにより、設備図などの作成時間を省力化する。

これらを目標とし、施工図自動製図システムの開発に着手し、これをCASD（**C**omputer **A**ided **S**hop **D**rawing for contracter）と名付けた。

開発の経過

入社以来、各種事務処理をはじめとして、山留計算、構造計算等の技術処理を建築技術者とタイアップしてシステム開発に携わり、昭和58年より施工図のＣＡＤ化に取りかかった。

施工図といえば仮設計画図、施工計画図、躯体図、仕上図……等があるが、一度にすべてのものを開発するのは無理であり、当面は躯体図、なかでもコンクリート寸法図に的を絞り、私がシステム設計を担当することになった。

システム概要

仕事の大きな流れと施工図の位置付けは、**図1**の通りである。

当システムは、CASD専用入力シートでデータをバッチ（一括）処理し、細部の個所をＣＡＤのインタラクティブ（会話）処理で完成させるシステムである。すでに見積の躯体積算システムがあるので、データの二重入力を避けるため、積算システムからCASD専用入力シートにターンアラウンド方式でデータをリンクし、施工図に必要な詳細データを追加するだけで済むように有機的結合も考えてある。また開発に使用した言語はFORTRAN77で、約10万ステップ、開発工数は約130人／月である。

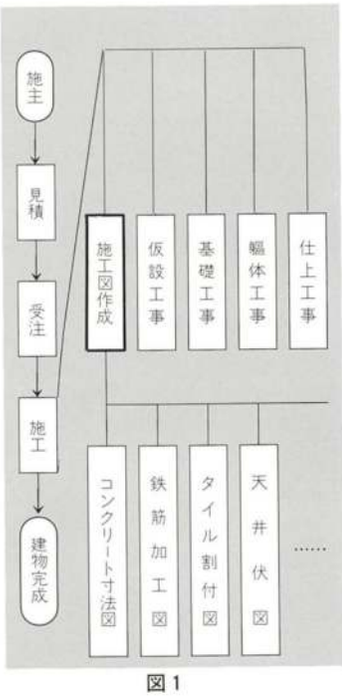


図1

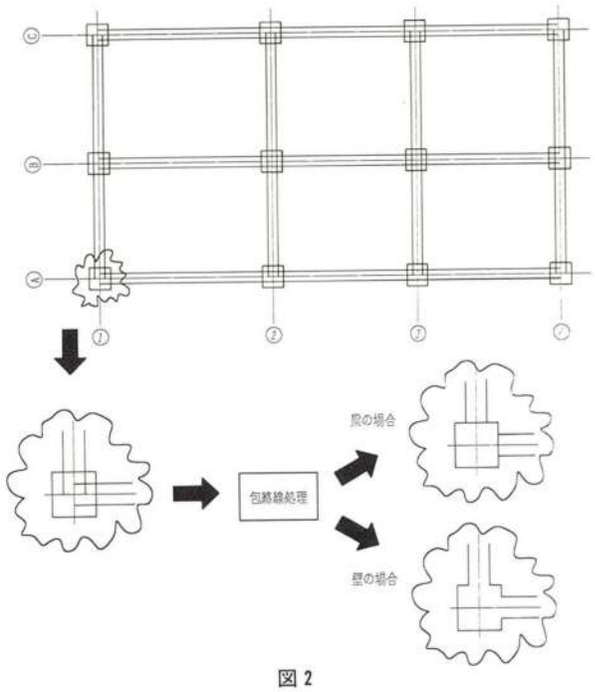


図2

システムの特徴

大きな特徴は、バッチ主体型のＣＡＤシステムという点である。多くのＣＡＤシステムは線・円・寸法等を一つずつ作成していくが、単純な作業の繰り返しなどは可能な限りバッチ処理し、施工図作成時間の短縮すなわち生産性の向上に大きく貢献する点である。しかしバッチ処理で100％の完成度を目ざすと、かえって遅くなる場合もあり、グラフィクディスプレイの前で操作した方が早い、または得意とするものは専用コマンドで対応するシステムである。

バッチ処理では区域（Ｘ方向、Ｙ方向の通り芯で囲まれた四角の領域）という概念を取り入れて、各部材（柱・壁・梁等）の包絡線処理（**図2**で示すように線の取り合いを形成すること）を効率よく行い、現在市販されている他システムでは処理できない大きな建物でも、CASDでは処理可能な点である。

今後の発展性とシステムの外販

今回完成したシステムは、施工図の中のコンクリート寸法図であり、現在開発中のものも含めて、今後は積算(コンクリート量・型枠面積)、タイル割付図、杭伏図、天井割付図、階段詳細図、仮設図を予定しており、ほぼ完成しているものもある。

建築・土木分野へ積極的に展開しているソフトウェアメーカーとして日立造船情報システム株式会社（略称HZS）があり、CASDに関し、とくにバッチ処理系の考え方が共通するところから、またＨＺＳの施工図受託部門がCASDを使って処理したいという意向から、今回、システム販売にいたった。当システムに同業他社の共通的なニーズをもっと取り入れれば、より完成度の高いシステムになると確信している。

おわりに　建築専門技術者でない私が当システムを完成させるに当たって用語のイロハから指導を受けた当社大阪本店工務部現寸班長、また私と共に約10万ステップのプログラムを作成した若いスタッフに感謝し、今後ますます優れたシステムにするべく不断の努力をしていく所存である。



小杉正博

生年月日　昭和29年７月14日
最終学歴　昭和48年京都市立洛陽工業高校電気科卒業
昭和50年関西テレビ技術専門学校電子計算機科卒業
業務経歴　昭和50年松村組入社、事務管理本部電算室電算課
作成システム　財務・会計、減価償却、支払、営業、購買、見積、工事管理、山留・構造計算、図形

すいせんのことば　**山田博司**

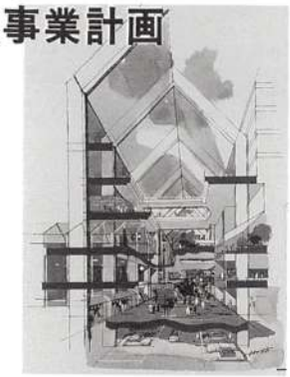
施工図ＣＡＤシステムを完成させるにあたり、建築技術者でない彼は、「施工図とは」から入り、コンピューターでの効率的処理を念頭に置きながら、施工図作成担当者のニーズを見事にシステムへ反映させた。建設会社のＳＥとして、今後の活躍が大いに期待される。

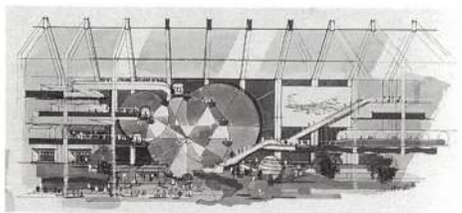
青年技術者のことば　高度情報化社会の現代、コンピューターのハードウェアー・ソフトウェアーはともに飛躍的な進歩をなし続けている。しかしながらその反面、ＳＥ（システムエンジニア）と呼ばれる人材が不足し続けているのも現状である。

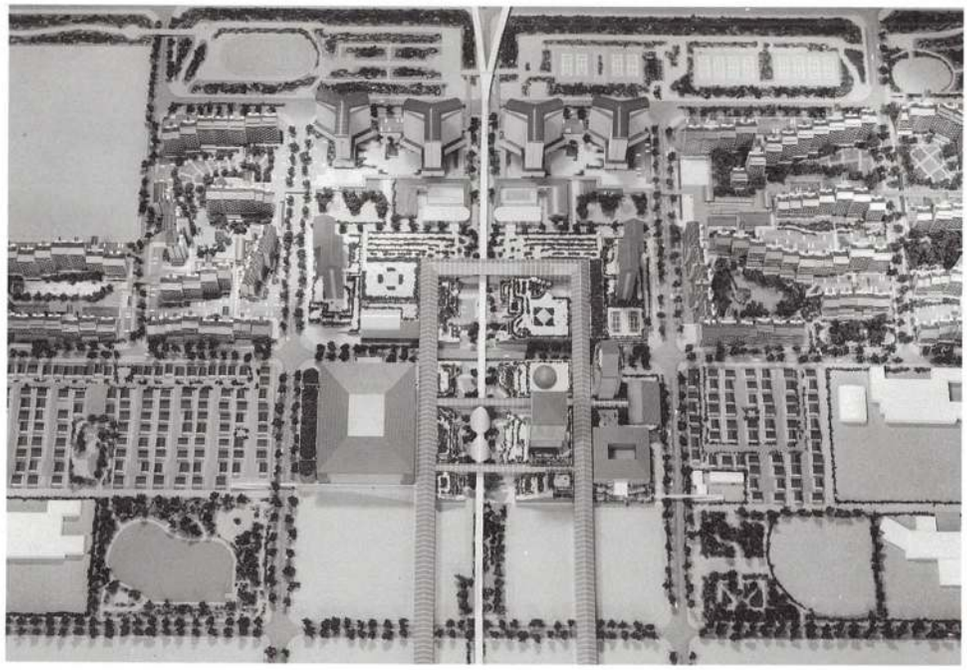
コンピューターはあくまでも機械であり、それを動かすものつまりプログラムと呼ばれるソフトとそれを指示する人間がいてはじめて道具となる。このソフトを開発するのがＳＥとプログラマであり、ソフトの良し悪しは、業務のニーズをどこまでシステムに反映するかがポイントになり、常にわれわれが苦しむところである。

類似ソフトを各社が作成するといった無駄な時間をなくし、各社のニーズに耐えうる、汎用性のある優れたソフトが市販され、ＳＥ不足の解消につながれば良いと願っている。

六甲アイランド都市機能用地分譲事業計画





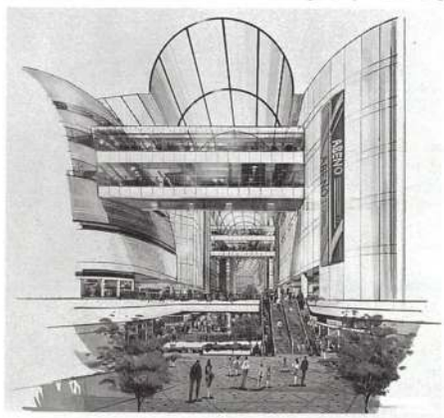


ワールド記念ホール





阿倍野地区第２種市街地再開発事業Ａブロック基本計画







山 本 光 良

生年月日　昭和27年５月17日
学　　歴　昭和56年東京芸術大学大学院修士課程修了
業　　歴　昭和56年昭和設計入社、企画部
作品経歴
昭和57年　ワールド記念ホール基本設計
　阿倍野地区第２種市街地再開発事業
昭和58年　Ａ地区基本計画・設計
　Ｄ地区基本設計
　播磨生協中央店Ｓ.Ｃ.基本計画・設計
　新金岡駅前再開発地区基本計画・設計
昭和60年　六甲アイランド都市機能用地分譲事業計画コンペ、基本計画
昭和61年　信託事業企画コンサルタント
　住吉駅前商業業務施設整備計画基本計画・設計

すいせんのことば　三宗司郎

山本君は、企画計画から設計にわたる息の長い物件を担当しているが、そのおのおのの内容をじっくりと練り上げ、粘り強くまとめ上げている。阿倍野再開発、六甲アイランド開発の計画とともに、最近は、大規模信託方式案件を手がけている。幅広い計画者として期待している。

青年技術者のことば　建築と都市は、いつの時代においても、表現の方法は別にして、その社会の反映であることは言うまでもありません。近代以後の技術革新と工業化による大量消費社会は、脱工業化社会、情報化社会へと変化を続けていますが、建築の分野でもインターナショナルスタイルという単一機能型から、ポストモダンスタイルに代表されるような多様性重視型へと、移りつつあります。同時に、建築家としての職能が、高度の専門分野化と大衆化との流れの中で、問われている時代でもあります。
われわれに課せられた使命は、その時代、社会の要求を最大限に満足させながら、常に今までにない新しいものにチャレンジしつつ、いかに社会資本として良質のストックを残せるかにあると考えております。魅力ある都市は、本当に良いものを蓄積しながら、常に新しいものを受け入れる能力を持つものです。

「建築と社会」誌20年●特集一覧 ――昭和42年～62年

「建築と社会」誌は、昭和42年から大型化しＡ４変形判となった。特集と作品作風頁を二本柱に、シリーズものの頁を織り込み、その時々の社会を反映したテーマを選んで掲載してきた。（58年４月号以降定価950円）購読希望者は事務局（06-348-0635）へ。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和42年（48集）	＊国立劇場	＊建設機械	＊日本建築協会50周年記念号	＊社会と建築	都市と流通空間	住宅と設備	生産施設	モントリオール万博	建設資金	最近の外装	第14回青年建築家	建築と生命
昭和43年（49集）	都市生活	＊都市のいこいの場	＊50周年記念事業記録号	＊幼児施設	＊教育施設	＊医療施設	＊都市交通施設	都市供給処理施設	＊群としての住居	都市のアクセサリー	第15回青年技術者	＊新都市計画法の諸問題
昭和44年（50集）	＊建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民―中部からの報告	＊老人とすまい	＊建築史の方向―現代によみがえる過去―	＊建築行政は期待するもの	転換しつつある住宅生産	＊解決をせまられる公害問題	＊海洋開発	＊民家の系譜と保存計画	＊第16回青年技術者	＊九州からの報告
昭和45年（51集）	現代社会とは何か	建築と安全	＊日本万国博と技術開発	＊設計のシステム化	＊グッドデザイン運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	＊山陽・山陰からの報告
昭和46年（52集）	住宅―60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギーと無公害化ビル	＊建築基準法	＊都市生活とみどり	＊企画と設計のプロセス	解体工学	都市と港湾	＊転換期のニュータウン	軟弱地盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	＊自然とレジャ空間
昭和47年（53集）	冬期オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	＊都市交通問題	＊水利用	量産住宅の設備	＊一般号（桂中学）		＊都市住環境へのアプローチ	＊都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年（54集）	建築教育	＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設	＊大阪大林ビルディング	＊レジャーと施設	＊大阪国際ビルディング	＊老人コミュニティ	住宅―建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年（55集）	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	＊北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギー化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年（56集）	図書館	東海の新建築	＊インテリア	ＰＣ板を使用した工業化住宅	＊社会・建築・法	都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	＊人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	＊集合住宅の設備
昭和51年（57集）	証言'76―建築デザインの動向	＊建築基礎構造の問題点	医療施設	床工法と材料	＊建築防災と法	＊市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	＊結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年（58集）	＊デザインの動向―部分と全体	兵庫県―その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号 ●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	＊日影規制と法	＊身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題―大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年（59集）	デザインの動向―新旧のコントラスト	＊水	医療施設―病院建築と情報システム	外壁塗装材料	電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	ＣＡＤ―設計とコンピュータ	＊一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年（60集）	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	＊日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設の変貌	建物の終局強度の検討	庄内のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年（61集）	80年代の都市と建築―まちづくりの歴史と展望	＊●今後の省エネルギーの趨勢 ●建築金物	＊●最近の銀行建築 ●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	最近の防水工法	都市景観とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第7回青年技術者 ●転機にたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年（62集）	職能論	中国の論文―北京の都市計画	＊ポートピア'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法―安全な環境をめざして	都市住宅―住まい手からの発想	●建築物と風―デザイナーのために ●日建設計作品集	住宅・都市整備公団―関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年（63集）	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設―地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観―まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎（第1期）	音とホール建築	大スパン構造	＊昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年（64集）	＊関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	＊多様化する運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト（鉄筋）コンクリート構造	●第30回青年技術者 ●大阪城国際文化スポーツホール	集合住宅と生活音
昭和59年（65集）	21世紀への関西―魅力あるまちづくりを問う――	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュー内外装補修技術の現状と発展―	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間 ●京都駅南口再開発ビル（アバンティ）	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者 ●ディテールの思想	光応用システムと建築
昭和60年（66集）	大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道―建築家安井武雄 ●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホール―それが生みだす文化―	建物の表情―最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出 ●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合 ●日建設計作品	●村野藤吾の一断章 ●東海特集	第32回青年技術者
昭和61年（67集）	これからの住空間―都市型集合住宅にみる	屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	インテリジェントビル・の建築・設備計画	自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎	21世紀の住居と設備	●開発 ●ツイン21	ＣＡＤ―その応用と展開	オフィス空間の構成	第33回青年技術者	インテリア・イクステンションとリニューアル
昭和62年（68集）	入浴物語	腐食	創立70周年記念号	躍動する東海へ	保管・貯蔵施設	室内の仕上床	駅	行政建築家の可能性	シティホテルの設備	宝塚の街づくり	建物と街並みの接点―建物の外構―	第34回青年技術者

企画：日本建築協会

建築技術選書〈特装版〉

新 建築と設備の接点

建築設備の新しい生産管理

宮脇 毅・南部 武 著

B5判・208頁・定価3500円

1 接点の品質管理
品質管理とは／建設業の品質管理／品質の保証と信頼性／管理手法／建築と設備の接点の品質管理／設計段階の接点管理／着工時の接点管理／施工段階の接点管理
2 計画・設計段階の接点
計画／設計／新しい分野の接点
3 施工段階の接点
施工計画／躯体関連工事／仕上げ関連工事／集合住宅／外構関連工事／試運転・検査・引渡し
4 リフォーム工事の接点
リフォームと耐用年数／リフォームの要因と例／リフォームの調査・診断／リフォーム工事の特色／リフォーム工事の施工管理の要点

トラブルを未然に防ぐための画期的労作！

インテリジェントビル，クリーンルームなどに代表されるニーズの多様化・高度化により，ますます広く複雑となる建築と設備の接点．建物の機能に深い関わりをもつ生産工程上の，この接点問題について，品質および工程管理面からの一貫した最新技術を，多数の図表とともに詳述．永遠の難題に正面から取組み，解決策を示す．とらえ難いテーマを余すところなく解説した，建築関係技術者の必携書．

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

企画：日本建築協会

建築技術選書〈特装版〉

建築設備の健康診断

牧野 茂 著

B5判・160頁(カラー48頁)・定価3800円

複雑化する設備の最適化を生む実践の書

1 建築設備のできるまで
2 建築設備の健康診断
3 建築設備とは
4 電気設備の診断
5 空調設備の診断1—冷熱源設備の診断
6 空調設備の診断2—配管系機能診断
7 空調設備の診断3—空調器の診断
8 空調設備の診断4—小型空調器の診断
9 これからのビル管理設備
10 故障予知と異常監視法
11 配管腐食の測定—管内水腐食速度の測定
12 資料編

〈診断実例カラー写真〉
- 小型空調器のクレーム
- 配管の腐食と蒸気消費量
- 冷熱源設備，台数制御・容量制御の動き
- 変風量方式空調器の運転状態
- 変電設備の診断
- 電動機類の診断
- 冷熱源設備の診断
- 配管系の診断
- 空調器の診断
- 小型空調器の診断　ほか

“トラブル”や“クレーム”の芽をつみ，あらゆる機器の最適化をはかることがいかに得か！
電気設備，空調設備，ビル管理設備はもとより配管系を含め，ますます複雑化しつつある，あらゆる建築設備を，トータルな立場から診断し，その運転や保守の最適化によるコストの削減を実現する．診断のカラー写真とともに，診断に役立つ資料も収録．
設備を制することが求められる時代の絶好の技術書．

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

日本建築協会企画・建築技術選書 34

身障者・高齢者のための建築設計

吉田あこ 著

―斯界の第一人者がわかりやすく語る配慮設計のポイント集―

国際障害者年を迎えてから２年が経過した．全国の都市には，車いす使用者用トイレや盲人用信号など，身障者・高齢者を配慮した設計にあちこちでお目にかかる今日である．しかし，配慮したつもりでも，何らまとを得ていないものも随分と多い．なぜだろうか．

そうしたいくつかの例の中から，数編を文章化して「配慮する」とはどういうことかを考えてみた．

本書は，「身障者だから配慮設計」と身構えるのではなく，配慮設計について誰もが考えられる身近な解決のポイント集である．

主要目次

Ⅰ　設計計画　―わかりやすい考え方―
- ●どんな理念，どんな姿勢で考えるか
- ●どれだけの数を対象にするのか
- ●ハンディキャップとはどういうことか

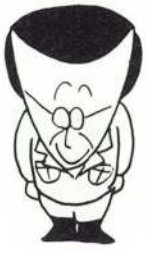
Ⅱ　設計詳細　―目につく矛盾とミス？―
- ●国際シンボルマークについて考える
- ●車いすの動作スペースはどれだけ必要か
- ●段差カットの手法および排水溝との関係
- ●手すり高はどれだけとるか
- ●これからの配慮設計，ＭＡＩハウス計画



Ａ５・160頁・定価1300円

〈目録進呈〉　☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

企画：日本建築協会



プロのノウハウ

最新刊

……建築に携わる人へのヒント

知りたくても知るすべがなかったこと，書きたくても公には書けなかったさまざまなトラブルの事例・原因・対策から，その解説・ヒントまで――

最新の設備や技術ゆえに起こるトラブルから，いつも失敗をしながら明確な解決策が出されなかったトラブルまで，現場サイドの技術や知識に裏付けられた，実際に起こった事例とその対策の数々．トップレベルの技術者たちの知識と勇気を結集してまとめた．空調設備や衛生設備で失敗しないための方法や技術をすべて盛り込んだ，画期的なトラブル解消のトラの巻である

空調設備のトラブル50

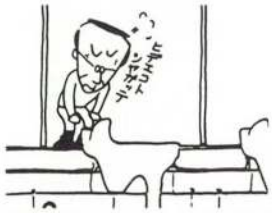
四六・224頁・定価1800円　建築設備トラブル研究会著

●内容概略
1　熱特性にまつわるトラブル
2　梁と天井裏スペースにまつわるトラブル
3　シャフトまわりのトラブル
4　ガラリまわりのトラブル
5　屋上・屋外設置機器まわりのトラブル
6　空調機械室まわりのトラブル
7　居室内のトラブル



衛生設備のトラブル50

四六・224頁・定価1800円　建築設備トラブル研究会著



●内容概略
1　地中・床にまつわるトラブル
2　シャフト・壁・便所にまつわるトラブル
3　浴室・外壁にまつわるトラブル
4　地下・屋上にまつわるトラブル
5　腐食にまつわるトラブル
6　給水・給湯にまつわるトラブル
7　排水にまつわるトラブル

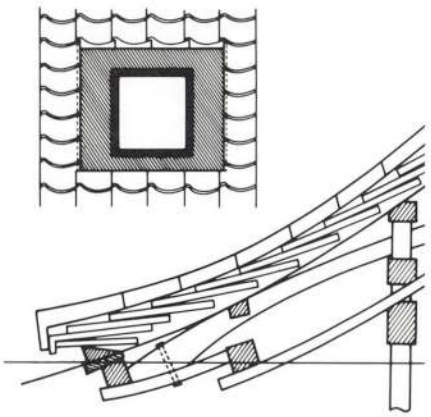
〈目録進呈〉　学芸出版社　〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　TEL 075(343)0811

日本建築協会企画・建築技術選書29

㈱大佛社長　佐藤四郎 著

瓦と屋根構造

瓦の製作と施工の技術，その伝統と建築の関わりをていねいに解説する



1．瓦の作り方
瓦土の種類　瓦土の特性とねかし方　瓦土の配合と土練り　成型と乾燥　焼成

2．建築と瓦工事
建築と瓦屋根　質感・量感　屋根構造と瓦工事　古社寺の屋根構造と瓦工事　現代の屋根構造と瓦工事　瓦屋根の雨仕舞

3．瓦工事費の知識
建築費に占める瓦工事費の割合　種々の場合における瓦工事費のコストの比較

4．瓦の歴史
瓦の起源　瓦の発祥地　瓦の字源と語源　古代瓦　中国の瓦　朝鮮の瓦　日本の瓦

A5・176頁・定価1400円

〈目録進呈〉　☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

企画：日本建築協会

プロのノウハウ　最新刊

職業訓練大学校教授　矢吹 茂郎 著

とかく敬遠されがちな基準法の諸問題を読みやすく解説

基本問題40講 建築基準法の実際

●幅広い経験のすべてを込めて奥深い諸問題を説く

建築基準法の難しさは，設計，行政，司法という三つの面から出る多様な問題を，どう一つに止揚させていくかにある．本書では，様々な問題を事例をあげてわかりやすく解き明かす．著者の幅広い立場上の経験に審査会の裁決等も加え，単なる法規の解説ではなく，内容にも突っこんだ形で編集した．基準法諸問題解決のための好著

四六・ 224頁・定価1800円

内容概略

- 敷地の定義と用途上の可分・不可分
- 道路の定義と位置指定
- 地域指定と建築規制
- 土地利用と容積制限
- 斜線制限と絶対高さ
- 総合設計制度と容積・高さの緩和
- 地域による防火規制の変遷
- 地域がまたがる場合の問題点
- 長屋と共同住宅
- 居室の採光と有効の算定
- 火災の拡大防止と防火区画
- 排煙設備の有効性
- 仕様書規定と性能規定
- 建築基準法最低基準論
- 隣地境界線と外壁後退
- 建築確認の法的性質
- 確認審査および検査の省略
- 消防同意と建築基準法
- 行政指導と確認留保の限界
- その他，21講

プロのノウハウ　好評発売中

TQCから見た建設業　問題解決の決め手
荒木睦彦著 / 四六・192頁・定価1600円

軀体工事監理のチェックポイント100
須賀好富著 / 四六・224頁・定価1800円

パソコン会計術　設計事務所編
西部明郎著 / 四六・224頁・定価1800円

建物の値打ちの高め方　ビル・マンションの新しい評価法
小林清周著・四六・208頁・定価1700円

空調設備のトラブル50　建築に携わる人へのヒント
建築設備トラブル研究会著・四六・224頁・定価1800円

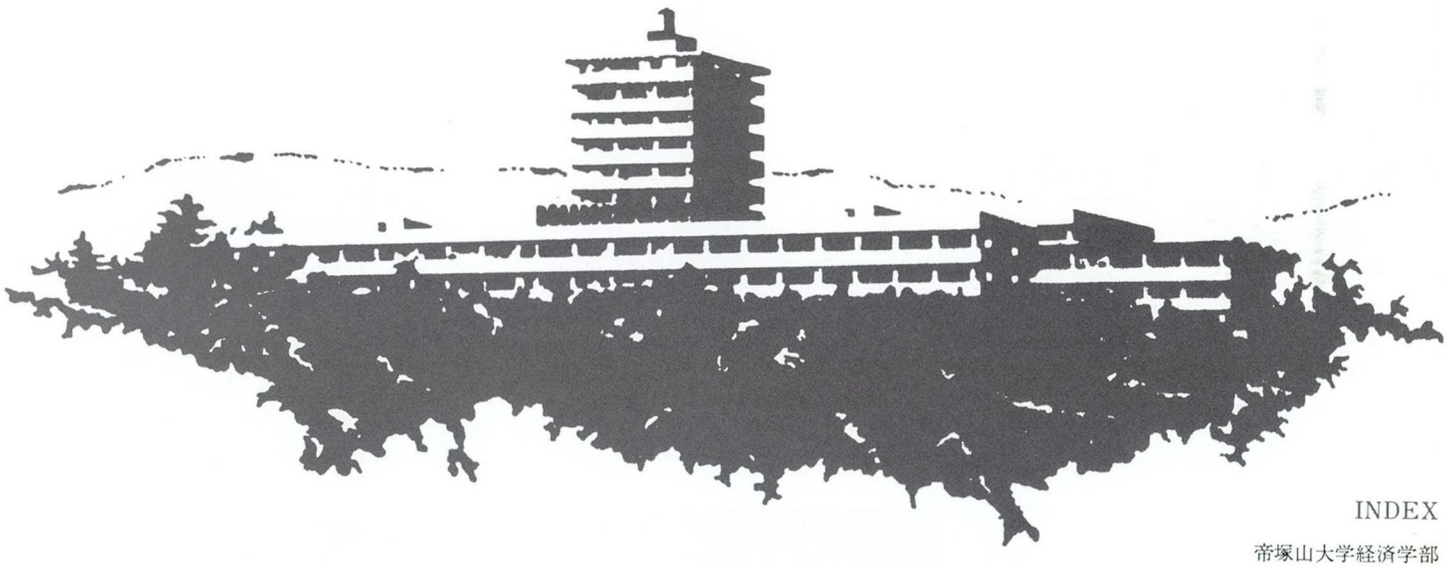
衛生設備のトラブル50　建築に携わる人へのヒント
建築設備トラブル研究会著・四六・224頁・定価1800円

〈目録進呈〉　学芸出版社　〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入 TEL 075(343)0811

A.R.I 建築事務所

代表取締役 建築家
亀井　晃治

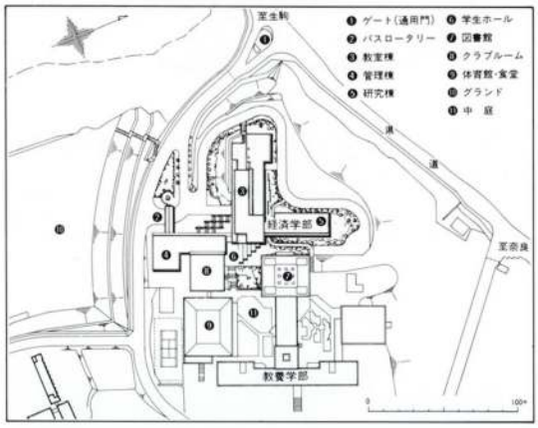
創立 25 周年 記念 近作集



INDEX

帝塚山大学経済学部
大阪明浄女子短期大学
帝塚山学院短期大学
帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校
船場西大治ビル
トヨタカローラ奈良㈱富雄営業所
ライオンズカントリークラブ
グレート岡山ゴルフクラブ
新城カントリークラブ
亀岡カントリークラブ
エールビジネス専門学校
上本町大治ビル
上新電機㈱本社ビル
上新電機㈱Ｊ＆Ｐメディアランド
関西外国語大学谷本国際交流記念館
関西外国語大学クラブ館
大阪府自動車整備会館
帝塚山考古学研究所







帝塚山大学経済学部

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　大林組
所 在 地　奈良市帝塚山
建築面積　4,206㎡
延床面積　8,858㎡
構造規模　RC、3F、4F
工　　期　昭和60年11月～昭和62年3月

今年、帝塚山大学は経済学部の新設により、男女共学へと大きく変容する。このことは、全国の女子大学関係者の間で、今後の大学運営に対するモデルケースの一つとして大いに注目されている。私共は計画にあたり既存教養学部校舎の設計者として、大学23年間の伝統が培った建学の精神と共に、新設される経済学部は、きたるべき新世紀に大学として新たな教育を創造し構成するための施設であることをコンセプトとして、新旧キャンパス空間の融合を図ることを最大のテーマとした。

当初、計画地は既存教養学部レベルと約8米の高低差があった。この地盤全体を1/2カットし、なおかつ主動線部を同一レベルまで下げた。この土木造成には多大の費用を要したが、キャンパス全体の将来を考えて十分に価値あるものであったと思っている。また、既存教養学部と新校舎との接点ともなる中庭は、新旧校舎を融合するスクールライフの重要な空間として演出する必要があり、新たに中庭に面してガラス屋根の軽食・喫茶室等、学生が常時利用する施設を配し、インフォーマルな両学部の交歓の空間として、緑の修景も含め、質的な充実に重点をおき計画にあたった。

私達は、常に「キャンパスは学生のものだ」ということを強く意識しながら設計を進めてきた。新旧キャンパスの中で、男女学生達が主役を演じ、活気に満ち、教養高く、共学元年を迎えた帝塚山大学が輝やかしく21世紀に向けて、充実・発展することを期待している。









大阪明浄女子短期大学

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　間組
所 在 地　大阪府泉南郡熊取町
建築面積　3,964㎡
延床面積　9,244㎡
構造規模　RC、3F、SRC、10F
工　　期　昭和59年1月～昭和60年2月

沖合5キロメートルに関西国際空港の建設が始まり21世紀に向けて国際交流都市ゾーンとしての大きな発展が期待される立地にふさわしく、語学系の単科大学として新設された女子大学である。
キャンパスは水と緑に囲まれた素晴らしい自然環境の中に、南北にのびるコリドールを軸として管理・研究棟、図書館棟、教室棟、体育館棟を結んだクラスター配置とした。
キャンパス全体の骨格を形成する長いコリドール、キャンパスのシンボルタワーとなり、かつ地域のランドマークをも意図した10階建の研究棟を中心として外観デザインを構成した。緩やかな曲線の流れの連らなりは、優美さ・柔らかさ・女性のロマンの肌ざわりをつたえ、建学の精神である「女性の自立」を涵養し、「世界にはばたく近代女性のロマン」の展開の舞台となる教養空間の創造を設計テーマとした。

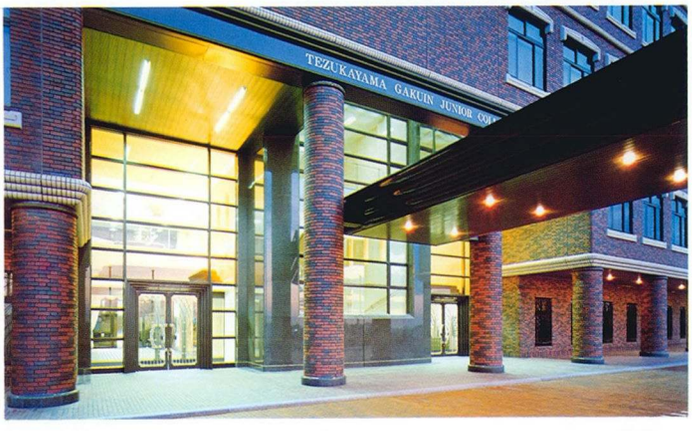
帝塚山学院短期大学

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　鴻池組
所 在 地　堺市晴美台
建築面積　1,851㎡
延床面積　12,567㎡
構造規模　S、8F
工　　期　昭和59年12月～昭和62年１月

創立70周年を迎える記念事業として歴史と伝統ある大阪帝塚山から、キャンパスの質的充実と量的拡大をはかるため郊外の泉北ニュータウンに移転されたものである。
既に敷地の一画には帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校が開校されており、同一敷地全体としてのバランスと、帝塚山学院の伝統と学風を反映した風格あるデザインと、そのイメージの継承をはかった設計とした。建物は敷地の形状と広さの関係から高層建築とし、21世紀に向けて多様な私学教育の時代に対応したハイタッチな空間構成を考慮すると共に、周囲にできるだけゆとりある外部環境を残すよう意図した。

外観のデザインは女子大学として知的なやさしさをまろやかな曲面で構成し、現代女性の知性と教養、そしてロマンを醸し出し、街並にやわらかく調和しヒューマンな交感を意図しました。
内部構成のコンセプトは学問の合間の休息とやすらぎの場〝友と語らう人格形成の空間を情操豊かなゆったりとした空間として確保することに努め、特に学究レベルを象徴する図書館は、内包することでむしろ〝使いやすさ〟をねらいとした現代的手法をとった。





帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　鴻池組
所 在 地　堺市晴美台
建築面積　5,282㎡
延床面積　13,493㎡
構造規模　RC、3F、5F
工　　期　昭和56年11月～昭和58年２月

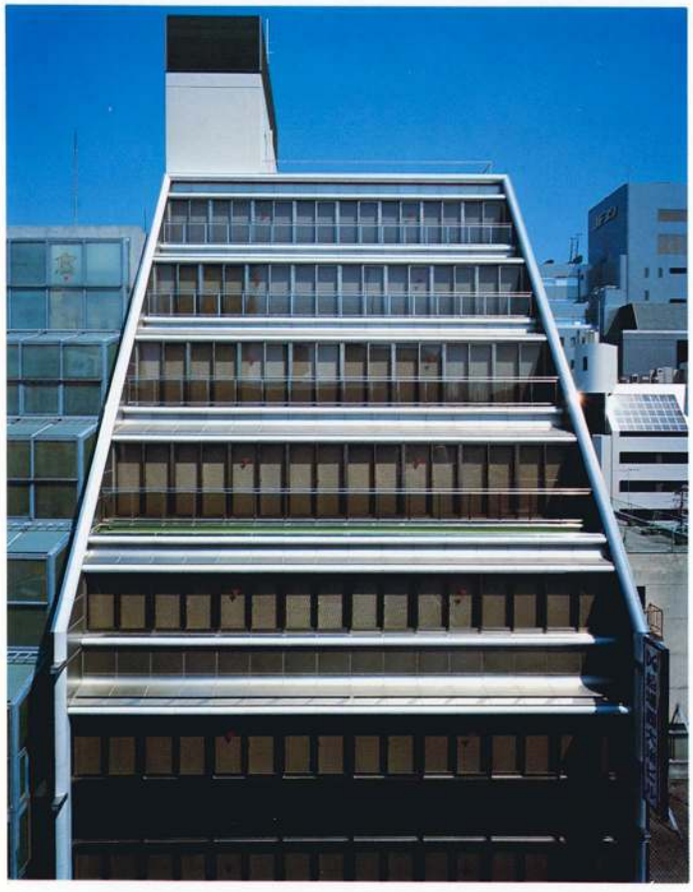
大阪の住吉で伝統ある私学・帝塚山学院が創立65周年記念事業として泉北ニュータウンに新設した学校で、男子中高６年制の一貫教育として、また我国でも初めての高校女子国際科を設ける等ユニークな教育内容を目指している。
計画にあたり敷地前面は周辺環境レベルまで土量をカット、緑地帯、語らいの広場等広がりのあるアプローチ空間とし地域との親密な環境づくりからスタートした。

校舎は当校の教育理念である知育・徳育・体育の調和のとれた全人格的教育をシンボル化した三棟をシンメトリーに配置した。外観は伝統ある校風を生かしたネオクラシックで重厚なデザインとし、ヒューマンで街並に融け込み、かつ地域のシンボルとなる表現とした。









船場西大治ビル

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　鴻池組
所 在 地　大阪市東区博労町
建築面積　330㎡
延床面積　2,600㎡
構造規模　S、9F
工　　期　昭和60年10月～昭和61年８月

大阪のビジネスの中心、船場に位置するテナントビル。最近、商業地の地価高騰は著しく、計画にあたって高効率性の追求が必然的な課題となった。前面に配したオフィススペースが階毎に順次セットバックする平面計画により法規制内での最大容積を確保し、且つゆとりのある贅沢とも思えるエントランス空間を考慮している点がこのビルの特色である。外に開放された広がりのある吹抜空間とアルミ鋳物格子の開放的なゲートの構成は、ビルの来訪者ばかりでなく、街路を通る人達へビルがアベニュー的質感を高め豊かな表情で働きかけるデザインを意図した。
昨今、ビルは質を競う時代に移りつつある。今回の計画はこうした新しいトレンドに向けての附加価値をつけたビルの企画提案であり、今後、過当化するレンタルビル業界においてテナント確保の重要な要素になると思われる。

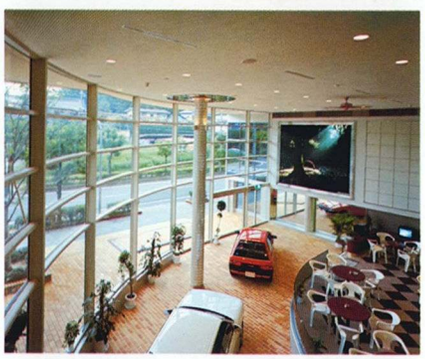
トヨタカローラ奈良㈱富雄営業所

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　村本建設
所 在 地　奈良市鳥見町
建築面積　639㎡
延床面積　986㎡
構造規模　S、2F
工　　期　昭和61年11月～昭和62年５月

昨今、自動車販売店は異業種との併設・複合店舗、自動車関連外の新しいサービスの附加等、従来の枠を越えた新しいイメージの店舗展開を志向している。当カーショールームはこうした新しいトレンドに向けた店舗づくりを意図して、ファッショナブルでクリエイティブなコミュニケーション空間を企画し、地域住民に積極的に提供することで集客力のあるカーショールームを目指したパイロット店のNo.１である。
店舗はゆったりとした喫茶スペース、手づくりパンとケーキの店、地域コミュニケーションスペースとしてのカルチャー教室、ギャラリー等を併設、展示車はインテリアの一部として扱いショールームのイメージを極力おさえた内部構成とした。











ライオンズカントリークラブ

設計監理	A.R.I 建築事務所
施　　工	清水建設
所 在 地	兵庫県美嚢郡吉川町
建築面積	2,775㎡
延床面積	4,081㎡
構造規模	RC、3F
工　　期	昭和57年11月～昭和58年11月

中国自動車道吉川ＩＣに近接した立地のゴルフ場である。このあたり一円は、交通の至便さと良好な自然環境から多くのゴルフ場がありゴルフ銀座の観がある地区である。
外観は、この豊かな周囲の緑の中に溶け込むようなゆったりした景観をイメージした。大屋根には永年の風雪に耐え得る玄昌石を使用し、しっとりと落ち着きのあるヒューマンスケールの建物とした。低くおさえた車寄せから導かれる玄関ホールはゆったりした吹抜空間となっており２階のラウンジ、食堂へと連続してゆく。２階はパノラミックなコースの眺望が得られる広く快適な空間とし、ウッディな落ち着いた内装と勾配天井によるひろがりのあるデザイン構成により、プレー前後のやすらぎとくつろぎと充実したクラブライフのための空間の提供をはかった。



グレート岡山ゴルフクラブ

設計監理	A.R.I 建築事務所
施　　工	井原建設工業
所 在 地	岡山県御津郡建部町
建築面積	2,063㎡
延床面積	2,115㎡
構造規模	RC、2F
工　　期	昭和53年11月～昭和54年８月



新城カントリークラブ

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　三井建設
所 在 地　愛知県新城市金秋田
建築面積　2,424㎡
延床面積　3,224㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和49年 8 月～昭和50年 2 月

亀岡カントリークラブ

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　大林組
所 在 地　京都府亀岡市東別院町
建築面積　2,754㎡
延床面積　3,371㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和49年 3 月～昭和50年 6 月





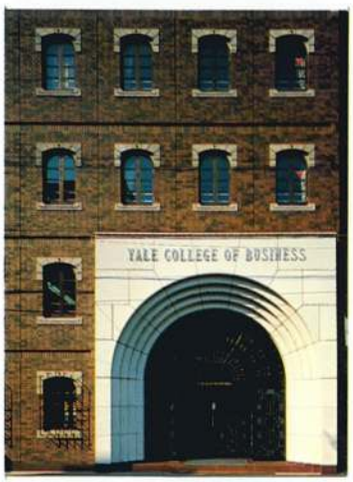
上本町大治ビル

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　大成建設
所 在 地　大阪市天王寺区生玉前町
建築面積　209㎡
延床面積　1,758㎡
構造規模　S、9F
工　　期　昭和61年 5 月～昭和62年 3 月

都ホテル上六、大阪国際交流センター等の建設により国際色ある新しい街へと変貌しつつある大阪上本町の一画、千日前通りに面した敷地に建つテナントビルである。計画にあたり、変貌しつつある街並の中で新しい表情の創出と将来の景観をリードするデザインを目指した。
建物は奥行のある細長い敷地の両端に竪コアを設けた平面配置である。前面コアは半円形の外観とし、中央に配したEVシャフトをシースルーにして高さを強調、塔屋、広告塔を円筒形にして街並にそびえるシンボルタワーをイメージしたデザインとした。外壁はグレーのラスタータイル貼プレコンパネルと横長の連続窓で水平ラインを構成し、窓の上下にステンレス鏡面の帯金物を納め、軽快で、時として優雅な輝きを放つファッショナブルな外観とした。

エールビジネス専門学校

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　榎並工務店
所 在 地　大阪市浪速区船出町
建築面積　316㎡
延床面積　2,115㎡
構造規模　S、7F
工　　期　昭和57年 9 月～昭和58年 4 月







上新電機㈱本社ビル

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　竹中工務店・大末建設JV
所 在 地　大阪市浪速区日本橋
建築面積　690㎡
延床面積　5,185㎡
構造規模　S、8F
工　　期　昭和55年10月～昭和56年６月



上新電機㈱J&Pメディアランド

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　淺沼組
所 在 地　大阪市浪速区日本橋
建築面積　301㎡
延床面積　1,997㎡
構造規模　S、7F
工　　期　昭和60年12月～昭和61年10月

関西外国語大学クラブ館

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　栗本建設工業
所 在 地　枚方市大字小倉
建築面積　622㎡
延床面積　3,693㎡
構造規模　S、8F
工　　期　昭和58年１月～昭和59年２月





関西外国語大学谷本国際交流記念館

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　栗本建設工業
所 在 地　枚方市片鉾本町
建築面積　1,205㎡
延床面積　2,449㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和56年10月～昭和57年９月





大阪府自動車整備会館

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　淺沼組
所 在 地　大阪市住之江区南港東
建築面積　281㎡
延床面積　1,719㎡
構造規模　S、7F
工　　期　昭和60年10月～昭和61年６月

当会館は大阪南港複合ターミナル地区の業務用地の中心に位置し、周囲には自動車関係の事業所も多く自動車関係団地が形成されている。
今回の第一期工事は大阪府の自動車整備振興会と同商工組合の事務局機能の結集と業界側と自動車ユーザーとのコミュニケーション空間で、且つ近畿及び西日本全域の中枢機能ともなる自動車整備本部として建設された。現在第二期工事として自動車産業の進歩に対応できる整備士教育機能を持つ教育センターの工事が着工され、完成の暁には業界の将来の発展に大いに寄与する施設になる予定である。
建物は自動車のメカニカルなイメージを象徴したデザインでファサードを決定づけ、会館機能の表出をはかった。外壁パネル及び横のラインを強調する化粧モールディング金物はメタリック調の仕上とし、時として輝き、又静かな深みを与える最新形のフォルムを構成した。



帝塚山考古学研究所

設計監理　A.R.I 建築事務所
施　　工　大林組
所 在 地　奈良市帝塚山
建築面積　360㎡
延床面積　847㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和58年８月～昭和60年３月



A.R.I建築事務所近作集

創立25周年記念

広告目次

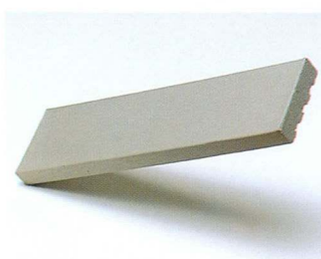
織部製陶…… 60
浪速建材工業…… 61
ユニオン…… 62
大林組…… 63
鴻池組…… 64
清水建設…… 65
大成建設…… 66
竹中工務店…… 67
淺沼組…… 68
栗本建設工業…… 68
間　組…… 69
村本建設…… 69
小野田デュロックス…… 70
コクヨ…… 70
コトブキ…… 71
日本ファイリング…… 71



鉄、ニッケルとともに磁器やガラスの青色着色材料として、コバルトは古代エジプトでも既に使用されていたと言われています。この美しいブルーはマホメット・ブルーとも言われ、中国では唐時代において用いられはじめ、最も初期のベネチアンガラスにおいても美術史家によってその存在が証明されています。

このように、古代から愛用されていた歴史の長いコバルトですが、現在では、レンガタイルの着色材料としてはあまり使用されていません。何故でしょうか？ それは、コバルトが産出量の少ない重要金属であり高価であるため、主として産業廃棄物から採集される、低純度の原料で代用される場合が多く、焼成時の色ムラ、発色の不安定要素など技術面でも問題が少なくなかったからです。

このような悪条件のもとで、当社では、原産地ザイールから円高メリットを最大限に生かした直輸入により、よりリーズナブルに仕入れた良質の酸化コバルト(純度76%)と当社独自の焼成技術によりオリベ・コバルト・ブリックを開発、新しいオリジナル高級外装材として発表しました。



新感覚オリジナルタイル

オリベ・コバルト・ブリック

COBALT

◀ **COBALT BLUE** コバルトブルー CO-6

olive
CERAMIC OLIVE INC.
セラミックオリベ

織部製陶株式会社

大 阪 〒550 大阪市西区北堀江1-5-2 新興産ビル
TEL 06・531-5021 FAX 06・531-5687

東 京 〒160 東京都新宿区三栄町19番地 竹田ビル
TEL 03・359-9461 FAX 03・359-9450

名古屋 〒489 愛知県瀬戸市陶生町16-6
TEL 0561・82-3067 FAX 0561・84-2520

オーダーメードサッシのナミケンです。
的確にご要望にお応えしています。

営業品目

アルミサッシ・ドア
スチールサッシ・ドア
カーテンウォール・間仕切
レボールウインドウ
交換(取替)サッシ



大阪明浄女子短期大学
設計…株式会社ARI建築設計事務所
施工…株式会社 間組

JIS表示許可工場

浪速建材工業株式会社

本　　社	〒550	大阪市西区新町1丁目4-26四ツ橋中央ビル3F	TEL06(533)3855(大代表)
大東工場	〒574	大阪府大東市中垣内7丁目248	TEL0720(72)2451（代）
東京営業所	〒101	東京都千代田区神田東松下町25ロールスビル	TEL03（256)4471（代）
滋賀営業所	〒520	滋賀県大津市におの浜3丁目4-46サカタビル	TEL0775(24)2539（代）
福岡営業所	〒810	福岡市中央区天神4丁目1－18サンビル	TEL092(761)3391（代）

建築のこころ伝わる確かな製品を

UNION

建築工事金物製品の

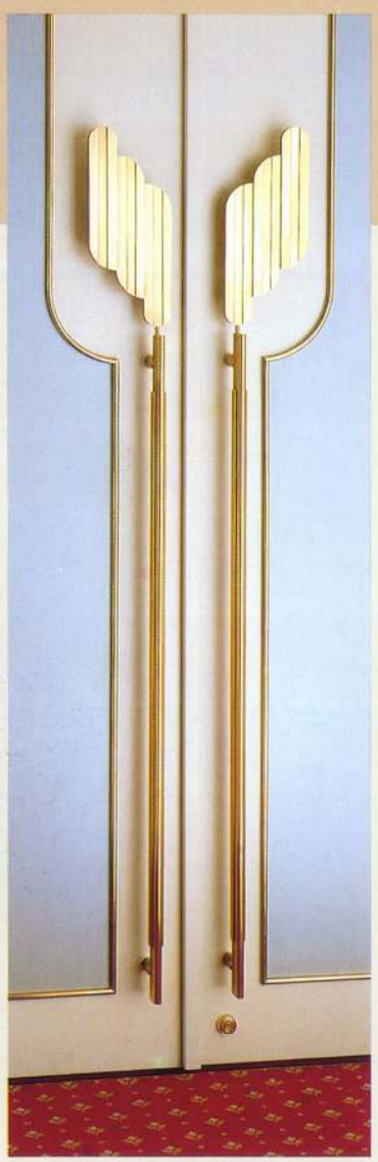
株式会社 ユニオン

●本社――――大阪市西区南堀江2-13-22
〒550 ☎06(532)3731㈹ FAX(533)3747
●大阪ショールーム――大阪市西区京町堀1-17-16
〒550 ☎06(443)6620㈹ FAX(443)6640
●東京営業所、ショールーム-東京都江東区白河2-9-5
〒135 ☎03(630)2811㈹ FAX(630)2816
●名古屋営業所――名古屋市東区筒井町1-14-9
〒461 ☎052(935)6021㈹ FAX(935)6023

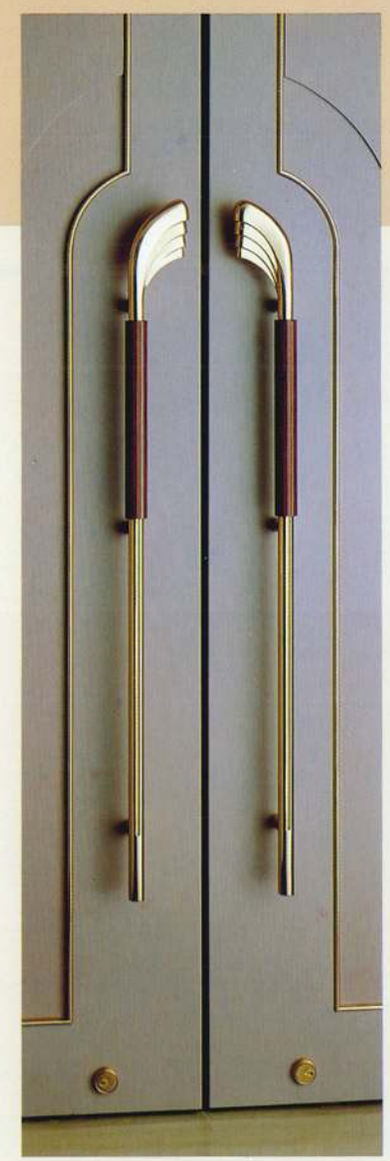
新鮮な驚きと感銘を与える建築には、そこに設計者の明晰な創意と、それを明確に伝えるための意志がしのばれます。それは、建築家からの時代へのメッセージであり、また問いかけでもあります。ユニオンは、そんな建築家の方々の創意や意図を的確に受けとめ、つねに安定した水準を維持しながら、堅実さと進取の精神を忘れることなく、名建築にふさわしい製品づくりに情熱を傾注しています。

堅実さと進取の精神で応えます。

ドアハンドル オーダーメイド







地球は文化の生命体

時代は
建築に息づいている

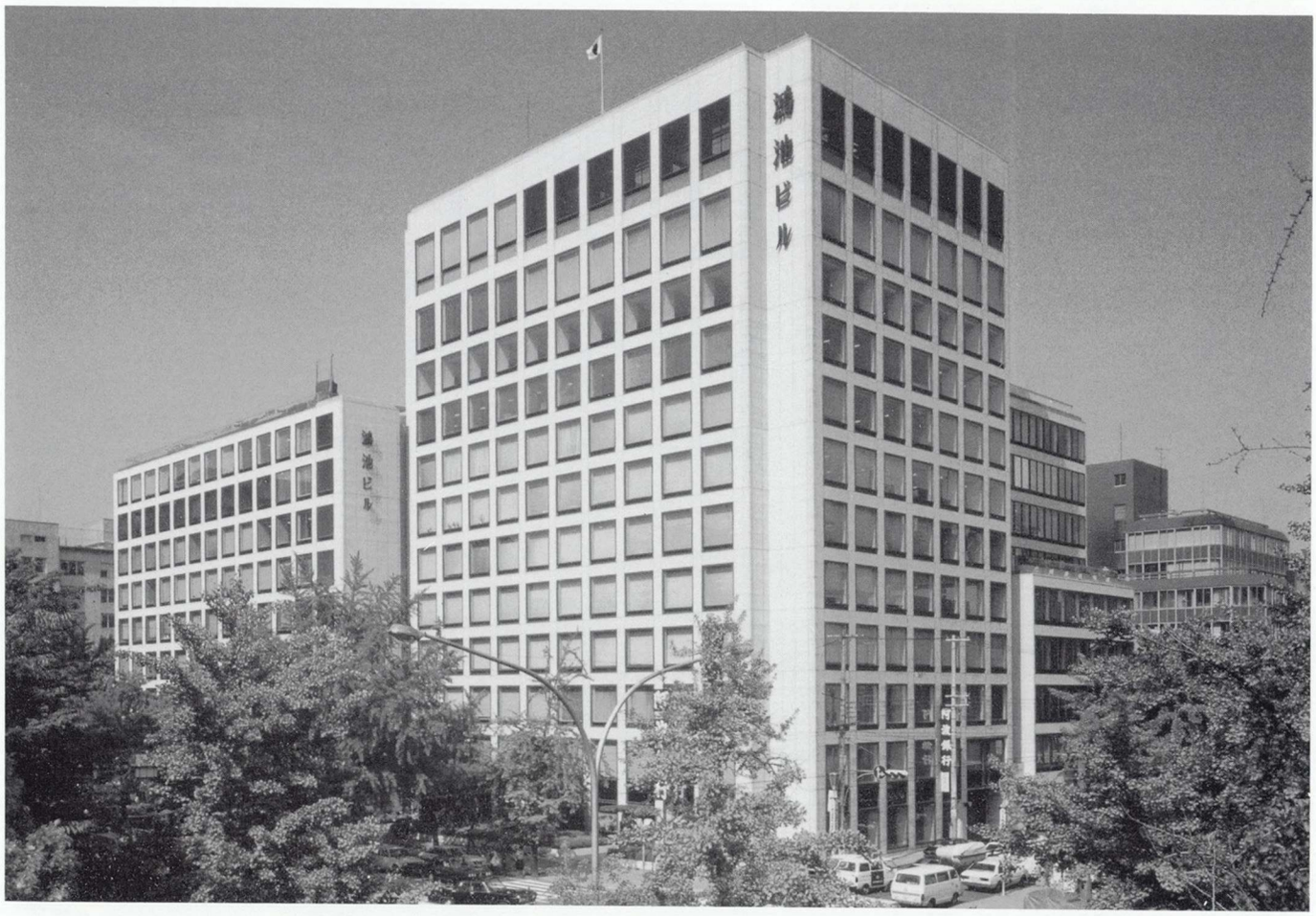
帝塚山大学経済学部校舎／設計★ARI建築事務所



大林組

東京本社
〒101東京都千代田区神田司町2-3
☎03■292■1111
本　店
〒540大阪市東区京橋3-37
☎06■946■4568

OHBAYASHI



21世紀を見つめ
明日を考える

株式会社 鴻　池　組

本社・大阪本店　大阪市東区北久宝寺町４丁目27番地
電　話　０６（２４４）３　５　００
東京本店　東京都千代田区神田駿河台２丁目３番地11
電　話　０３（２９６）７　７　００
支　　店　名古屋・広島・山陰・四国・福岡・南九州
神戸・京都・北陸・仙台・北海道・横浜・沖縄

プロジェクト交響曲

Engineering Constructor



シミズは、いわばオーケストラ。
エンジニアリング・コンストラクターとして、総合的にプロジェクトをとらえます。

弦楽器、管楽器……ひとつひとつのパートが重なり美しいハーモニーを奏でる交響曲。それは、演奏者の確かな技術と知識、さらに一糸乱れぬチームワークを持ってはじめてうまれます。まさに総合力がつくりだす調和。シミズもまた、あらゆるプロジェクトを一貫した流れの中でとらえ、最先端のニーズにも総合力で応えます。

エンジニアリング コンストラクター

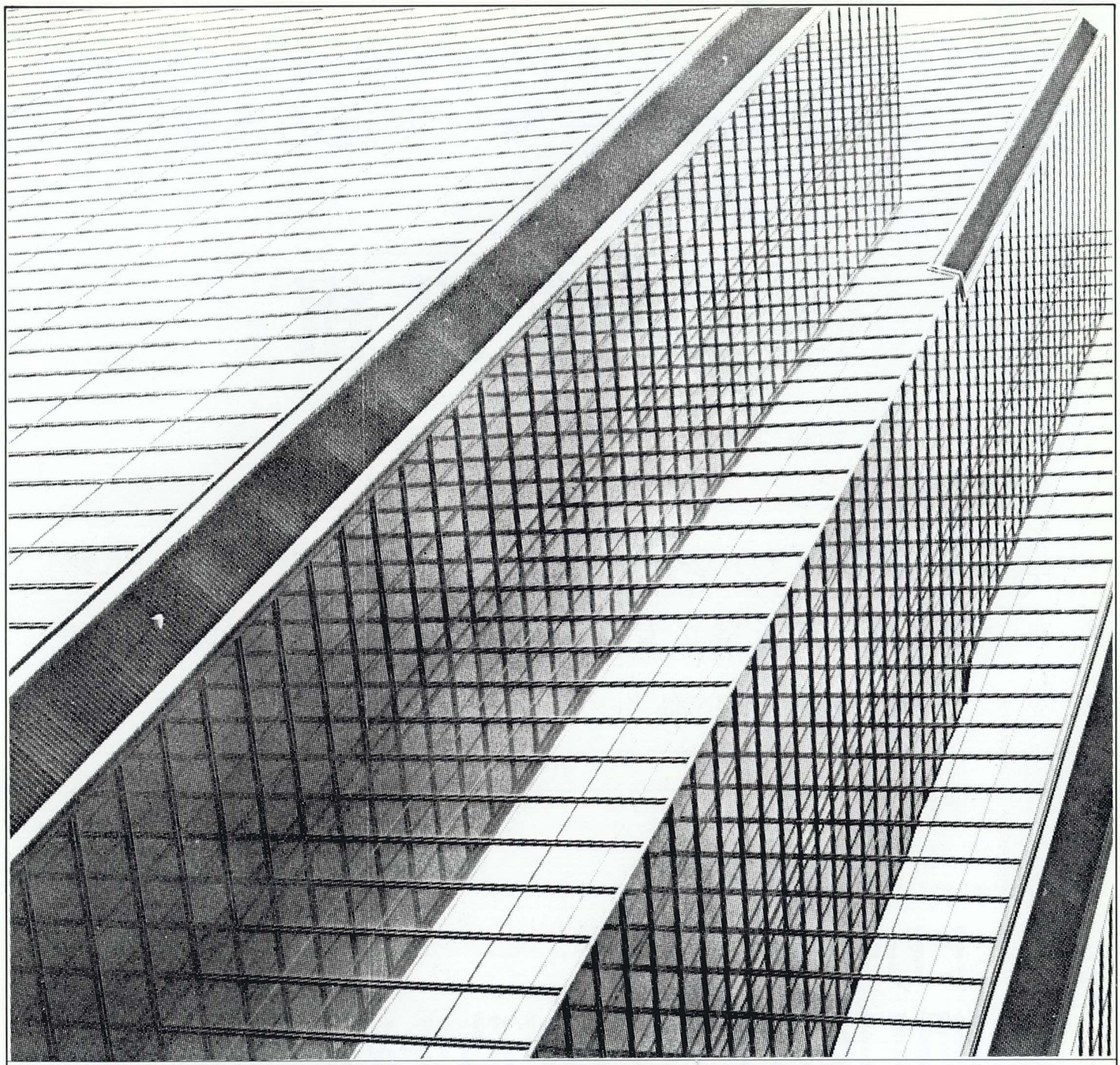
清水建設

本社：東京都中央区京橋2-16-1　〒104　TEL(535)4111
支店：横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・千葉

世界をみつめる。
日本をみつめる。
暮らしをみつめる。
明日をみつめる。
――――――――――――――大成建設です。

創造の「眼」

大成建設株式会社
取締役社長　里見泰男
専務取締役大阪支店長　平島治
本　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区北浜4丁目38番地　東京建物大阪ビル　TEL大阪(203)1131大代表
支　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国



独創力の竹中です。

高品質をめざす、独自の発想と技術。

創業1610年

TAKENAKA

竹中工務店

〒541 大阪市東区本町4丁目27　TEL 06(252) 1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1　TEL 03(542) 7100

未来をみつめ一歩一歩進みます

株式会社 淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本　社
大阪本店　大阪市天王寺区東高津町12-6　〒543　TEL 06(768)5222 大代表

東京本店　東京都新宿区荒木町5　〒160　TEL 03(357)0261 大代表

支　店　名古屋・札幌・仙台・横浜・広島・福岡

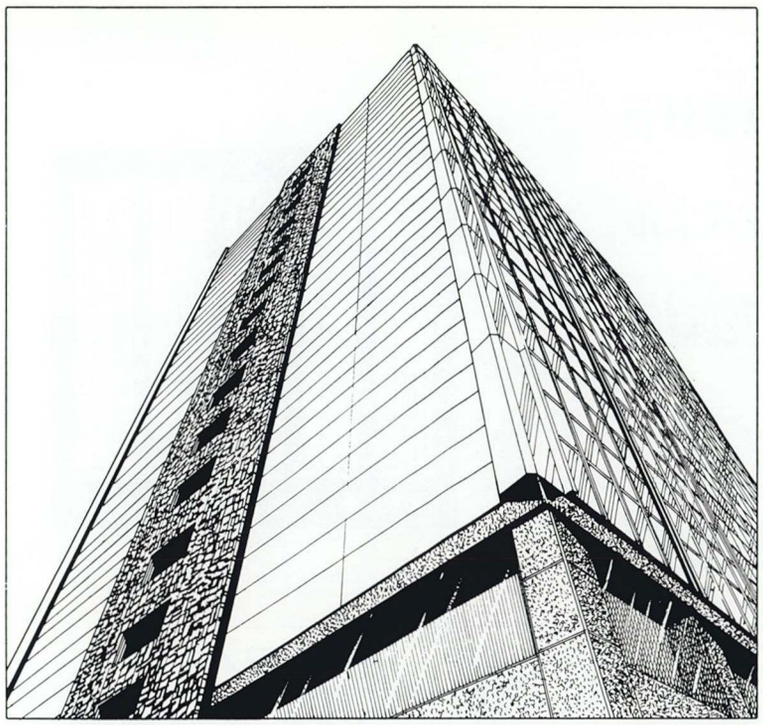
より豊かな
明日の社会の創造をめざして—

栗本建設工業株式会社

本　社　大阪市西区南堀江1丁目11番1号（〒550）
TEL (06)531－5801(大代表)
FAX (06)531－5760

支　店　北海道・東京・名古屋・北陸・神戸・広島・九州

営業所　帯広・三重・京都・姫路



HAZAMA
GUMI, LTD.

GENERAL CONTRACTORS
5-8, KITA-AOYAMA 2-CHOME,
MINATO-KU
TOKYO JAPAN
POHNE: (03) 405-1111
TELEX: 2422764 HAZAMA
CABLE ADDRESS:
HAZAMA-GUMI, TOKYO

ALL KINDS OF CIVIL & BUILDING
WORK BY UP-DATED TECHNOLOGY

心と技術で明日を築く

Muramoto

代表取締役社長 村 本 豊 嗣

村本建設株式会社

奈良本店 〒635 奈良県北葛城郡広陵町大字安部547番地 電話(0745)55-1151(代 表)
大阪本社 〒543 大阪市天王寺区四天王寺一丁目5番43号 電話(06) 774-2111(大代表)
東京本社 〒102 東京都千代田区二番町3番4 電話(03) 238-2111(受付台)
支 店 東北・横浜・名古屋・三重・中国・九州

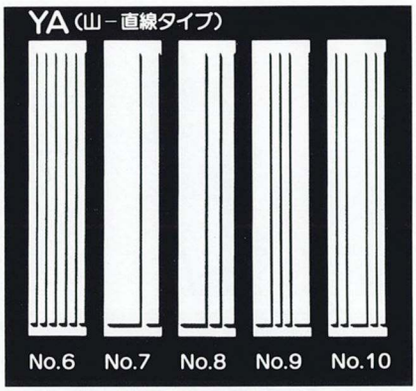
durox

豊富なバリエーションで創作空間を拡げる

デュロックス ファッションパネル

120種類

YA（山－直線タイプ）



いま、ファッショナブルに！

時を拡げ華やかさをプロデュース

ALC建築を変える新しい波

ALC建築は、いま大きく変わろうとしています。軽量、耐火、断熱等性能や機能だけで使われる時代は終わり、現在はプラス意匠。新しい可能性を追求した建物が次々に出現し、従来のALC＝600モデュール・平パネルという認識では全く理解できない時代になろうとしています。デュロックス ファッションパネルのデザインバリエーションは120種類、イメージ創りの範囲が大幅に拡がります。

小野田ALC デュロックス

株式会社 小野田デュロックス

大阪本店●〒530 大阪市北区曽根崎新地1-3-16（京富ビル）
TEL.（06）345－0051
●高松0878（22）6777●広島082（223）8191●福岡092（281）0359

KOKUYO



人との一体化——理想を求めて……

オフィスのOA化計画にそって、段階的に対応できるよう、一般ワークからOA対応までの幅広い製品群を同一デザインでシリーズ展開したKWタイプ。その上、一人ひとりの体位に合わせ、最も安全で快適な作業姿勢が得られるよう昇降機能をもたせるなど、人間工学の視点から存分な配慮がなされています。



コクヨ
KW型OAテーブル

コクヨ株式会社 ●本社・大阪統括本部・ショールーム 〒537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 ☎(06)976-1221
●東京統括本部・ショールーム 〒108 東京都港区港南1丁目8番35号 ☎(03)450-5111 ●支店／仙台・名古屋・九州



シーティング　スペシャリスト

Seating Specialist

コトブキ

●大阪支店/TEL.06-396-5111 〒532 大阪市淀川区西宮原1-4-1
●本社/TEL.03-591-1311(代) 〒100 東京都千代田区有楽町1-2-12(コトブキビル)

多彩な空間を活かす多・彩・な・シ・ス・テ・ム

スペースの生産性を高める日本ファイリングの優れた思想と確かな対応



時代のニーズに合った豊富なラインナップ。日本ファイリングは「より良い保管システムの創造」をテーマとして、研究開発に、新分野開拓にと、広範な活動を推し進めてまいりました。それは一方で多彩な標準製品となり、他方ではそれぞれのニーズに応じた専用システムを供給する技術力として蓄積されました。これが発展して、その分野独自の専用製品・専門システムとしてまとめられています。

- ●可動棚／スタックランナーシリーズ、フロントランナー
- ●図書館家具　ビブリオシリーズ、木製家具シリーズ
- ●文化財収蔵・展示設備／絵画ラック、展示パネル
- ●間仕切／パネラックN、クロスウォール、マルチウォール

よりよい保管システムを提供する

日本ファイリング

本　社：〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6(主婦の友ビル)
☎03(294)1751
大阪支店：〒542 大阪市南区南船場4-1-9(南船場第1東洋ビル)
☎06(271)3091
営業所：札幌011(241)8574　仙台022(297)5855　横浜045(651)2214
名古屋052(582)7075　広島082(246)8226　福岡092(721)7601

自然石100%の透水性床材

アートロック

〔アートロック〕は、大自然の河川から採掘された自然石を、モチーフとした新しいタイプの舗装材です。透明な特殊エポキシ樹脂で接着されたひとつひとつの小石の構造は、無数の空隙ができるため、瞬時に水を透過させます。したがって従来の舗装材に見られる水たまりや、水はねがなく、雨水等も大地へ自然に還元させます。

これまで、単調な舗装仕様が一般的であった公園園路やプールサイドをはじめ、各種施設の雰囲気をこの新しい舗装材「アートロック」により変えることができるようになったわけです。

都市環境と建築の質とのかかわりあいに関心が高まる明日の時代にむけて一度演出してみてはいかがでしょう。

1 特長

1). 透水性・通気性に優れています。

小石と小石の接着面以外は、無数の隙間ができます。床面に流れてきた水は瞬時に透過し、流れてます。コンクリートやその他の床材のように、表面に水がたまることはありません。

2). 柔軟性に富み、耐久力も抜群。

点接着のため弾性力に富み、心地よい歩行感が得られ、重量や振動を原因とするクラックの心配もなく、車輌通行も可能です。

3). いつまでも美しい仕上がり。

結合力の高い特殊エポキシ樹脂を用いているため、自然石を高い強度で保持します。また固化された自然石は、化学物質や汚染物質に対して高い抵抗力を持ち、自然石の美しい色あいを長く保ちつづけます。

4). スピーディーな仕上がり。

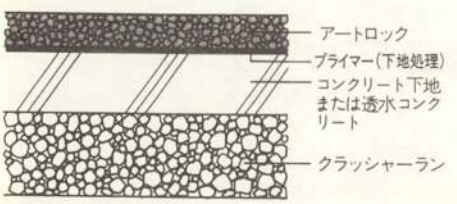
特殊エポキシ樹脂は、低粘度タイプで、混合しやすく、硬化時間も速硬化で、20℃以上の温度での施工の場合は、翌日歩行ができます。

5). 抜群の耐寒・耐熱性。

エポキシ樹脂で覆われた施工表面は、真夏の直射日光や厳寒時の気温変化にも無理なく耐えます。

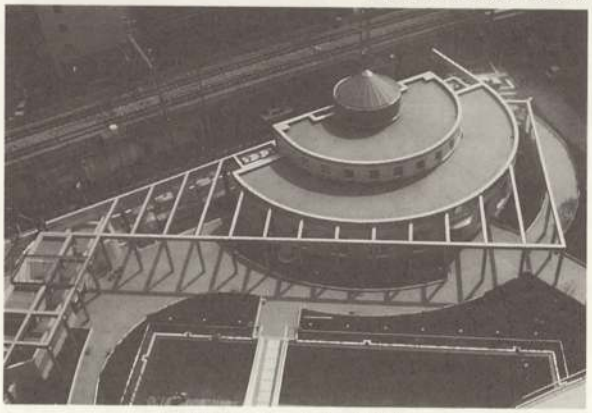
2 標準仕様

標準仕様を下図に示します。





世田谷区立美術館（東京）



梅田センタービル（大阪）



吹上浜海浜公園（鹿児島）



国営昭和記念公園（東京）

3 基本物性

アートロック用樹脂の強度変化

	養生直後	200時間照射後	試験方法
圧縮強度 (kg/cm²)	391.8	293.8	JIS K-6911
曲げ強度 (kg/cm²)	139.5	97.7	JIS K-6911
引張強度 (kg/cm²)	216.0	158.2	JIS K-6911

アートロックの強度変化

	養生直後	200時間照射後	試験方法
圧縮強度 (kg/cm²)	108.5	106.4	JIS A-1108
曲げ強度 (kg/cm²)	64.5	63.2	JIS R-5201

4 主な用途例

- プールサイド
- 遊歩道、歩道橋、側道
- 公園園路、池、流れ
- 建物アプローチ、ポーチ、バルコニー、エントランス
- 駐車場、庭園

5 代表的な施工例

全国大学入試センター	昭和58年4月
全日空万座ビーチホテル	昭和58年4月
東京ヒルトンホテル	昭和59年6月
国営昭和記念公園	昭和60年4月
世田谷区立美術館	昭和60年12月
北九州志井公園	昭和61年6月
建部観光レクリエーション	昭和61年6月
梅田センタービル	昭和62年3月
吹上浜海浜公園	昭和62年5月

株式会社
エムアンドエム

〒104 東京都中央区新富1丁目4番1号
TEL. 03—551—1031(代)
FAX. 03—551—1049

建築と社会
第68集総目録
1987
(昭和62年)

社団法人 日本建築協会

特 集 号

入浴物語……1
腐食……2
創立70周年記念号(附録「大阪モダニズムの精華」)……3
躍動する東海へ……4
保管・貯蔵施設……5
室内の仕上床……6
駅……7
行政建築家の可能性……8
シティホテルの設備—客室・宴会場を考える—……9
宝塚の街づくり—逆瀬川駅前地区市街地再開発事業—10
建物と街並みの接点—建物の外構—……11
第34回青年技術者……12

作品作風・新建築

●官公署

広島市庁舎……1
設計監理：広島市・安井建築設計事務所
施工：大林組・フジタ工業・奥村組・増岡組・上野谷建設共同企業体—新本庁舎
フジタ工業・日成建設・創建工業共同企業体—南庁舎

板橋区庁舎……6
設計：安井建築設計事務所
監理：板橋区役所庁舎建設部・安井建築設計事務所
施工：大成・飛鳥・丹勢・昭和建設共同企業体

●学校建築

椙山女学園大学星が丘キャンパス……4
設計施工：清水建設名古屋支店

樟蔭女子短期大学……5
設計：大建設計　施工：大林組・中和開発共同企業体

AST関西経理専門学校……12
設計施工：鹿島建設

●文化・スポーツ・社会福祉施設

サントリーホール……1
設計監理：安井建築設計事務所　施工：鹿島建設

呉市中央図書館……1
設計：日建設計　監理：呉市建設局技術部建築課・日建設計
施工：増岡組・大之木建設共同企業体

高松市総合体育館……1
設計：日建設計・大阪本社　施工：鹿島建設

堺市総合福祉会館……1
設計監理：堺市建築部建設課・昭和設計
施工：戸田建設・西川建設共同企業体

大阪府立体育会館……5
設計：大阪府建築部営繕室・日建設計
監理：大阪府・大阪府建設監理協会・日建設計
施工：大林組・戸田建設・鴻池組・村本建設

万博記念競技場メインスタンド……6
設計監理：日本万国博覧会記念協会・富家建築事務所
施工：大林組・奥村組・佐藤工業・戸田建設共同企業体

佐賀県総合体育館……7
設計：日建設計・石橋建築事務所設計共同企業体
施工：松尾建設・中野建設・上龍建設共同企業体（大競技場・武道場）、豊栄建設・宮田建設共同企業体（小競技場）

京都府総合見本市会館—パルスプラザ……7
設計：京都府土木建築部営繕課、地域計画・建築研究所、東畑建築事務所共同企業体
施工：竹中・増田・橋詰・木津共同企業体（ホール棟）
豊国・藤井・後宮共同企業体（展示棟）

神戸海洋博物館……8
設計：神戸市港湾局・日建設計　監理：神戸市港湾局
施工：青木建設

高塚ゴルフセンター……8
設計監理：神戸市開発管理事業団　施工：熊谷組

大阪国際交流センター(パース掲載)……8
設計監理：大阪市都市整備局営繕部・日建設計

須磨海浜水族園……10
設計監理：神戸市営繕部・大建設計　施工：飛島建設

大阪国際交流センター……10
設計監理：大阪市都市整備局営繕部・日建設計
施工：竹中工務店・淺沼組・モリタ建設建設工事共同企業体

マイドームおおさか〈大阪中小企業振興センター〉……11
設計：日建設計
施工：大林組・竹中工務店・錢高組・鴻池組共同企業体

●ホテル

ホテルシェレナ……1
設計：コスモ設計・環境再開発研究所　施工：長谷川工務店

ホテルニューオータニ大阪……2
設計監理：日建設計　施工：竹中工務店

吉本ビルディング(大阪ヒルトンインターナショナル・ヒルトンプラザ)……2
設計施工：竹中工務店

京都宝ヶ池プリンスホテル……4
設計：村野・森建築事務所　施工：竹中工務店

ホテル九重……12
設計施工：竹中工務店

●業務ビル

大阪ガスコンピューターセンター……1
設計監理：安井建築設計事務所　施工：大林組

西船場辰巳ビル……2
設計：東畑建築事務所　施工：竹中工務店

阪神電鉄PTCセンター……4
設計：阪神電鉄工務部建築課・大建設計
監理：阪神電鉄工務部建築課　施工：阪神土木工業

大和證券大阪支店ビル……4
設計：三菱地所　施工：鹿島建設

KARIMOKU SHOWROOM……4
設計：浦野設計　施工：清水建設

兵庫布引ビル……6
設計施工：清水建設

モードオリオン新本社ビル……7
総合監理：丸紅　設計：東畑建築事務所　施工：大成建設

信栄商会ビル……7
設計：昭和設計　施工：清水建設

ユニオン東京ビル……7
設計：日建設計　施工：竹中工務店

ミノルタカメラ厚木開発センター……7
設計：安井建築設計事務所　施工：大成建設

梅田UNビル……9
設計：鹿島建設　施工：鹿島建設・東急建設共同企業体

道修町第一ビル……12
設計施工：鹿島建設

●複合ビル

サンシティ池田—池田駅前南地区第1種市街地再開発事業……6
実施設計・監理：東畑建築事務所
施工：竹中工務店・熊谷組共同企業体

梅田センタービル……7
設計施工：竹中工務店

サウスホレストビル……9
設計監理：久米建築事務所　施工：大林組・清水建設共同企業体

アピア1、2……10
設計監理：安井建築設計事務所
施工：新井組・大林組・鴻池組建設共同企業体

アピア3……10
設計：安井建築設計事務所　監理：関西都市整備センター
施工：竹中工務店・戸田建設・新井組建設共同企業体

●医療施設

小山田記念温泉病院……1
設計監理：藤川建築設計事務所・東畑建築事務所
施工：大成建設名古屋支店

松江生協病院……2
設計監理：昭和設計
施工：大成建設・幸陽建設・林谷工業・東建設共同企業体

春田歯科……7
設計監理：徳岡昌克建築設計事務所　施工：徳岡工務店

兵庫県立成人病センター……8
設計監理：兵庫県都市住宅部営繕課、設備課
施工：前田建設工業(1期)　前田建設工業・明石土建特別共同企業体(2期)

大阪がん予防検診センター……8
基本設計：大阪府建築部営繕室・建築計画総合研究所
実施設計：大阪府建築部営繕室
監理：大阪府建設監理協会　施工：竹中工務店

●地下街

Whity うめだ……7
設計：大建設計　施工：大林組

●その他

大同生命大山ロッジ……2
設計施工：清水建設

明石愛老園養護老人ホーム……4
設計監理：光安建築設計事務所　施工：入勢建設工業

ポートハウス……4
設計：名古屋港管理組合・東畑建築事務所
監理：名古屋港管理組合営繕事務所　施工：矢作建設工業

庄内緑地グリーンプラザ……4
設計：名古屋市営繕課・安井建築設計事務所
監理：名古屋市営繕課　施工：戸田・犬飼建設特別共同企業体

愛知県赤十字血液センター……4
設計指導：名古屋大学工学部柳澤研究室
設計監理：伊藤建築設計事務所　設計協力：建築計画連合
施工：鴻池組・信和建設建設共同企業体

第二電電名古屋ネットワークセンター……4
設計：日本総合建築事務所　施工：大林組名古屋支店ほか

富士カントリー可児クラブ美濃コースクラブハウス…4
設計：岡設計名古屋支店　施工：東海興業

オリエント・リース高槻寮……6
設計監理：徳岡昌克建築設計事務所
施工：不二建設・徳岡工務店共同企業体

大阪府寝屋川水系改修工営所……8
設計：大阪府建築部営繕室・徳岡昌克建築設計事務所
監理：大阪府建設監理協会・徳岡昌克建築設計事務所
施工：水間組

大阪バイオサイエンス研究所(パース掲載)……8
設計監理：大阪市都市整備局営繕部、丹下健三・都市・建築設計研究所

スリランカ民主社会主義共和国必須医薬品製剤センター……12
設計：日建設計・藤沢薬品工業共同企業体　施工：竹中工務店

辰口温泉ファミリーヴィラ……12
設計監理：泉沢建築設計事務所　施工：真柄建設

スケッチブック

1999.向日市民体育館／2000.鐘紡繊維美術館／2001. 昭和アルミニウム彦根箔加工工場／2002.千趣会甲子園物流センター／2003.江戸川区立一之江コミュニティ会館／2004.六甲グランドヒルズ3号館／2005.益田地域医療センター医師会病院／2006.神戸学院女子短期大学林山学舎／2007.コープ野村ウィンディ北千里……2
2008.名古屋市枇杷島スポーツセンター／2009.名古屋市山田工場／2010.新日本法規大阪ビル／2011.十六銀行平湯保養所／2012.多治見市総合体育館／2013.ライオンズマンション八事石坂／2014.大垣ステーションビル／2015.天林寺本堂・庫裡／2016.世界心道教本部祖霊殿／2017.ホーユー瀬戸工場／2018.犬山市文化史料館／2019.名古屋電元社西春工場本館／2020.石川商事ビル／2021.東海銀行鳴海支店／2022. 東海銀行稲葉地倉庫第3棟／2023.三重銀行橋南支店／2024.北國銀行山中支店／2025.桑名信用金庫蟹江支店……4
2026.青野ダム管理所／2027.富山県高岡文化ホール／2028.香川県身体障害者総合リハビリテーションセンター療育部門／2029.いなみ野学園大講堂／2030.富山県工業技術センター／2031.鹿児島市庁舎東別館／2032.岐阜県社会保険診療報酬支払基金／2033.広島市佐伯消防署／2034.富士通ゼネラル研究所……5
2035.国立国会図書館新館／2036.福岡県教育センター宿泊棟／2037.グランドメゾン東香里／2038.太宰府市中央公民館・図書館／2039.那覇市民体育館／2040.太融寺不動堂他客殿／2041.田原本警察署庁舎／2042.ショッピングセンターベルシティー／2043.京都市消防局本部庁舎……6
2044.愛知コクヨ本社ビル／2045.府立宮津ヨットハーバー／2046.創価学会関西戸田記念講堂／2047.亀岡市民体育館／2048.館林市三の丸芸術ホール／2049.枇杷島スポーツセンター・市営住宅枇杷島荘／2050.博多箔絃ビル／2051.守山市市民文化会館・守山市立中央公民館／2052.日本ルセル白河工場

建築と社会 第68集 1987年（昭和62年1月号—12月号） 総目録

号

……7
2053.ダイヤモンドカントリークラブ美術迎賓館／2054.豊田市猿投棒の手広場／2055.熱海ニューフジヤホテルアネックス／2056.アメリカ総領事館／2057.アメリカ外交官集合住宅／2058.大和生命長崎ビル／2059.アセンズ新大阪／2060.鶴岡市斎場／2061.角座……8
2062.ユニウェルビル／2063.北陸大学外国語学部／2064.三栄金属本社ビル／2065.吹田市立総合福祉会館・保健センター・保健会館／2066.サンマリーナホテル／2067.石川県営平和町共同住宅／2068.アークホテル岡山／2069.美和町総合福祉センター・ひまわり作業所……9
2070.日本生命京都ヤサカビル／2071.田辺町役場／2072.枚方市立御殿山美術センター・御殿山図書館／2073.ベルパークシティー・トライスタワーⅠ／2074.六甲山高山植物園映像館／2075.ホテル海の中道／2076.各務原市文化センター／2077.青柳八事フルール／2078.ラジウム温泉太山寺（増築）／2079.桑名信用金庫阿下喜支店……10

特別企画

大阪府立体育会館
大阪府立体育会館グラビア（作品作風欄に既載）……5
建築計画／大泉研二・二本柳法生……5
構造計画／山口猛……5
空調設備計画／大高一博……5
電気設備計画／藤岡茂……5
施工／岩井正次・藤井孝晏……5

昭和設計作品集—創立30周年記念—
宝塚市立図書館・ベガホール／阿倍野Ｂ１地区市街地再開発事業（阿倍野ベルタ）／ヨツギビル／三栄金属本社ビル／中華人民共和国駐大阪総領事館／ヒョウゴファー協業組合氷上工場／星電器製造神戸テクニカルセンター／ノーリツ中央研究所／ワールド記念ホール／神戸総合運動公園野球場／宝塚市立病院／堺市総合福祉会館／尼崎市老人ワークセンター和楽園／羽曳野市立保健センター・休日急病診療所／芦屋市立保健センター／高砂市福祉保健センター／フジッコ鳴尾工場／昭和アルミニウム彦根箔加工工場／フレッシュ阪神集配所／千趣会甲子園物流センター／田所テック東京コイルセンター／大阪市住宅供給公社佃第３コーポ／グランドメゾン東香里／神戸市都市計画住宅三宮東ハイツ／六甲アイランドシティプロジェクト／西宮市総合福祉センター……11

ARI建築事務所近作集……12
帝塚山大学経済学部／大阪明浄女子短期大学／帝塚山学院短期大学／帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校／船場西大治ビル／トヨタカローラ奈良㈱富雄営業所／ライオンズカントリークラブ／グレート岡山ゴルフクラブ／新城カントリークラブ／亀岡カントリークラブ／エールビジネス専門学校／上本町大治ビル／上新電機㈱本社ビル／上新電機㈱Ｊ＆Ｐメディアランド／関西外国語大学谷本国際交流記念館／関西外国語大学クラブ館／大阪府自動車整備会館／帝塚山考古学研究所

入浴物語

新春風呂談義
東畑謙三／ポンペイの浴場跡をみる……1
西山夘三／城崎のまちづくり……1
落合茂／ゆあみのうた……1
保坂陽一郎／浴室—東西文化の融合へのみち…1

座談会
風呂と入浴物語…大場修・西井弘和・髙田公理…1

エッセイ
西山夘三／牟婁の湯—白浜の大衆浴場—……1
竹原義二／地域に根ざした銭湯—延命湯—……1
副島雅行／今、何故か健康センター……1
岩崎輝雄／求められる“クアオルトロジー”に思う……1
山田義之／露天風呂……1
山崎　猛／お風呂こぼれ話……1
川村耕造／温泉を地域の住民に開放—小山田温泉物語—…1
川村真次／集合住宅の風呂……1
松島信雄／庶民生活と銭湯……1

外人留学生よりの入浴談義
イブラヒム・マブルーク／エジプトの風呂・温泉．Somnuke Praparntanatorn／タイの“bathing”．于穎／中国の銭湯の伝統的なサービスコース．李相浩／韓国の入浴、沐浴そして私．オスマン・タニム・タンコ／ガーナの入浴……1

事例
今おもしろい“温泉”見てあるき……1

ルポ記事
健康ひろば加古川／温泉町リフレッシュ館／ヘルスライフ京都／金閣寺湯／ゆーとぴあ／西郷コミカ温泉／御三軒湯／清水湯／塚口温泉……1

アンケート事例
クアハウス屈斜路／和賀町立夏油温泉館／財団法人片倉館／クアハウス碁点／滋賀トロン保健センター／霊山寺薬師湯殿……1

資料篇
KURAHAUS……1

腐　食

総論１
建築設備の腐食・防食概論—金属材料の腐食・防食……宮瀬　淳…2

総論２
腐食のメカニズム……門井守夫…2

各論
管材の腐食と対策……松野徹朗…2
機器の腐食と対策……辻　忠男…2
電食とその対応……佃　進…2
配管の防食技術……新納清憲…2
建築設備、配管と水質管理……足立健治郎…2

創立70周年記念号

カラーグラビア
大阪モダニズムの精華—大阪の近代建築ディテール（別冊）……3

記念論文
大阪モダニズム変容の70年……向井正也…3

対談
大正・昭和初期の世相と建築—建築をめぐる自分史……3
出席者／白石登喜男・東畑謙三　司会者／足立孝

アンケート
最近20年間、そしてこれからの10年—建築、まち、くらし、社会を語る……3
21世紀の建築様式／原桂一郎．『心の豊かさ』／森内盛一郎．成熟社会への道／田中孝男．国際化・高付加価値の時代／藤縄正俊．地方に芽吹いたコンペ・エネルギー／牛山勉．ここらでゆっくり、手間ヒマかけて…／瀧光夫．今を考えつつ未来をさぐる／山本良介．この環境の変化に“働き”を出して…／志賀修一．都市の活力としての商業施設／藤田邦昭．群居—ゆたかな質感と表現をとりもどすために—／大野勝彦．人間社会近代化への「苦悩の時代」／広原盛明．暮らしの中の心痛むもの／田中恒子．「アンケート」／田中喬．失われた心象風景と地域性／櫻井敏雄．市民参加でマイナスデザインからの脱却を／恒成一訓．日常生活から文化が生みだされるために／喜多俊之．高齢化社会とストックの充実／右田紀久恵．セカンド東京になった大阪／宮本憲一．なりふり構まう都市づくりを／木津川計．失われた汀線／長尾義三．都市と緑のアメニティ／庄谷邦幸

年表
最近20年間の年表—建築界と建築協会の動き…3

躍動する東海へ

東海の建築作品（作品作風欄に既載）
スケッチブック（スケッチブック欄に既載）

座談会
東海のイベント……4
生田敦生／石原武／篠田恭彦／本一雄／藤原康司／由井求／中島一
支部の活性化を求めて……4
一圓俊郎／中島一／長谷部利夫／桝林宏二／松本壮一郎／林金之

東海の建築地場産業
織物—一宮—／滝一廣……4
合板—名古屋—／吉村幸司……4

保管・貯蔵施設

【１】物流倉庫……矢野禎一…5
【２】冷蔵倉庫……三橋　奨…5
【３】サイロ—石炭サイロを中心に—末兼正純…5
【４】駐車場—自走式積層駐車場、機械式駐車場—……坂本　勉…5
【５】貸金庫設備……高見宗次…5
【６】タンクと石油備蓄基地……来海寿巳／小坂正明…5

室内の仕上床

総論
室内床材料の現状と動向……小野英哲…6

各論
室内床材料と工法
オフィスビルの室内床材料と工法…桑原　茂…6
集合住宅の床仕上……藪下善弘…6
病院の床仕上……長岡　弘…6
工場の床仕上……大堀好昭…6
体育館のフロア……荻野栄一…6
クリーンルームの床材料と工法……伊藤　功…6

駅

総論
1.駅—その空間の意味—……紙野桂人…7
2.コミュニティ駅へ—鉄道側の論理を反省して……岩本樹雄…7

エッセイ
1.麻生芳伸　〔旅情〕のポイントとピリオド……7
2.野村　董　駅　えき　エキ…エトセトラ……7
3.野口英雄　オルセー駅から歴史の旅へ……7
4.河野浩行　降り立った13630駅＋αの中から…7

各論
駅舎の新しい展開
1.JR駅の新しい展開……宮本剛克…7
2.JR駅とまちづくり—二条駅の「再開発」計画……清水　肇…7
3.大阪の地下鉄駅舎—機能とデザインの変遷……鳥井豊秋…7
4.まちのシンボルとしての神戸地下鉄駅舎……森田　茂…7
5.移動空間としての京福電鉄駅舎……松浦行雄／小伊藤直哉…7
6.海外に新しい駅の展開を求めて—ヨーロッパの駅のデザイン……渋谷康雄…7

アンケート
わが駅●自慢の駅……7
道後温泉駅・浜寺公園駅・西宮名塩駅・庭瀬駅・朝倉駅・西宮北口駅・武庫川駅・宇治山田駅・北鈴蘭台駅・本荘駅・四条大宮駅・北条町駅・新三田駅・門司港駅・萱島駅・水間駅

コラム
各駅停車・駅あれこれ……7

行政建築家の可能性

作品（作品作風欄に既載）……8

総論
行政建築家の構想……巽　和夫…8
社会的建築計画の萌芽……高田光雄…8

各論
公共建築の役割の変容と新しい役割……8
営繕組織の制度的問題と改革の方向……8
技術力の水準と民間との交流……8
建築企画の充実……8
公共建築の管理の実情と「一部管理者」への道…8

ニュース
労働行政システム中央館（仮称）の建設方式—ダブル民治方式—／木村重……8
国際文化公園都市構想／松尾純……8

シティホテルの設備—客室・宴会場を考える

総論
シティホテルの客室と宴会場……山口菊治…9

各論●客室
客室の空調……徳永研介…9
客室の衛生—バスルームの現状と課題—……小柳卓治…9
客室の照明—体験的照明考—……吉田安子…9
客室の情報—ＡＶシステムによる客室のインテリジェント化—……小野　進…9

各論●宴会場
宴会場の光……森崎　実…9
宴会場の音と映像……高宮俊二…9
シティホテルの吊物等特殊設備……児玉正和…9

随想
客とホテル—もとホテル施設担当者のメモから……大川英一…9

建築と社会 第68集 1987年（昭和62年1月号―12月号） 総目録

号

宝塚の街づくり―逆瀬川駅前地区市街地再開発事業―

グラビア
逆瀬川駅前地区市街地再開発事業(作品作風欄に既載)
対談
宝塚市のまちづくりと市街地開発事業……
……友金信雄／多胡　進…10
総論
逆瀬川再開発の特徴……藤田邦昭…10
各論1
逆瀬川駅前再開発事業概要
逆瀬川駅前再開発の概要とプロセス…菅政男…10
逆瀬川駅前東地区再開発事業(公団施行)……
……宇治原邦浩…10
逆瀬川駅前地区市街地再開発事業(組合施行)……
……堂野前忠道…10
各論2
逆瀬川駅前再開発施設計画概要
公共施設、アビア1～3、店舗などの計画―広江和通／岡本弘次／刈田晃……10
市街地再開発の住宅……川村眞次…10
アンケート
逆瀬川駅前再開発によせて
文化人より―アビアが出来て思うこと／藤飯治平……10
商店主より―若者購買層の回帰／大宅正一……10
主婦より―環境整備が充分でない／秋沢珪子…10
若者より―洒落た空間創りを／藤澤容子……10
学生より―もうひとつの再開発／田所智子……10

建物と街並みの接点―建物の外構

【総論】建物と街並みの接点
街並みと外構……加藤晃規…11
【各論1】地域計画と外構―計画論―
1.大阪ビジネスパークにおける外構計画……
……松本敏廣…11
2.ベルパークシティの環境デザイン……
……今井哲也／嬉哲夫…11
3.ポートアイランドファッションタウンの外部空間計画……浅野高史…11
【各論Ⅱ】建物と外構―設計論・材料論―
1.子どものメイズ―アゼリアハウス「エトひろば」……上田　篤／田中充子…11
2.RE 1st―丘は丘でありえるように芝生を……
……大石義一…11
3.サントリーホールの外部空間……山口哲生…11
4.梅田センタービルのオープンスペース……
……岩本義夫…11
5.成晃学院摂津ひかり幼稚園の中庭……
……上原正行／茨木　保…11
6.吉本ビルディングのアトリウムとサンクンガーデン……小川清一…11
7.ポケットパーク―府立青少年会館「ヤング・スクエア」……吉羽逸郎／河野哲夫…11

第34回青年技術者

設計部門……12
久保　清一　装冠の建築Ⅰ―田村邸、装冠の建築Ⅱ―N·I·B·C、装冠の建築Ⅳ―café de SAGAN、装冠の建築Ⅴ―TEA & GRILL DOREMI·fa、装冠の建築Ⅵ―ROSE DECK
赤木　隆　近鉄堂島ビル、近鉄堂島ビル公開空地、A計画、西鉄福岡祇園ビル
桜井　則雄　神戸岡本ビル、O社神戸ハーバーランド計画、大塚製薬健康保険組合阿蘇保養所
桜井　信雄　J.G.A.ゴルフミュージアム、御影山手アーバンライフ、T社宅、I邸
構造部門……12
浮田　高志　太陽神戸銀行神戸本部ビルの構造設計
長谷川保善　武庫川学院文学3号館の構造設計
山本　貞次　御堂筋グランドビルの構造設計

号
設備部門……12
大高　一博　大阪城ホールの空気調和設備
山崎　慶太　クリーンルームの防災設備―松下電器産業㈱半導体研究センター
施工部門……12
広瀬　清豪　大阪府立体育会館大屋根横引工事の計測管理
高畑　顯信　高層RC造集合住宅に用いられる高強度コンクリートの品質管理
その他部門……12
小杉　正博　施工図自動製図システムの開発
計画部門……12
山本　光良　六甲アイランド都市機能用地分譲事業計画、阿倍野地区第2種市街地再開発事業Aブロック基本計画、ワールド記念ホール

建築の眼

和式バス付高級ホテルのすすめ．多様化新時代．佐賀平野．場のデザイン……1
都市生活享受型居住立地限定階層．現場の気くばり．学校．ライフサイクル……2
集合住宅計画をもっとリッチに．ザ・街なかの美観．ある街並．臨場感……3
需要論と必要論．時代の流れ．改造工事．パーソナルサービス……4
都市型公営住宅の建設基準．映像文化の普及．空白．コンテキストの始まり……5
建築の研究・開発は関西から．空間の美．星空．或る芸術……6
以上 巽和夫・古林敏郎・谷淳之介・美濃吉昭
おしゃべり椅子．引っ越しの理由．夢(その1)．水辺のネットフェンス……7
中世の姿勢．セカンドハウス．夢(その2)．野鳥のすみか……8
ロココの安楽．国内居住年．住まいと闘うことの意味は…．集合住宅……9
ハイテックベッド．美しい国土．指名コンペなるものニュータウン……10
背中の個性．人と車．行政技術者への期待．高齢化社会の住宅……11
もっと、インテリアを！．終の住処．コンペの最終案決定を市民投票で．都市住宅……12
以上 加藤力・高木登・谷山隆・田中弘成

構造の頁

143.新しい制震構造に向けて―ダイナミックインテリジェントビルの提唱―／小堀鐸二……1
144.粒状氷コンクリート／鈴木敏郎・滝口克己……2
145.X線による非破壊検査の原理と画像処理の実際(その1)／長谷川敦史……3
146.X線による非破壊検査の原理と画像処理の実際(その2)／長谷川敦史……4
147.氷のドーム／粉川牧……5
148.ケーブルドーム／河合良蔵……6
149.スペースフレームのエコノミー分析／今井克彦・渡邊誠司……7
150.鉄骨柱埋込み形式柱脚の設計の考え方／田渕基嗣……8
151.龍神村村民体育館の構造／川崎福則……9
152.超高耐久性コンクリート―その1／斉藤俊夫……11
153.超高耐久性コンクリート―その2／斉藤俊夫……12

設備の頁

147.アンダーカーペット配線システム／増岡信雄…2
148.ガスによるコージェネの現状と発電機システムのパック化／藤野耕一……3
149.病院内の通信設備―病棟のコミュニケーションシステム／牧野稔……4
150.帯電エア・フィルタ／岩崎直勝……6
151.透湿膜式加湿器／人見不二夫……7
152.個別空調システム／岩見健一……8
153.太陽電池電源装置／吉田学……9
154.OAフロアー二重床配線／川崎久和……10
155.建築設備配管腐食の物理的防錆方法／木村靖…11
156.コア内蔵型ねじ込み式管端防食継手／棚橋勝司12

施工材料の頁

146.P―JOISTスラブ構法／中山康志……2
147.アブレイシブジェットによる鉄筋コンクリートの切断／石橋豊治……3
148.遠心スラブ工法／添野建一・丸岡義臣……4
149.ねじ連続打込機―PAKOT工法―／小山昇……5
150.新ガラス繊維補強コンクリート(新GRC)―その1／秋浜繁幸・小川邦寛……6
151.新ガラス繊維補強コンクリート(新GRC)―その2／秋浜繁幸・小川邦寛……7
152.超高圧ウォータージェットによる剝離・洗浄工法／山村洋史……8
153.超耐候性アクリルシリコン塗料／竹内和夫……9
154.乾式耐火遮音戸境壁工法／加藤宗男……10
155.鏡面タイル／秋本良樹……11

法令コーナー

220.建築士を対象とする指定講習制度／三木俊介…1

新建材紹介コーナー

137.「プラスウォール」／猪野達雄、「ヒビガード」「パリックFP-100」／中原泰……1
138.「ヘーベルグランデ」／轟泰輔、「スタッコ・ベースネット工法」／尾松一夫……2
139.Field-GRC(中山製鋼所)／長橋英彦……3
140.亀裂自閉性樹脂防水材「パラテックス」／小西努4
141.セラミック系人造木材「エースライト」／尾松一夫……5
142.アガトス／猪野達雄……6
143.ラムコシート／岡山信……7
144.サン・ストップ／元木貞次……8
145.GL-C·B防カビ材、スーパーバイオ殺菌剤／岡本長城……9
146.アーキス・ガーデン・システム〈人工地盤の緑化アクアソイル工法〉／松本章……10
147.ノイズレスヒンジ、グレビティヒンジ／中川徹…11

GBRCニュース(日本建築総合試験所だより)

排煙排ガス処理装置新規購入機器紹介……1
熱式無指向センサーを用いた風速計……2
乾式石張り工法非耐力外壁の耐火性能試験結果……3
新規購入機器紹介―デジタルプログラム発信器……4
昭和62年度事業計画……5
建築技術安全審査委員会について……6
風洞実験用小型風向計の試作……7
火災時における合成床版のコンクリート内部温度に関する研究……8
各種床仕上げ材の床衝撃音遮断性能……9
新規購入機器紹介;イオンクロマトグラフ……10
受託試験におけるコンクリートの圧縮試験に関する調査…11
大阪府下特定行政庁連絡協議会制定「コンクリート工法に関する指導要綱」によるコンクリート用骨材試験業務開始のお知らせ……12

大先輩に聞く

浦辺鎮太郎(浦辺建築事務所)／高田光雄……1
小林清周／赤井富弘……3
小川正(元・竹中工務店)／北村恭一……4
青樹英次(元・日本住宅公団大阪支所長)／高田光雄……6
坂静雄(京都大学名誉教授)／松井克俊……7
塚本猛次(日建設計最高顧問)／塚口明洋……8
光安義光(元・兵庫県営繕課長)／増渕昌利……12

being

百姓昭明協和万邦庵／吉田保夫……7
居直りの果てに／大島哲蔵……8
ART IS FOR THE SPIRIT／ジョナサン・ボロフスキー……9
逆産業革命in西陣／伊豆蔵明彦……11

建築と社会　第68集　1987年（昭和62年1月号―12月号）　総目録

号

地場産業の伝統を創る―鬼瓦／梶川亮治……12

Gallery

Tree's（京都・北山通）（設計：妹尾正治建築事務所）／小林正純 ……1
ライフ・イン京都（設計：若林広幸建築研究所）／荒川朱美…4
SEI MOBILETTI（アレッサンドロ メンディーニ＋岡山伸也）／水川尚彦 ……5
鴨子ヶ原の家（設計監理：木原千利建築設計事務所）／小椋豊久 ……6
COELACANTH HOUSE（設計監理：シーラカンス）／高瀬由康 ……7
T form―大洋金物ビル（設計：竹中左右平）／中山隆……8
CORRIDOR House―関大前の家（設計監理：塚口明洋建築研究室）／遠藤公介……9
花伝豊中（設計：中島龍彦建築事務所）／塘伸夫……10
武庫ノ台ゴルフコースハウス（設計：竹中工務店）／宮崎ひろ志……11
神戸YWCA会館（設計：安井建築設計事務所）／荒川朱美…12

東海ルネサンス

名古屋こそ人間らしい都会／飯島宗一 vs 中島一……1
中部新国際空港を21世紀初頭に開港／佐藤秀男（財団法人・中部空港調査会常務理事・事務局長）vs中島一……2
ぬくもりのある町づくりを／山田昇平 vs 中島一……3
石の文化から木の文化を見る／オフナー・クラーク vs 中島一……6
名古屋の人・物・文化を考える／今光廣一 vs 中島一……7
現代に求められる精神の中庭／石田秀翠 vs 中島一……8
開かれた市民の茶道文化を／村瀬彰雄 vs 中島一……12

東海の建築マップ

景観としての建築―名古屋港ポートビル，日建・住生ビル ……1
景観としての建築―中京テレビ放送新館，名古屋学院大学チャペル……2
弥富町立弥富北中学校，美並村基幹集落センター……3
景観としての建築―知北斎場，多治見市文化会館……6
景観としての建築―豊橋市美術博物館，浜松市立中央図書館 ……7
景観としての建築―人間博物館リトルワールド，一六銀行星ヶ台寮……8
景観としての建築―静岡市立図書館，岐阜県美術館……12

作品作風探訪

サントリーホール―大人の街のシンフォニーホール／黒川省二 ……1
終戦の40年―ヒルトンとニューオータニ，二つのホテルについて／加藤力……2
品のある色調と連続感―京都宝ヶ池プリンスホテル／松村孝治……4
ゆるやかな時の流れの中で―樟蔭女子短期大学を訪ねて―／荒川朱美……5
家賃だけもろてもアカン，文化にキヨせんとあかん―梅田センタービル／加藤力……7
オブジェと建築―神戸海洋博物館―／林浩二……8
人と水族が出合う場―須磨海浜水族園／北澤修一……10
「Many Job社会」目指して―マイドームおおさか／水川尚彦 ……11

レポート

病院建築におけるISSと大スパン架構システム―松江生協病院―／松島清……2
「昭和生まれ―関西の建築家50」誌出版にあたって／加藤力 ……9
アメリカに見る都市型集合住宅の現在―1―ニューヨークの高級アパート／高田光雄……10
アメリカに見る都市型集合住宅の現在―2―スタイヴサントタウンの日曜日／高田光雄……11
アメリカに見る都市型集合住宅の現在―3―サンフランシスコの人工土地／高田光雄……12

書　評

建築に対する覚悟を促す―「建築・都市論集」（大谷幸夫著）／太田隆信……1
建築とは何かを問う人へ―「人間の棲家」（オット・フリードリヒ・ボルノウ著）／加藤邦男 ……2
現代ベラベラ住宅への疑問―「笑う住宅」（石山修武）「日本人の『住まい』はどこから来たか」（吉田桂二）「奥座敷は奥にない」（中岡義介）／橋本敏子、第一人者二人による計画論―「まちづくりの話」（富安秀雄・藤田邦昭）／高田光雄……3

号

状況中心社会の物質的空間と社会空間とのアナロジー論（オギュスタン・ベルク著「空間の日本文化」）／伊従勉，「りんごのうた」（小川正著）／太田隆信……4
美しい居住環境への手引書―「歩車共存道路の計画・手法」（天野光三・藤墳忠司・古谷通泰・山中英生編著）／三輪泰司…5
建築空間の美学―「建築空間論」（上松佑二）／中村貴志…6
コンペ啓蒙の書―「建築設計競技」（近江榮）／太田隆信…7
空間論における「連帯を求めて孤立を恐れず」の軌跡―「空間（機能から様相へ）」原広司著／伊従勉……8
手ごたえある盛り場論―「都市のドラマトゥルギー」（吉見俊哉著）／橋本敏子……9
哲学と建築の間で（Roger Scruton「建築美学」）／加藤邦男 ……10
今，なぜ考現学なのか―「今和次郎―その考現学」（川添登著）／太田隆信……11
非の建築―日本住宅の風景―「家と庭の風景」（増田友也著）／伊従勉 ……12

私が読んだ本

社会変化と建築の関係を読む／吉羽逸郎 ……1
James Clavellの作品／笹田剛史 ……2
"話の特集"が離せないのは／石東直子……4
私の読書遍歴／吉村篤一……5
書棚の時間・私／今井祝雄……6
建築と都市も社会も乱読／鳴田勝次……8
私の読書・いま・むかし／武田則明……9
住み手主体の住宅設計／竹山清明……11
文学の美を建築の血肉にする／永田祐三……12

読者の頁

書評「東京21世紀の構図」（尾島俊雄著）／片方信也ほか，コープフォーラム'87・いま，日本のコープ住宅がおもしろい，博物館明治村特別展示「明治建築をつくった人々―武田五一・人と作品」……3
『関西の建築家50』の出版に思う／山田修，河内義就先生を悼む／平本俊秋……11

Information

フィンランド家具セミナー開催……1
第18回中部建築賞……2
中之島公会堂保全再生のためにーテレフォンカードの図案募集ー，「…ゆたかな生活用具…」第27回世界のグッドデザイン展，「建築物と風」講習会，「竹と建築展ー空間演出のバイ・プレーヤー」，建築新技術ツアー情報……2
安藤忠雄さん，第28回毎日芸術賞を受賞，西山先生を囲む新春コロキウム，「会津鬼怒川線のコミュニティ施設としての駅舎」設計プランの実現に向けて，大阪市立工芸高校教師の山田さん，韓国観光公社から表彰される，国際デザイン・コンベンション'87，「日本の美術館建築展」，「カタルニア賛歌ー芸術の都バルセロナ」展……2
ピカソ・ミロ・ダリそしてガウディーカタルニア賛歌ー芸術の都バルセロナ展，「21世紀の大阪都市像」懸賞論文の入賞決まる，第10回東京国際グッドリビングショー「かしこい住まい新時代」，"FORBIDDEN" IN THE CITYー禁じられた領域ー展，第3回ＢＬ国際デザインコンペティションー『ドア』を課題に，安藤忠雄建築展ー安藤忠雄・建築の現在ー，"TAKENAKA BOOKS"第3弾『近代建築設備の系譜』刊行，投稿・中之島公会堂の修理・再生を！／明治建築研究会……4
瀬戸大橋架橋記念・橋のイメージ国際設計競技「未来の橋のイメージ」，愛知県新文化会館（仮称）設計競技の応募作品展の開催，「わたしの駅前」コンクール作品募集，旧神戸商議所ビル保存・再生を願って，アイデア提案を！……5
第12回吉田五十八賞ー今回は佳作賞と特別賞を選ぶー，愛知県新文化会館（仮称）設計競技（栄地区）の結果，"大阪市ハウジングデザイン賞"を創設，「ひょうご住宅百選」の推薦募集，星田アーバンリビング・デザインコンペティションの実施，「国際居住会議ー横浜会議」第2回プレ・シンポジウムー「NGOへの期待」……6
町のおしゃれはサインから―尼崎市で景観ガイドライン〈サインデザイン編〉作成，「第5回京都美観風致賞」の作品募集ー今年は世界歴史都市会議特別賞を新設ー，第19回中部建築賞募集，その他……7
大賞（内閣総理大臣賞）は米国の学生20名のチームにー第3回国際デザイン・コンペティションの入賞者決定……8
「国際居住年記念シンポジウム」並びに「世界の暮らしと住まい展」開催，「コンクリート工法に関する指導要綱」改正に伴う説明会開かれるー（財）日本建築総合試験所主催，"木造格子シェル構造"ーなら・シルクロード博で天然木材による大空間パビリオン実現へ，PYSプッシュ・プル消音錠，現代建築と伝統技術シリーズ「傳来工房の仕事（鋳造）」展，京都で開く……8
イタリア・ノストラと環境問題で交流，阪南町の指名コンペ，ウイーン工房の使者リチ・上野＝リックス展，10月18日～11月3日に京都で開催，（SD Review 1987），「国際居住会議ー横浜会議」横浜と神戸で開かれる。わが町のモダン建築展……9
第18回STCセミナー「脱・既成ー体感の建築」講演会，「ブリティッシュ・スタイル170年」ー5つの時代のイギリスを都市論で探るー，ジャンカルロ・デ・カルロ講演会ー「ウルビノの建築」「FASHION≒FASCIO?!」ー新入社員の企画による公開講座ー，Space Creation '87ー都市のいのち，空間アメニテを

号

創るー，国際デザイン・アオード賞受賞者3名決定……10
大阪府で建築美観誘導の手引きをまとめる，公共建築とデザイン運動ー神戸市でデザインマニュアルの発刊，「京・白川」ー白川周辺景観整備地区調査報告，「ひょうご住宅百選」決まる第1回大阪市ハウジングデザイン賞決定，第5回京都美観風致賞，第5回神戸市建築文化賞，第7回大阪都市景観建築賞 ……11

会員グループの頁

神戸市……2
大日本土木……3
長谷川工務店……6
兵庫県……7

雑

年頭のことば
1987年、本会創立70周年を迎えて／佐野正一……1
本年の抱負
日本建築協会常設委員会本年の抱負／常設委員会委員長…1
デザインコンクール
第32回工高生デザインコンクール入選作品（設計課題：テニスクラブハウス）……1
巻頭言
建築協会創立70周年を迎える／日本建築協会会長 佐野正一 ……3
追悼文
故河内義就氏／平本俊秋（読者の頁既載）……11
故水野金市氏／中島一（月報欄）……12

若い会員の集いレポート

"解剖台上の私性群"ー建築家池上俊郎の5年間の仕事ー／大塚慶子……2
日本の森林を学ぶー紅葉黄葉の私市植物園にてー／福廣勝介・浜恵介……4
"ポリフォニーへの軌跡"ー建築家東孝光・都市住居の空間論を語るー／奥俊信……5
「昭和生まれー関西の建築家50」誌出版記念「関西建築家50展」／黒田智子……9

会　告

大阪府立体育会館改築工事の見学，ベル・パークシティの見学…1
社団法人日本建築協会創立70周年記念事業お知らせ，"ポリフォニーへの軌跡"ー建築家・東孝光・都市住居の空間論を語るー，梅田センタービル新築工事の見学……2
第1回日本建築協会賞入選発表……3
定時評議員会決議お知らせー昭和62年度会長・副会長・理事・監事、昭和62年度事業計画、昭和62年度収支予算，財団法人陽明文庫「虎山荘」を訪ねる，21世紀へ向かって発展していく大阪港を見るー大阪市・広報船"水都"で海上巡りー，伝統美とポストモダンー出江寛建築展，〈プロのノウハウシリーズ〉「工務店の税金対策100ポイント」と「工業化住宅・考ーこれからのプレハブ住宅」刊行，第7回京大建築同人展，建築イベントとル・コルビュジエ100歳…4
藩州・備前路を訪ねー兵庫県立歴史博物館，関西電力赤穂火力発電所，特別史跡・閑谷学校・鶴林寺・浄土寺，兵庫県フラワーセンター，通常総会開催通知，会員の受賞，新入会者ご斡旋お願い，〈プロのノウハウ〉シリーズ「工務店の税金対策」と「工業化住宅・考」頒布，第33回工高生デザインコンクール募集規定……5
ブラジルの建築家を囲んで一風土と建築ーブラジル・日本・BRASILIA，マイドームおおさか新築工事の見学会，〈プロのノウハウ〉シリーズ「鉄骨工場の現場学」（石田満喬著）発刊，予告・世紀末の建築を訪ねてーヨーロッパ研修旅行参加者募集……6
昭和62年度日本建築協会役員会務分掌，昭和62年度日本建築協会評議員，昭和62年度日本建築協会支部長，昭和62年度日本建築協会特別委員会委員，昭和62年度日本建築協会常設委員会委員……6
通常総会、定時評議員会決議報告，会員増強についてお願い，会員の受賞，大正11年、本会主催の箕面・桜ヶ丘住宅博をご存知ですか？第34回青年技術者特集号の応募規定，記念出版『昭和生まれ関西の建築家50』発行，関西建築家50展開催，寄附金の受領，記念事業・ヨーロッパ研修旅行参加者募集・ふたつの世紀末の建築を訪ねて大阪府国際交流センター新築工事の見学，大阪府立病院新病院の見学，「建築紛争の実際ー身を守るための12ヵ条」，「構造コストと経済設計」発刊，昭和61年度決算報告，昭和61年度事業報告書…7
ヨーロッパ研修旅行参加者募集・ふたつの世紀末の建築を訪ねて（再掲）……8
支部役員の選出，昭和62年度茶室見学会・大徳寺の茶室を訪ねる会映画と新建材説明会，デッキプレート床構造設計・施工規準講習会「ニュータウン世界フォーラム」開催，建築基準法改正に関する勉強会開催……9
重要文化財・旧山邑家住宅（淀川製鋼所迎賓館）保存修理工事の見学，建築技術選書特装版『新 建築と設備の接点』（宮脇檀・南部武）「建築設備の健康診断」（牧野茂著）発刊，'87建築関係団体合同忘年懇親会ご案内，建築関係8団体合同新年交礼会，会員増強についてお願い……10
会員の受賞，第33回工高生デザインコンクール入選者発表，原広司氏講演会並びに展示会，'87建築関係団体合同忘年懇親会ご案内，建築関係8団体合同新年交礼会 ……11

月　報

日本建築協会月間の動き（昭和61年11月～昭和62年9月）……2～12

構造の頁

153 超高耐久性コンクリート

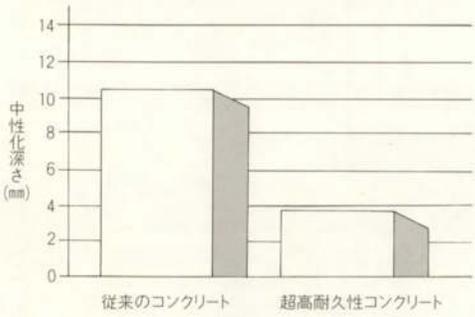
(その2)

斉藤　俊夫

超高耐久性コンクリートの性能

超高耐久性コンクリートは、前号で述べたような複数の手段を有効に組み合わせて得られるものである。以下に、竹中工務店の技術研究所において実施した耐久性データを示す。

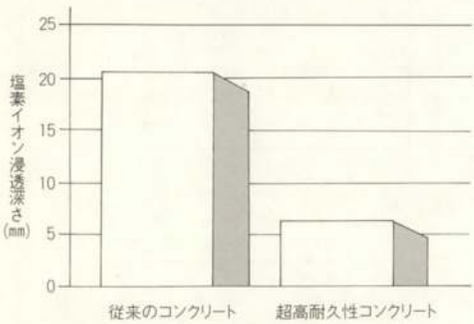
(1) 中性化の低減効果（図－3）



図－3　中性化促進試験結果の一例

30℃、湿度60%、炭酸ガス濃度５%の促進条件下で、39週間経過（屋外打放しの場合の10年に相当）した超高耐久性コンクリートの試験体の中性化深さは、従来のコンクリートに比べて約１／３程度に抑制され、長期にわたって鉄筋の発錆を抑えることができる。

(2) 塩素イオン浸透に対する抵抗性（図－4）



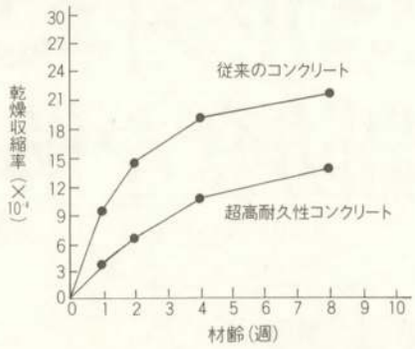
図－4　塩素イオン浸透試験結果の一例

NaCl 飽和溶液中に２週間浸漬した超高耐久性コンクリート試験体における塩素イオン浸透深さは、従来のコンクリートに比べて約¼程度であり、たとえば、海岸地域において風とともに飛来してくる海塩粒子がコンクリートに浸透し内部の鉄筋をさびさせるといった現象を抑制できる。

(3) 耐酸性

7.5%の硝酸に2日間浸漬した場合、従来のコンクリートでは表面のモルタルだけでなく、内部の骨材まで破壊され、試験体重量の16%が失われた。それに対して、超高耐久性コンクリートでは、表面の一部が劣化しているだけであり、重量損失は３%であった。

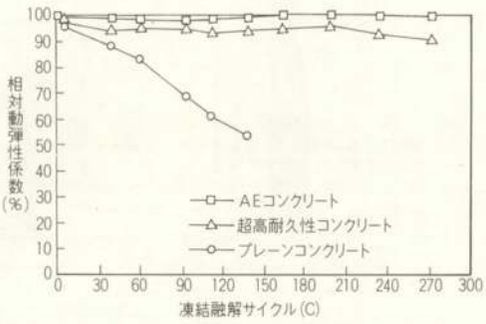
(4) 乾燥収縮の低減効果（図－5）



図－5　乾燥収縮試験結果の一例

建築物に発生するひびわれの要因には、構造的要因、材料的要因をはじめとしてさまざまなものがあるが、乾燥収縮は最も大きな要因の一つである。超高耐久性コンクリートの乾燥収縮は、従来のコンクリートの50～60%となり、乾燥収縮に起因するひびわれに対して大きな抑止効果を有する。

(5) 凍結融解抵抗性（図－6）



図－6　凍結融解試験結果の一例

一般に、空気を多く含まないプレーンコンクリートは、比較的早いサイクルで劣化する。しかしながら、超高耐久性コンクリートは空気量が１%以下であるにもかかわらず、300サイクルを経ても相対動弾性係数はAEコンクリート（空気量４%）と同様の90%以上であり、良好な凍結融解抵抗性を有している。これは、超高耐久性コンクリートが空気量が１%以下であるにもかかわらず、個々の気泡のサイズが非常に小さく、しかもこれらの気泡が近接して均一に分布しているためである。

超高耐久性コンクリートの寿命

通常の環境下では、コンクリートの中性化の進行が鉄筋の位置まで達したときに、鉄筋の錆が発生することにより、鉄筋コンクリート構造物としての寿命が尽きることと考えられている。

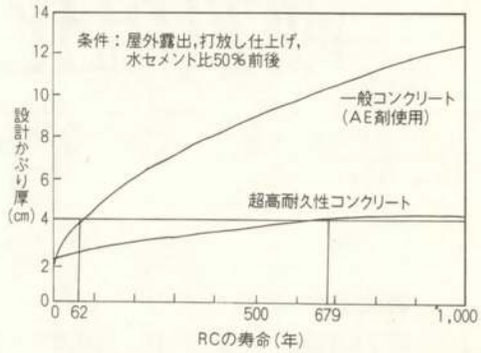
この考え方に基づき、かぶり厚さのばらつきおよび中性化深さのばらつきを統計的に考慮した場合の鉄筋の腐食確率（P_1）は、つぎのようになる。

$$P_1=\int_{-\infty}^{0} f(D-Ct)\,d(D-Ct)$$

$f(D-Ct)$: 鉄筋のかぶり厚さと中性化深さの差の分布

上記の式を用いて、われわれがこれまでに実施してきた通常のコンクリート構造物の実態調査および既往の研究成果を総合して求めた超高耐久性コンクリートにおける耐用年数、設計かぶり厚さの関係の一例を図－7に示す。

この算定例からも明らかなように、少なくとも通常の環境化においては超高耐久性コンクリート



図－7　鉄筋コンクリートの寿命の算定例

は、500年を越える寿命を有するものと考えられる。

超高耐久性コンクリートの適用

超高耐久性コンクリートのシステムは、ここで紹介した超高耐久性コンクリートを中心技術として、コンクリートの施工技術、設備工事、仕上工事および施工後の建築物の維持・管理をも含む総合的な建設技術のシステムとして成り立っている。

超高耐久性コンクリートは、原則としてすべてのＲＣ構造物に適用できるが、表－1に示すようなとくに高度の耐久性を期待する建築物に適用することによってその特性が十分に活かされる。

表－1　とくに高度の耐久性を期待する建築物

社会的条件によるもの	国民的な意味をもつ公共的建築物	国会議事堂・国立図書館など
	宗教建築物	神社・寺院・教会など
	貴重なものを収蔵する建築物	美術館・博物館・公共図書館など
	劣化・損傷によって重大な危険の生ずるおそれのある建築物	危険物貯蔵所など
経済的条件によるもの	修理・更新による経済的な損失が大きい建築物	超高層建築物・巨大建築物・病院・大規模な集合住宅・研究施設など
	く体の耐用年数の伸長が経済的に有利となる建築物	集合住宅・学校・各種公共施設建物など

むすび

本来、建築構造物の寿命は半永久的であるべきと、われわれは考えている。建築物は社会の遺産として後世に受け継がれるものであり、後世の人人にとってこの遺産は、われわれの時代の文化を理解する大切な手段であるからである。

われわれは今後とも、建築物の耐久性向上のための研究開発を進めていきたいと考えている。

（さいとう　としお　株式会社竹中工務店技術研究所）

三菱樹脂

硬質塩化ビニルライニング鋼管の管端防食を解決。

●耐食性・耐久性が抜群です

継手の内面に直管と同質の塩化ビニルをふくろ構造に配している(コア内蔵)ため、腐食する心配はありません。
耐久性に優れた専用シール剤を使用することにより、水密性も半永久的に保持できます。

●衛生的です

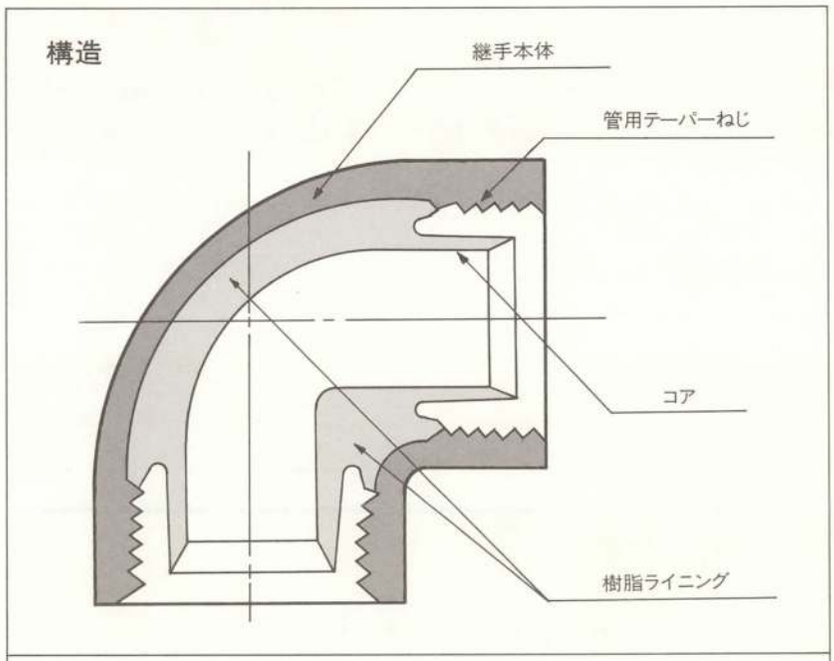
ライニング材は水道用として実績のある硬質塩化ビニルであり、また飲料水の中へ鉄分が溶出しないのでとても衛生的です。

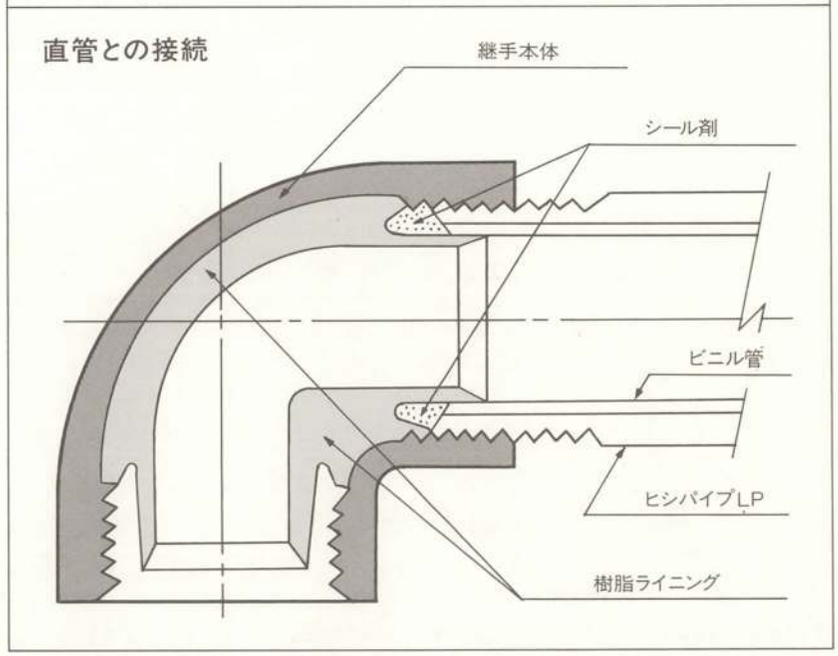
●強度が優れています

継手本体はねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手を使用していますので、きわめて強靱です。

●施工性に優れています

コアの挿入が不要で、また専用のシール剤を使用することにより短時間に確実な施工ができます。





日本水道協会型式承認登録品

硬質塩化ビニルライニング鋼管専用

ヒシLP防食継手-N型

三菱樹脂株式会社

●本社：〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル●支店：東京03(283)4320(直)大阪06(208)4724(直)名古屋052(565)3710(直) 福岡092(281)8281(代)仙台022(261)2333(代)
横浜045(201)9251(代)広島082(248)5881(代)北陸0749(64)1701(代) 四国0878(61)2911(代)札幌011(241)2571(代) ●営業所：全国23ヶ所

●カタログ・資料のご請求は、本社業務本部へ。

資料請求券
防食継手-N型
建築と社会
1211

設備の頁

156

水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管用

コア内蔵型ねじ込み式管端防食継手

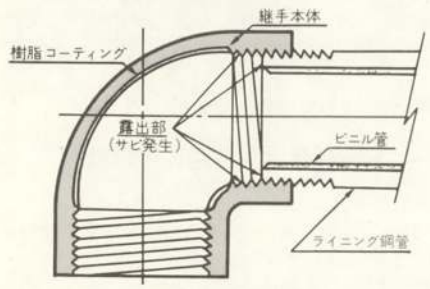
棚橋　勝司

現在、中高層ビルから一戸建ての民家にいたるまで、国内で使用される給水管の大半は「硬質塩化ビニルライニング鋼管」と「樹脂コーティング継手」が使用されており、昭和30～40年代に問題となった赤水や、白濁の苦情は大幅に軽減されている。

しかしながら近年、水質の悪化に伴う塩素系薬剤の投入量増加により、継手内面や管端腐食が新たな問題となってきた（**写真－1**、**図－1**）。



写真－1



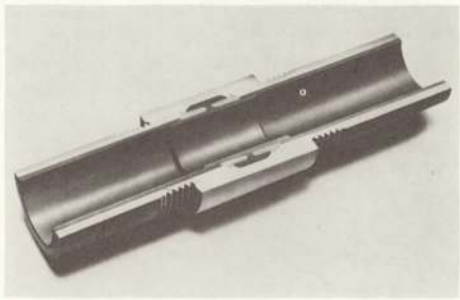
図－1　従来継手の接続図

これらを解決するために開発されたのが、継手内面を樹脂製コアで被覆し、完全防食を目ざす水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管用「コア内蔵型ねじ込み式管端防食継手（以下、管端防食継手という）」である。

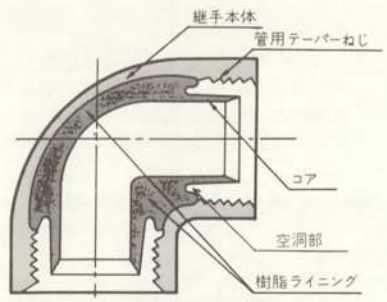
構造

管端防食継手は「ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手（JIS B 2301）」を本体とし、内面に耐衝撃性硬質塩化ビニル樹脂を射出成形機によりライニングした構造である（**写真－2**、**図－2**、**3**）。

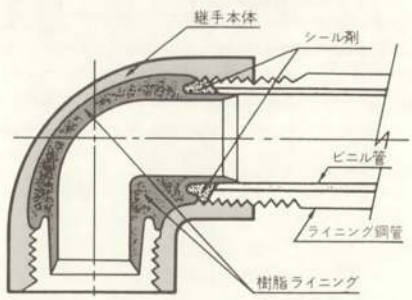
図－2で示すコアは、継手の内面防食と、管内面の塩ビ管にシール剤を介して密着し、管端面へ水が浸入するのを防止する役目を果たしている。また、施工時の直管に切られるねじ、およびねじ込み時のバラツキを吸収するため、コア奥部に空洞部を有している。



写真－2



図－2　管端防食継手の構造



図－3　直管との接続図

特長

管端防食継手は、つぎの特長を有している。

(1)　耐食性に優れている。

継手の内面コアが、管端および継手内面を完全に被覆するため、腐食の心配がない。

(2)　耐久性に優れている。

専用シール剤を使用することにより、水密性も半永久的に保持できる。

(3)　衛生的である。

ライニング材は、水道用として実績のある硬質塩化ビニルであり、衛生的である。

(4)　強度が優れている。

継手本体は、ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手を使用しているので、きわめて強靱である。

(5)　施工性に優れている。

コア内蔵型のため、取り付け手間がかからず、専用シール剤の使用により、短時間で確実な施工ができる。また一般の配管工具で施工できる。

品種

管端防食継手は、**表－1**のものが品揃えされている。

表－1

呼び径	（A）	15	20	25	32	40	50
エルボ	L	○	○	○	○	○	○
45°エルボ	45°L		○	○		○	○
チーズ	T	○	○	○	○	○	○
ソケット	S	○	○	○	○	○	○
ユニオン	U	○	○	○	○	○	○
ニップル	Ni	○	○	○	○	○	○
テストプラグ	TP	○	○				

呼び径	違径エルボ	違径チーズ	違径ソケット	給水栓エルボ
（A）	RL	RT	RS	FL
20×15	○	○	○	○
25×20	○	○	○	
32×15	○	○	○	
32×20		○	○	
32×25		○	○	
40×20		○	○	
40×25		○	○	
40×32			○	
50×20		○		
50×25		○		
50×32		○		
50×40		○	○	

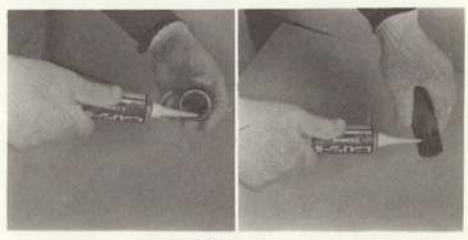
施工

(1)　管の切断――管の切断は、自動金のこ盤やバンドソーにより行う。

(2)　管の面取り・ねじ切り――ねじ切り機により、管端内面を1～2C面取りし、管用テーパねじを切る。

(3)　管の清浄――管のねじ部や、内外面に付着した切削油を水洗し、さらに水分や汚れを除去する。

(4)　シール剤の塗布――チューブ入りの専用シール剤を、3～4㎜の太さで塗布する（**写真－3**）。



写真－3

(5)　接続――鋼管用パイプレンチを用いてねじ込む。

(6)　補修――管のねじ露出部、およびパイプレンチ傷跡に、防錆剤を塗布して補修する。

（たなはし　かつじ　三菱樹脂株式会社長浜工場製造第1部パイプ技術グループ）

日本建築協会

月間の動き

昭和62年10月分

理　事　会

定例理事会
28日　4時～5時　　於本会会議室
出席者　佐野会長ほか25名
議事　(1)建築関係団体合同忘年懇親会開催の件
(2)建築関係8団体合同新年交礼会開催の件
(3)「パリ都市再開発グランド・プロジェクト展」後援の件
(4)「原広司氏講演会並びに展示会」後援の件
(5)会員増強に関する件
(6)入退会者承認の件
(7)報告事項

編　集　委　員　会

第4回施工材料分科会
7日　4時～6時半　　於本会会議室
出席者　山田幹事ほか3名
議事　(1)「建物と街並みの接点ー建物の外構」特集経過報告
(2)63年4月号施工材料特集の企画

第6回作品作風小委員会
7日　5時～8時　　於本会会議室
出席者　加藤副委員長代行ほか5名
議事　(1)最近の掲載状況・予定
(2)新建築調査表
(3)「Gallery」内容報告・検討
(4)作品作風探訪

第7回編集委員会
8日　4時～6時　　於本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか4名
議事　(1)10月号「宝塚の街づくりー逆瀬川駅前再開発事業」特集経過報告
(2)11月号「建物と街並みの接点ー建物の外構」特集経過報告
(3)12月号「第34回青年技術者」特集報告
(4)正月号「ホテル物語」特集報告
(5)2月号以降の特集
- 「軟弱地盤と基礎」ー構造分科会の企画
- 「設備におけるLCCとリフレッシュ」特集ー設備分科会の企画
- 計画特集“都心居住”の企画

(6)来年の表紙デザイン
(7)「建築の眼」の新執筆者の件
(8)収支状況報告
(9)そのほか

being幹事会
12日　6時～8時　　於本会会議室
出席者　北村幹事ほか3名
議事　1988年1月号までの登場者決定

第9回計画分科会
13日　6時～8時半　　於本会会議室
出席者　田中直人幹事ほか5名
議事　計画特集“都心居住”の企画

第6回投稿欄小委員会
14日　6時～8時　　於本会会議室
出席者　増渕副委員長ほか5名
議事　(1)アンケート／集計と掲載方法の検討
(2)会員グループの頁の企画
(3)「大先輩に聞く」の企画
(4)「being」／特別幹事会からの報告
(5)書評／書評委員会からの報告

表紙デザイン打合会
19日　4時～6時　　於本会会議室
出席者　上田委員長代行、飯塚英雄(日建設計)氏ほか7名
議事　63年1月～12月号の表紙デザイン

第4回構造分科会
20日　6時～8時　　於本会会議室
出席者　向井幹事ほか3名
議事　(1)「軟弱地盤と基礎」特集の構成の見直しー特集を軟弱な埋立地盤の事例で通すー
(2)「構造の頁」の企画

第6回広告企画小委員会
27日　4時～5時半　　於本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか5名
議事　(1)10月号「宝塚の街づくりー逆瀬川駅前再開発事業」特集広告収入報告
(2)11月号「建物と街並みの接点ー建物の外構」特集広告経過報告
11月号「昭和設計創立30周年記念作品経歴」広告経過報告
(3)12月号「第34回青年技術者」特集報告
12月号「ARI建築事務所創立25周年記念作品経歴」広告経過報告
(4)1月号「ホテル物語」特集・「謹賀新年挨拶広告」・「新建築・作品」経過報告

「中国支部」特集(仮称)第1回編集委員会
29日　1時半～3時半　　於広島県庁
出席者　平本委員長ほか6名
議事　(1)特集号テーマ
(2)特集関連掲載作品選考
(3)本文内容検討
(4)次回会議の議題

第5回施工材料分科会
30日　4時～6時　　於本会会議室
出席者　山田幹事ほか4名
議事　(1)「建物と街並みの接点ー建物の外構」特集経過報告
(2)63年4月号施工材料特集の企画
ー「リフォーム・リフレッシュ」特集のテーマと執筆者
(3)「施工材料の頁」の企画

第1回法令分科会
30日　2時～4時　　於本会会議室
出席者　松田・南出・中島・笠井委員
議事　(1)法令分科会の幹事の互選
(2)法令分科会のこれからの活動ー担当頁の編集方針ー

事　業　委　員　会

広報研修分科会
28日　6時～8時15分　　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか4名
議事　「CADの研修会」の企画

教　育　委　員　会

工高生教育小委員会
15日　4時～7時　　於本会会議室
出席者　中野副委員長ほか6名
議事　昭和62年度・第33回工高生デザインコンクール応募作品の予備審査

第33回工高生デザインコンクール審査会
23日　1時半～8時　　於本会会議室
出席者　太田審査委員長ほか審査員11名
片倉・中野教育正副委員長ほか5名
応募作品　194点（32校）を審査、入選作10点を選出。

建　材　委　員　会

8日　3時半～5時半　　於本会会議室
出席者　金井委員長ほか16名
材料説明：ステンレスノイズレスヒンジ
グレビティヒンジ・可変シリンダー錠
担当・中川委員
議事　今後の検討建材

出　版　委　員　会

15日　5時～6時　　於本会会議室
出席者　須賀委員長ほか5名
議事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
(2)今後のテーマと執筆者選定

見　学　会

昭和62年度・茶室見学会 **大徳寺の茶室を訪ねる会**
24日　1時半～4時半　　於京都・大徳寺
参加者　31名
講　師　岡田孝男氏(帝塚山学院大学名誉教授)
見学先　聚光院の閑隠席・枡床席、瑞峯院の安勝軒、高桐院の松向軒

創立70周年記念事業

特別見学分科会
12日　6時～10時半　　於本会会議室
出席者　山形講師及び大川主査ほか2名
議事　ヨーロッパ研修旅行ー資料の検討ー

特別見学企画打合せ
17日　2時～9時半　　於本会会議室
出席者　山形講師及び大川主査ほか2名
議事　ヨーロッパ研修旅行ー資料集の原稿作成ー

特別見学分科会
21日　6時～10時　　於本会会議室
出席者　山形講師及び大川主査ほか1名、萬代氏(日本交通公社)
議事　ヨーロッパ研修旅行ー旅行説明会打合せー

特別見学企画打合せ
24日　5時～10時　　於本会会議室
出席者　大川主査ほか2名
議事　ヨーロッパ研修旅行ー資料集の原稿作成ー

特別見学分科会
29日　6時～10時　　於本会会議室
出席者　大川主査ほか2名、萬代氏（日本交通公社）
議事　ヨーロッパ研修旅行ー旅行説明会及び出発当日（結団式）の打合せー

住宅展委員会
29日　6時～10時　　於本会会議室
出席者　石川・山形両主査ほか4名
オブザーバー：西村弥音子氏(INAXギャラリー)ほか2名
議事　(1)展覧会の名称について
(2)経過報告ならびに今後の作業予定
(3)「資料集」編集について

建築関係団体合同忘年懇親会

事務局打合会
13日　11時～13時　於大阪府建築士会会議室
出席者　関係団体各事務局
議事　(1)'86忘年懇親会の精算報告
(2)'87忘年懇親会の諸準備について
19日　12時～14時　於大阪府建築健保会館
出席者　各会選出委員及び事務局
議事　'87年忘年懇親会の諸準備について

建築8団体新年交礼会

事務局打合会
13日　13時～14時　　於大阪府建築士会会議室
出席者　関係8団体事務局
議事　'88新年交礼会の開催要綱について

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会

13日　8時～9時半　　於大阪グランドホテル

演題　「我が社の経営理念」

講師　大和実業㈱取締役社長　岡田一男氏

出席者　62名

10月の入会者（敬称略）

〔団体会員3社〕

鳳工業㈱　五洋建設㈱大阪支店　三菱建設㈱大阪支店

〔個人会員15名〕

赤木　隆（日建設計）	上岡正幸（上野工務店）	北村陸夫（ズーム計画工房）
児嶋千里（東京電機大学）	竹内康人（熊谷組）	長友理津子（菅家建築設計室）
西井久人（IAO竹田設計室）	長谷川保善（竹中工務店）	松永悦子（松永興産）
森下優（造家研究室）	河畑嘉七（西日本旅客鉄道）	越野栄悦（西日本旅客鉄道）
土田克己（西日本旅客鉄道）	宮本剛克（西日本旅客鉄道）	安田勝昌（西日本旅客鉄道）

〔准会員3名〕

尾亀曜子　　尾亀千絵

会員増強中間報告

本会創立70周年を迎えて、本年5月の会勢理事会および常任理事会で会員増強が決定され、爾来、各方面に協力を依頼していますが、本年中（1月～12月）につぎのとおり会員加入並びに会費増口をいただきましたので、中間報告します。

■新規加入

●個人正会員（120名）

瀬藤良雄（安井建築設計事）	高野考二郎（コーナン建設）	武田則明（武田建築設計事）	八木勝（川崎製鉄）
五島知暢（三幸建設）	出口尚伸（デム建築事）	土居英夫（大阪芸術大学）	松岡啓恵（茶花の里）
吉原宏一（吉原組）	植松清志（西野田工業高校）	遠藤公介（竹中工務店）	片山基（金山工務店）
野口邦彦（大阪市都市整備局）	陳宗禮（一條達建設設計）	石橋外史（日本建設）	大西則道（日本建設）
柿本直昌（日本建設）	川崎弘人（日本建設）	長雄聡（日本建設）	福本和彦（日本建設）
藤原英雄（日本建設）	山本義隆（日本建設）	井上雅博（高松組）	立成良三（大阪府建築部）
松井義雄（都市空間設計研究所）	安田孝（大阪大学）	吉田高子（近畿大学）	高林孝男（大阪府建築部）
恒川秀幸（青葉住研）	東武昇雄（大阪府建築部）	原田明治（大阪府建築部）	山本勝（大阪府建築部）
田中巖（住宅・都市整備公団）	有田吉弘（阪急電鉄）	酒井直哉（阪急電鉄）	大西康之（野村建設工業）
中嶋亨（野村建設工業）	簑田直也（野村建設工業）	油谷雅次（服部建築事）	乾康宏（大阪府建設監理協会）
大西逞壬（大阪府建設監理協会）	上田徳光（大阪府建設監理協会）	下牧富生（大阪府建設監理協会）	田渕脩参（大阪府建設監理協会）
仲野義人（大阪府建設監理協会）	永田光幸（大阪府建設監理協会）	西岡康夫（大阪府建設監理協会）	林勲（大阪府建設監理協会）
川上昌男（大阪府建築部）	実藤清二（大阪府建築部）	松尾純（大阪府企画部）	下笠晃右（大阪市都市整備局）
吉田龍彦（和風建築社）	河村重一（中央復建コンサルタンツ）	田中康（大塚造園設計事）	塚口明洋（塚口明洋建築研究室）
浅田行則（空港周辺整備機構）	戸柱洋一（空港周辺整備機構）	藤原充司（空港周辺整備機構）	鈴木道子（浦辺設計）
竹沢宣之（大阪市総合計画局）	藤沢隆（兵庫県都市住宅部）	森川素（広島県土木建築部）	粟生恭司（AOU建築総合事）
大江一夫（マニエラ）	大高一博（日建設計）	大塚守康（大塚造園設計事）	大旗健（大旗連合建築設計）
蔵堀健夫（伊藤建築設計事）	小松善久（鴻池組）	佐山巳喜男（アクティー建築デザインルーム）	芝吹千昭（自営）
高口恭行（奈良女子大学）	中出弘光（鴻池組）	中原春生（吉村建築事）	西田由美（シャープ）
刃金国雄（大林組）	原田博史（共立組）	藤野和男（清水建設名古屋）	堀口矩道（熊谷組）
山本貞次（東畑建築事）	山本光良（昭和設計）	光木信（中村組）	伊藤勉（豊田高専）
上田信也（日建設計）	岡本辰義（岡本建築設計事）	久保清一（アルキービ建築）	小杉正博（松村組）
河野靖（大阪府企業局）	佐藤清（千代田テクノエース）	四家正勝（ヨツヤウレタン）	関田弘史（大林組）
畑中一秀	松尾一久（明石市役所）	桜井信雄（竹中工務店）	高畑顕信（竹中工務店）
山崎慶太（竹中工務店）	赤木隆（日建設計）	上岡正幸（上野工務店）	北村陸夫（ズーム計画工房）
児嶋千里（東京電機大学）	竹内康人（熊谷組）	長友理津子（菅家建築設計室）	西井久人（IAO竹田設計室）
長谷川保善（竹中工務店）	松永悦子（松永興産）	森下優（造家研究室）	河畑嘉七（西日本旅客鉄道）
越野栄悦（西日本旅客鉄道）	土田克巳（西日本旅客鉄道）	宮本剛克（西日本旅客鉄道）	安田勝昌（西日本旅客鉄道）
浅野裕（浅野設計室）	小林泰樹（竹中工務店広島）	住田昌二（大阪市立大学）	多治見佐近（大阪市立大学）
竹山清明（生活空間研究所）	三宅淳（大林組）	山崎政人（阪神電気鉄道）	加藤晃規（大阪大学）

●団体正会員（39団体、68口）

㈱構造総合技術研究所　㈱淀川製鋼所　㈱アローフィル　㈱聖建築事務所　㈶大阪住宅センター　㈶大阪府建設監理協会　㈶大阪府千里センター　㈶大阪府泉北センター　関西ツーバイフォー建築協会　㈱高野電気商会　㈱オーシマ　㈱大方工業所　大倉建設㈱　㈱金山工務店　㈱教育施設研究所広島事務所　KY山田タイル㈱　㈱志野陶石　田島ルーフィング㈱大阪営業所　㈱大和銀行　高藤建設㈱大阪支店　徳山曹達㈱　ニッタイ工業㈱大阪営業所　日本住宅パネル工業協同組合中国支所山口営業所　㈱樋口組　村角建設㈱　㈱畿内工務店　㈱奥田組　㈱近畿建築構造研究所　新関西化工㈱　㈱リクルートコスモス大阪支店　㈲山陽瓦石井商店　鳳工業㈱　五洋建設㈱大阪支店　三菱建設㈱大阪支店　暁建設工業㈱大阪支店　㈱榎並工務店　川崎設備工業㈱大阪支店　㈱ゾディアック　日立エレベータサービス㈱関西支社

●准会員（6名）

三反田隆洋（大工大院）　中田竜二（大工大）　佐藤暢洋（近大）　尾亀曜子（同志社大）　尾亀千絵（同志社大）　門三希久典（大工大院）

■会員増口

●団体会員（69団体、269口増）

㈱青木建設　㈱浅沼組　㈱大林組　㈱奥村組　鹿島建設㈱　㈱熊谷組　㈱鴻池組　佐藤工業㈱　清水建設㈱　住友建設㈱　㈱銭高組　大成建設㈱　大末建設㈱　㈱竹中工務店　東海興業㈱　戸田建設㈱　飛鳥建設㈱　西松建設㈱　㈱藤木工務店　フジタ工業㈱　不動建設㈱　前田建設工業㈱　㈱松村組　三井建設㈱　㈱森組　共立建設㈱　㈱近畿建設　コーナン建設㈱　才門建設㈱　東洋土建㈱　南海建設㈱　㈱西本組　野村建設工業㈱　不二建設㈱　豊国建設㈱　村本建設㈱　㈱明和工務店　㈱INAX　㈱梅彦　㈱エービーシー商会　オリエンタルメタル製造㈱　㈱川岸窯業商店　サンエス石膏㈱　㈱大佛　東邦パーライト㈱　東洋シヤッター㈱　東洋リノリューム㈱　㈱ノザワ　㈱ユニオン　修成建設専門学校　㈶日本建築総合試験所　八千代電設工業㈱　㈱朝日工業社　㈱三晃空調　新菱冷熱工業㈱　㈱精研　ダイダン㈱　㈱大気社　第一工業㈱　㈱西原衛生工業所　㈱日建設計　㈱東畑建築事務所　㈱昭和設計　㈱安井建築設計事務所　㈱総合設備コンサルタント　㈱日本設計事務所　㈱大建設計　㈱大阪城口研究所　㈱旭大理石工作所

正会員

水野金市先生の訃



故水野金市氏

正会員、東海支部元幹事、元常議員水野金市先生、昭和62年11月7日午前3時、肺炎のため名古屋市天白区の東樹会病院で逝去されました。享年78歳。

先生は明治42年3月12日生まれ、名古屋市北区のご出身。昭和4年3月、旧名古屋高等工業学校建築科を卒業後、直ちに愛知県警察部建築課勤務。22年に愛知県建築部建築課長として、終戦後、建築物の復興に尽力せられ、ことに防火建築帯の造成、建築基準法令の普及指導に当たられ、21年11月、地方自治法改正による建築関係事務移譲にともない名古屋市勤務となり、建築局指導課長、指導部長、建築局長を歴任。この間伊勢湾台風後の災害危険区域の指定、地下街に関する規制の設定など、建築行政上多大の成果を挙げられました。

また、退職後は中部工業大学教授として教鞭をとられる傍ら、これまでの行政に関する業績をもとに、建築行政、建築構造、建築法規などの著書を公刊され、数多くの論文を纏められたことは、すでにご高承のとおりであります。

一方、愛知県建築審査会委員、名古屋市をはじめ豊橋市、岡崎市ほか3市の建築審査会会長、愛知県都市計画審議会等の委員を委嘱されるなど、都市計画を含む建築行政の円滑な推進に尽力された功績は誠に大なるものがあります。

日本建築協会としては、昭和23年に正会員として入会され、現在に至っていますが、この間、一時東海支部は休会、本部より強い要請もあり、支部復活には卒先してお力添えいただき、また、幹事、常議員として支部の運営にご尽力をいただき、今日の支部に盤石の礎を築いていただいたことは、先生の本会をこよなく愛していただいたお気持ちの賜と深く謝意を表するものであります。

先生は、己に厳しい反面、情宜に厚く、後輩に対しては常に温情をもって指導いただき、慈父のように慕われておられました。

先に述べさせていただきました著書ご執筆にあたり、いささかお手伝いの機会を与えていただき、この間、傍で何かとご教示いただき、あるときは台風一過、お宅を辞して外へ出たとき、街路樹が倒れているのを見て、一番驚かれたのは先生で、今でもその時のお顔を忘れることができません。

今日、先生を失ったことは、私どもにとって、痛恨の極みでございます。ここに、先生の遺影と略歴の一端を記して、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

東海支部長　中島　一

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区三宮町3−7−6(神戸フクトクビル5階)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目(電話811-3610)



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8−4−9	電話03（571）2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6−1−41	電話06（391）1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1−3−30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462（21）1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052（811）3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952（47）2945

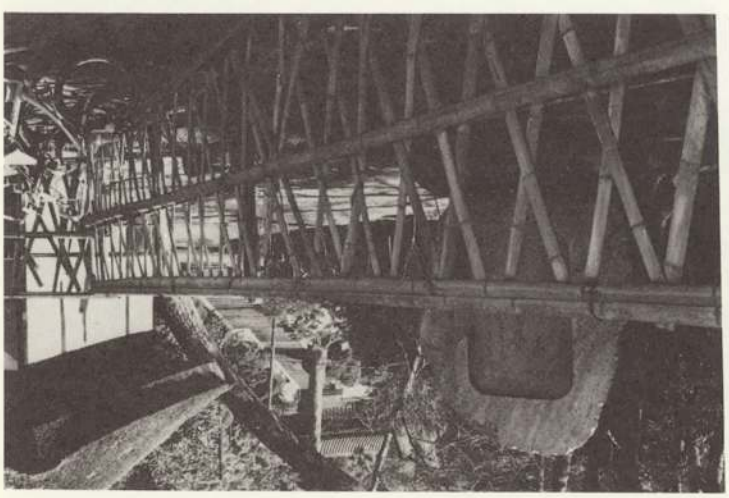
防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

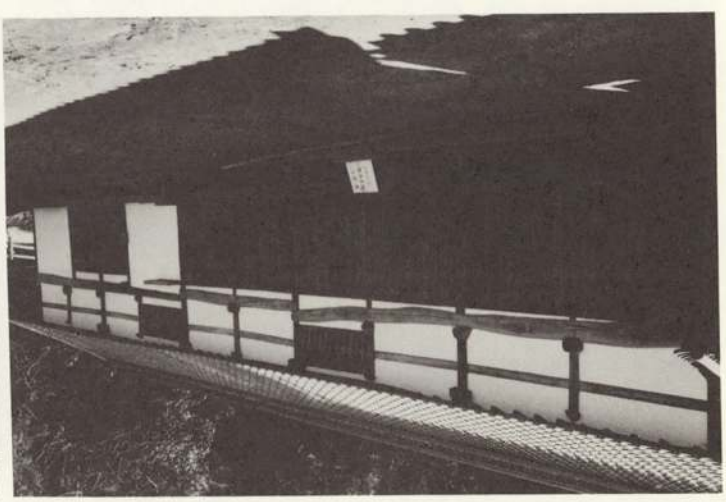
豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1−12 日生ビル　☎（943）6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市





空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話 (434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話 (302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市東区城見ツイン21MIDタワー　電話 06—949—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082—247—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
営業所　札幌・横浜・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・宇都宮・大宮・千葉・川崎・富山・福井・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

空調・衛生　設計施工
防災・汚水処理

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ!

創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒104 東京都中央区銀座2丁目2番17号　電話(03)535-5251
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン・スリランカ
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号 (オートセンタービル1,2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031代表
メンテナンス部　電話 大阪(06)768—1655 1代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル2～4階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区堂島1-5-33 (中国銀行ビル)
電話 06-(346)-2581(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—344—1851(大代)　大阪本社 ☎06—448—3603(代)
大阪支社 ☎06—448—5851(代)　名古屋支店 ☎052—211—1535(代)　中国支店 ☎082—247—5541
九州支店 ☎092—431—2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
取締役大阪支店長　堀亀久治

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

空気調和
給排水衛生

搬送機設備
設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話 06—364—6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 03—211—8511(代表)

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2—22　電話 (667)3431 (大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本社：設備部
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06—313—1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9—3　電0720—49—2128

MODAIR
空気調和設備設計施工
換気・除塵設備
東洋熱工業株式会社大阪支店
大阪市西区靱本町3－1－27　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

空調・衛生・防災設備　設計並施工
日本管工業株式会社
本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501㈹
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738㈹

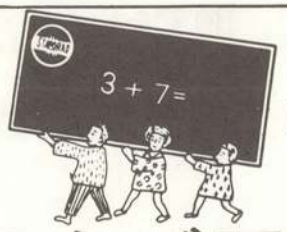
給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
株式会社 西原衛生工業所大阪店
大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

Carrier 冷暖房は CARRIER キャリア
東洋キャリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201－7

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
髙砂熱学
大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話大阪(372) 2 5 1 1(代表)
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

営業種目
空気調和・衛生設備工事・設計・施工
平山工業株式会社
大阪市西区江戸堀1丁目22番7号
☎06－441－1994・443－0331

"屋根改修工事には府板ルーフ66を"
通産大臣認可　全日本板金工業組合連合会　大阪支部
建設大臣認可　社団法人日本建築板金協会　大阪支部
知事認可　大阪府板金工業組合
理事長　福本大元
〒530 大阪市北区西天満4丁目2番4号　電話 06－364－3774㈹

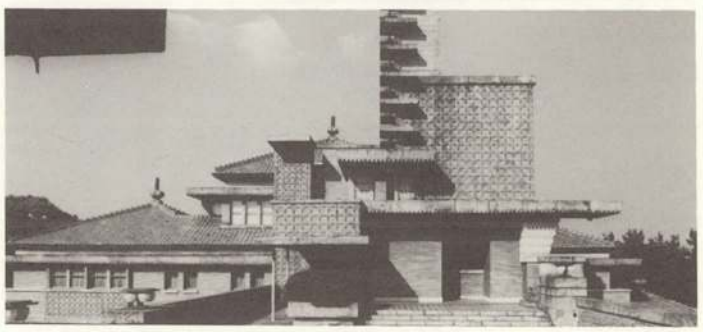


Standard Board&Slate
フタバ工業
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858㈹

白あり
木材保存のトップメーカー
サンヨー
住まいのガン細胞、しろあり公害を未然に防ぎましょう。
⊙シロアリ予防・駆除・施工(10ヶ年保証付)
⊙製造販売　サンプレザー(予防剤認定)
サンソイル(土壌処理剤)
PGスケヤー(加圧注入防腐木材・土台・大曳用)
山陽木材防腐株式会社
大阪営業所　〒541 大阪市東区北浜3丁目7信愛ビル　☎06-231-6406
化成品部　〒101 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル　☎03-254-0831

活字のない印刷
日本写植印刷株式会社
代表取締役　神田都義
本社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111㈹
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992(26)4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682(4)1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城 沖縄印刷団地　☎0988(55)6100





電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本　　社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574) 0 6 6 5 福岡出張所 TEL 福岡092(771) 6 1 6 8

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 土 井 敏 裕

本　　社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電　　話 (361) 3 6 7 1 (代)
支　　店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電　　話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本　　社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　　社 札幌・仙台・丸ノ内・新宿・横浜・名古屋・九州
営業所・出張所 全国主要都市32ヶ所

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本　　社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364)1471 TELEX 523－3287
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504)0231 TELEX 222－6724
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991)5131
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881)5571

内外産建築用大理石　テラゾーブロック
花崗岩・其ノ他石材　テラゾータイル
ネオパリエ　各種カラー平板

株式会社 旭大理石工作所

本社工場 〒535 大阪市旭区中宮1丁目10番9号 電話(06)954-6661代表
京都工場 〒610-03 京都府綴喜郡田辺町大住 電話(07746)2-0374
岡山工場 〒709-04 岡山県和気郡和気町大字原 電話(08699)3-1365

――誠実と技術でお応えする――

住友電設

取締役社長 相 馬 一 男

住友電設株式会社
本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)
東京／〒105 東京都港区芝2丁目2－17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理

●電力工事
発変電設備工事
架空送配電線工事
地中送配電線工事

●設備工事
ビル電気設備工事　空 調 工 事
工場電気設備工事　給排水衛生工事
防爆電気設備工事　特 殊 配 管 工 事
計 装 工 事　消防施設設備工事

●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事
CATVシステム工事
各種アンテナ装置工事



〒556 大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 五六一～七四一六
ファックス 五六一～七四五四

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

奉仕感謝の店
タイル工事施工

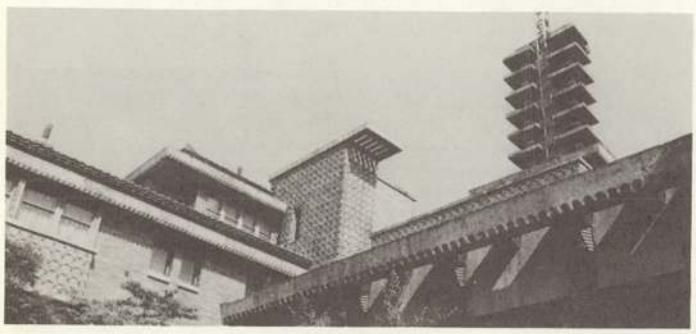
株式会社 川岸窯業商店

本　　社 〒550 大阪市西区西本町1－13－33
電　　話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天理市丹波市新町50

造園設計施工

富士造園土木株式会社

〒665 宝塚市山本東2－6－17
電話 0797－88－0501(代)





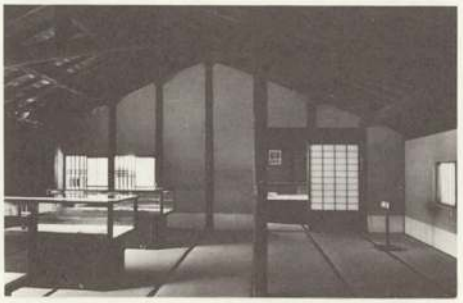
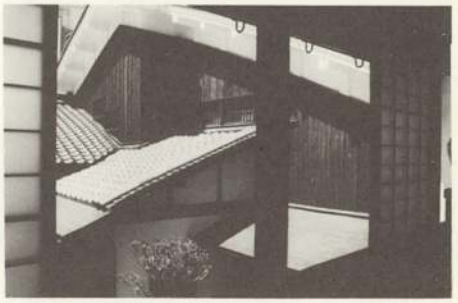
特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材
製造元 日鉄マスターピルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本　社／東京都港区六本木3－16－26 ☎03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７ ☎06-202-3294

営業種目
●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－２１
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
（膨張性混和材）
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
（グラウト用無収縮材）
●デンカキューデックス……コンクリート躯体の漏水補修に
（止水・補修用急硬セメント）
●デンカES……地盤補強用薬液注入
（土質安定用急硬材）
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
（製品用超高度混和材）
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）584－9241
株式会社トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
- オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
- 鋼板製オリエンタルフネンシングル
- オリエンタルオリセラム


体育館屋根フネンシングル

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷・姫路

東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

全国書店で好評発売中
NEW BOOKS INFORMATION

建築構造計算資料集

●中川　淳著

各種建築構造の計画・設計に役立つ実用便覧。〈1～8巻完結〉

第1巻	鉄筋コンクリート構造編(1)	B5判・一四〇頁・三、八〇〇円
第2巻	鉄筋コンクリート構造編(2)	B5判・一二二頁・三、八〇〇円
第3巻	鋼構造編(1)	B5判・一二五頁・三、二〇〇円
第4巻	鋼構造編(2)	B5判・一五六頁・三、五〇〇円
第5巻	鉄骨鉄筋コンクリート構造編	B5判・一〇八頁・三、二〇〇円
第6巻	基礎構造編	B5判・一四九頁・三、八〇〇円
第7巻	終局耐力編	B5判・一四七頁・三、八〇〇円
第8巻	応用計算編	B5判・一〇八頁・四、〇〇〇円

建築構造問題快答集 9

●監修　石黒徳衛

A5判・二一三頁・定価二、〇〇〇円

株式会社　建築技術
〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1　中島ビル
TEL.(03)363-4211　振替東京0-72417

建築技術者必携の専門誌

建築技術 1月号

毎月18日　全国書店で一斉発売
定価1,200円

特集/外壁の修繕・改修

建物の修繕・改修は、短い年月の間に長足の進歩をとげています。今回は、修繕・改修の中でも特に関心の高い外壁にスポットを当てて紹介します。

気象条件の異なる各地域で建物の外装がどれくらい傷むものなのか、劣化原因を適確に把握するための調査、診断、試験はどうしたらよいか、数ある修繕工法の中からどれを選ぶか、また、修繕工事の設計と施工手順、修繕のできばえの検査、確認、評価やクリーニングについて実施例をそえ解説します。

1.外壁劣化と修繕についての概括　2.外壁の劣化と修繕
3.二重壁による改修　4.クリーニング　5.外壁劣化診断

■特別企画／鉄筋コンクリートの孔あけと切断

建築物の補修や増改築が盛んになるとともに、コンクリートの孔あけ、切断に対するニーズもますます高まってきています。ここでは、切口の周りに損傷を与えず精度のよい切削ができ、しかも、低騒音・低振動で粉塵の発生も少ないダイヤモンドドリル、ダイヤモンドソーのいろいろな使い方を紹介します。

建築と社会　第68輯第12号
昭和62年12月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

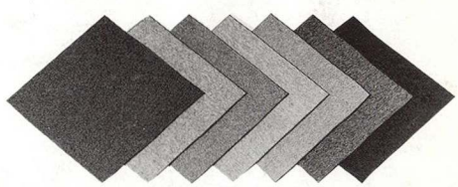
TAJIMA



あらゆるスペースで、発揮する性能。
個性豊かに揃った4タイプ、12種類。

スペースが異なれば、そこに求められる床の条件も異なります。オフィスなど機能や居住性を優先するスペース、ホテルや店舗など高級感やイメージを大切にするスペース。タジマセンイ床タイルは、そうしたスペースごとに異なる用途に、4つのタイプの製品群でお応えします。美しさにプラスしたさまざまな性能が、あらゆるスペースで発揮されます。目的にあわせて、機能にあわせて、お選びいただけるタイルカーペットの実力派です。

タジマのセンイ床タイルシリーズ



高級仕様のカットパイルタイプ
パイル密度を高め、カット仕上げにした重厚感あふれる高級仕様。落ち着きと風格を演出したいスペースに最適です。

タピスSX
タピスSXプリント
ビショップ

汎用性に富むループパイルタイプ
オフィスから店舗まで幅広くお使いいただけるループパイル仕上げです。センイ床タイルの快適さを十二分に発揮する汎用タイプです。

タピス
タピスセレクト
タピスFG
ルーク
プレーヌ

特殊機能をもつ、スペシャルタイプ
従来のセンイ床タイルでは対応できなかった用途にも応えた特殊機能タイプです。落ち着きと上品さを損うことなく、その特性を発揮します。

タピスOA
エレキャン
プローチェ

高歩行に耐える、ヘアータイプ
特に人の出入りの激しいスペースなど高歩行に耐えるヘアーパイル仕上げ。抜け毛、毛羽立ちの心配もなく、レジャー施設などに最適です。

クラブ

床を創る
株式会社タジマ
東京●〒101東京都千代田区岩本町3-11-13
TEL03(866)6101代表
大阪●〒550大阪市西区京町堀1-10-5
TEL06(441)5951代表

定価九五〇円（送料共）
表紙スケッチ・吉田隆一（説明目次頁）